主　要　事　業　の　説　明

主要事業の説明

本章では、世田谷区の主要事業の進捗について説明する。

世田谷区実施計画に掲げる施策（分野別政策に連なる施策）を対象とし、行政としての活動（行動量）およびその結果としての区民・事業者等への効果（直接的アウトカム）を量的に把握し、客観的な達成度を明らかにしている。

また、平成 30 年度より導入された新公会計制度（企業会計）を用いた事業のフルコストおよび取組みごとの単位あたりコストの分析、評価結果については、「施策評価見える化ボード」（世田谷区ホームページで公開しているダッシュボード※）に掲載しているのであわせて参照されたい。

※ダッシュボード・・・グラフなどを用いデータや情報を視覚的にわかりやすく表示するツール

1　基本計画に掲げる重点政策に基づく取組みと今後の政策展開

（1）子ども・若者が笑顔で過ごせる環境の整備

子どもの権利とその最善の利益を保障する環境づくりについては、子ども・保護者・地域への啓発や子どもの参加・意見表明の場の創出など取組みを着実に進めている。

また、子ども・若者と子育てを支える環境の整備について、支援が必要な子ども・子育て家庭のサポートが十分に行き届くよう関連事業との連携強化を図るとともに、事業の特性を踏まえ情報発信を工夫するなど、周知・啓発を拡充し支援の充実に繋げていく。

（2）新たな学校教育と生涯を通じた学びの充実

次代を担う子どもたちが多様な他者と共感・協働しながら、主体的かつ創造的に課題解決に取り組む力を育むことができるよう、キャリア教育や探究的な学びを推進している。

また、子どもの多様性に応じた学びの場の確保について、居場所の充実など、引き続き取組みを進め、支援の充実を図ることで事業利用者の満足度向上に繋げていく。

（3）多様な人が出会い、支え合い、活動できるコミュニティの醸成

住民の地域活動などへの参加意欲の向上および地区や地域への区民参加の促進に向け、健康づくりや福祉、防災、文化・芸術、スポーツなど各分野において、参加と協働を進める取組みを推進している。

なお、令和８年 11 月に区民利用・交流拠点施設を区役所新庁舎に設置予定であり、多様な人々の交流や協働を生み出す場となるよう、開設に向け引き続き検討を進めていく。

（4）誰もが取り残されることなく生き生きと暮らせるための支援の強化

誰もが生き生きと尊厳をもって地域で暮らすことのできる基盤の強化に向け、高齢や障害、子ども、人権などの各分野において、困難や生きづらさを抱えている人に支援が届く取組みや仕組みの構築に取り組んでいる。引き続き、地域共生社会の実現に向け多機関協働事業などの取組みを推進していく。

（5）自然との共生と脱炭素社会の構築

区内の豊かな自然環境の確保に取り組み、みどりに恵まれた良好な住環境を子どもや若者の世代に確実に引き継いでいくため、緑地保全制度の活用や緑化助成制度の普及啓発、区民意識の醸成等により、世田谷らしいみどりの保全・創出及び生物多様性の保全に取り組んでいる。

また、脱炭素化推進に向けては、より多くの区民の行動変容を促せるよう事業を再編するとともに、民間企業等による様々なチャネルを活かした啓発に取り組んでいく。

（6）安全で魅力的な街づくりと産業連関による新たな価値の創出

災害に強く安心して暮らすことができるまちの実現を目指し、木造住宅密集地域の解消や建築物耐震診断、耐震改修工事を促す取組みを進めるとともに、在宅避難推進事業（せたがや防災ギフト）などソフト面からのアプローチにも取り組んだ。令和７年度にはマンション居住者に向けた啓発を進め、地域の災害対応力を総合的に高める取組みを進めていく。

また、地域経済の発展に向けては、新たな事業に取り組む区内事業者へのきめ細やかな支援やデジタル地域通貨（せたがや Pay）の運営支援等に取り組み、地域活性化の促進を図った。令和７年度には新たに産業活性化拠点（HOME/WORK VILLAGE）を開設し、新たな価値の創出に繋げていく。

2　施策事業の総括

（1）成果指標の達成状況

世田谷区実施計画における全 186 の成果指標のうち、令和６年度末時点での目標を達成できたものは 91 指標、当該目標を達成していないが、相当程度進展があったものは 43 指標となった。令和６年度より新たな計画となったこともあり、令和５年度以前の状況と単純比較はできないが、約７割の成果指標について、目標達成あるいは相当程度進展があり、一定の成果を出すことができた。

また、これら成果指標の達成度合いや計画策定以降の社会状況の変化、その他外部要因などを踏まえ、令和７年度以降の成果指標の目標値について、47 指標を上方修正し、９指標を下方修正した。

（参考）成果指標の達成状況

達成状況			指標数
A	100％以上	当該年度目標を達成している	91 指標
B	80％以上 100％未満	当該年度目標は達成していないが、相当程度進展がある	43 指標
C	80％未満	当該年度目標を達成していない	33 指標
D	0％		3 指標
－	成果指標が定量でなく、達成状況が算出できないもの　等		16 指標

成果指標の達成状況に至った要因について、特徴的な事例を以下のとおり紹介する。

①取組みの有効性が高かった点

・関係機関や庁内他部署等と連携した取組みの実施や内容の充実を図ったことで実績の向上に繋がった。

施策番号	施策名	事業番号	事業名	該当頁
1－1	子どもの権利とその最善の利益を保障する環境づくり	3	思春期世代に向けたリプロダクティブ・ヘルス／ライツ周知啓発の実施	40
2－2	支援が必要な子ども・子育て家庭のサポート	6	ヤングケアラーへの支援の推進	53
3－2	生きづらさを抱える若者への支援	1	若者の相談・支援の充実	59
7－1	主体的に取り組める健康づくりの推進	3	健康につながる食環境づくり	85
10－3	健康危機管理体制の強化	4	医療救護活動の推進	120
15－4	地域経済の持続可能性を考慮した事業活動及びエシカル消費の推進	3	持続可能な消費者行動の推進	156
17－2	スポーツを通じた共生社会の実現	2	スポーツを通じた交流の場の創出	168
17－3	スポーツを通じた活力あるまちづくり	1	スポーツチームと連携した情報発信やにぎわいの創出	170

・オンライン等を活用した事業手法の転換等により実績の向上に繋がった。

施策番号	施策名	事業番号	事業名	該当頁
9－4	福祉人材の確保及び育成・定着支援	5	障害者の地域生活支援機能強化のための専門的人材の確保・養成	108

・効果的な周知啓発活動の成果により、実績の向上に繋がった。

施策番号	施策名	事業番号	事業名	該当頁
6－3	文化財の保護・普及活動の推進	2	文化財ボランティアの育成・支援	83
15－2	起業の促進と多様な働き方の実現	3	多様な働き方の環境整備	152
16－1	誰もが文化・芸術を身近に感じ楽しめる環境の整備	3	区民利用・交流拠点全体を活用した音楽イベント等による文化・芸術に触れる機会の提供	159
22－2	区民や活動団体の連携・協働促進	2	地区での情報共有と地域参加のためのプラットフォームづくり	198

②取組みの有効性が低かった点

・関係機関の現状把握ならびに庁内協議を進めている段階であり、当初予定していた計画に基づく進捗が得られなかった。

施策番号	施策名	事業番号	事業名	該当頁
8－2	地区でつながり続ける支援体制の構築	2	アウトリーチを通じた継続的支援事業	95

・事業の周知が不十分であったため、実績が伸び悩んだ。

施策番号	施策名	事業番号	事業名	該当頁
9－2	地域生活課題の解決に向けた取組み	3	地域共生社会実現に向けた環境づくり	102
10－2	犯罪抑止の取組み	1	防犯カメラ設置・維持管理への支援	117

③外部要因等により成果や行動量に影響を受けた点

・コロナ禍からの事業回復が当初想定を大幅に上回ったことにより、事業計画を見直した。

施策番号	施策名	事業番号	事業名	該当頁
1－2	子どもの成長を支える環境の充実	1	児童館の整備・充実	44
		3	子どもを支えるネットワークづくりのための児童館地域懇談会の実施	
2－1	子育て家庭の支援の推進	4	子育て支援における地域資源開発の推進	49
2－2	支援が必要な子ども・子育て家庭のサポート	5	子どもの見守り及び支援にかかる児童館職員のスキルの向上	53
3－1	若者が力を発揮できる環境の充実	1	中学生及び高校生世代の主体的な参加の促進	57
17－3	スポーツを通じた活力あるまちづくり	3	地域コミュニティ活動への派遣・協力	170

・区民利用者のニーズを捉え、事業方針の転換を図った。

施策番号	施策名	事業番号	事業名	該当頁
7－2	こころの健康づくり	1	こころの不調や精神疾患についての普及啓発	88
12－1	区民・事業者の脱炭素行動の支援	1	環境配慮型住宅推進事業	131
		3	省エネ・再エネポイントアクション事業	
16－2	地域活動団体の支援と交流の促進による文化・芸術活動の活性化	1	世田谷区民会館等における文化・芸術を通じた交流事業の実施	162

（２）実施計画に掲げる施策（全 62 施策）行政コスト計算書の合計額（千円）

勘定科目		令和６年度		勘定科目		令和６年度	
行政費用	人件費	6,007,938	22.9%	行政収入	国庫支出金	1,947,261	32.7%
	物件費	9,906,057	37.8%		都支出金	3,423,998	57.5%
	委託料	8,007,113	30.5%		使用料及手数料	36,114	0.6%
	維持補修費	4,799	0.0%		その他	543,274	9.1%
	扶助費	1,170	0.0%	行政収入小計(a)		5,950,647	100.0%
	補助費等	4,998,659	19.1%	行政収支差額(c=a-b)		△20,263,205	
	投資的経費	4,443,990	17.0%	金融収支差額(d)		—	
	減価償却費	18,061	0.1%	通常収支差額(e=c+d)		△20,263,205	
	その他	833,179	3.2%	特別収支差額(f)		△2,217	
行政費用小計(b)		26,213,852	100.0%	当期収支差額(g=e+f)		△20,265,422	

（３）今後の方向性

今回の分析・評価の結果や各事業における課題を踏まえるとともに、目まぐるしく変化する社会状況のもと、区民ニーズを的確に捉えていく。各部における柔軟な発想による事業手法の転換や改善等を通じ、事業の効率化と成果の最大化を図り、主体的に PDCA サイクルを回す組織風土を定着させ、各政策・施策の目標達成に向け取り組んでいく。

実施計画事業執行実績

項　　目	予算現額(円)	決 算 額(円)	翌 年 度 繰 越 額 (円)	不 用 額(円)	執行率 (%)	決算額の財源内訳				
						特定財源				一般財源(円)
						国庫支出金(円)	都 支 出 金(円)	特 別 区 債(円)	そ の 他(円)	
分野：子ども・若者	3,632,420,000	3,134,926,937	26,100,000	471,393,063	86.3	618,855,045	1,003,937,339	0	22,985,761	1,489,148,792
政策１　子ども一人ひとりがのびやかに育つ環境づくり	1,018,036,000	872,181,059	26,100,000	119,754,941	85.7	86,318,000	232,346,000	0	1,513,550	552,003,509
子どもの権利とその最善の利益を保障する環境づくり	11,942,000	7,854,148	0	4,087,852	65.8	0	6,220,000	0	965,600	668,548
子どもの成長を支える環境の充実	981,926,000	845,231,783	26,100,000	110,594,217	86.1	80,410,000	223,041,000	0	547,950	541,232,833
質の高い乳幼児教育・保育の充実	24,168,000	19,095,128	0	5,072,872	79.0	5,908,000	3,085,000	0	0	10,102,128
政策２　安心して子育てできる環境の整備	2,200,284,000	1,851,667,367	0	348,616,633	84.2	470,478,545	674,735,296	0	16,700,673	689,752,853
子育て家庭の支援の推進	1,706,872,000	1,396,384,760	0	310,487,240	81.8	286,797,480	647,331,296	0	14,337,704	447,918,280
支援が必要な子ども・子育て家庭のサポート	493,412,000	455,282,607	0	38,129,393	92.3	183,681,065	27,404,000	0	2,362,969	241,834,573
政策３　若者が力を発揮できる環境づくり	414,100,000	411,078,511	0	3,021,489	99.3	62,058,500	96,856,043	0	4,771,538	247,392,430
若者が力を発揮できる環境の充実	195,329,000	194,976,460	0	352,540	99.8	0	76,426,043	0	0	118,550,417
生きづらさを抱える若者への支援	218,771,000	216,102,051	0	2,668,949	98.8	62,058,500	20,430,000	0	4,771,538	128,842,013
分野：教育	3,815,797,000	3,672,883,281	0	142,913,719	96.3	12,260,925	280,515,972	0	89,348,601	3,290,757,783
政策４　新たな学校教育の推進	1,904,094,000	1,820,470,722	0	83,623,278	95.6	10,910,745	215,907,972	0	9,081,733	1,584,570,272
キャリア・未来デザイン教育の推進	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
教育ＤＸのさらなる推進	1,343,870,000	1,318,225,855	0	25,644,145	98.1	0	162,152,000	0	4,389,000	1,151,684,855
多様な個性が生かされる教育の推進	436,243,000	389,561,453	0	46,681,547	89.3	10,386,000	52,726,000	0	4,692,733	321,756,720
多様性や個性を認め伸ばす学びの場づくり	123,981,000	112,683,414	0	11,297,586	90.9	524,745	1,029,972	0	0	111,128,697
政策５　不登校支援の強化	803,259,000	780,267,324	0	22,991,676	97.1	1,350,180	64,058,000	0	50,267,823	664,591,321
相談・支援体制の充実と連携体制の強化	414,646,000	404,872,194	0	9,773,806	97.6	0	16,541,000	0	44,736,071	343,595,123
多様な学びの場や居場所の充実	388,613,000	375,395,130	0	13,217,870	96.6	1,350,180	47,517,000	0	5,531,752	320,996,198
政策６　生涯を通じた学習の充実	1,108,444,000	1,072,145,235	0	36,298,765	96.7	0	550,000	0	29,999,045	1,041,596,190
知と学びと文化の情報拠点としての新たな図書館の創造	1,062,871,000	1,031,508,487	0	31,362,513	97.0	0	0	0	29,999,045	1,001,509,442
常に学ぶ区民意識の涵養と社会参加の促進	37,645,000	34,435,679	0	3,209,321	91.5	0	550,000	0	0	33,885,679
文化財の保護・普及活動の推進	7,928,000	6,201,069	0	1,726,931	78.2	0	0	0	0	6,201,069

項　　目	予算現額(円)	決 算 額(円)	翌 年 度 繰 越 額 (円)	不 用 額(円)	執行率 (%)	決　算　額　の　財　源　内　訳				
						特　定　財　源				一 般 財 源(円)
						国庫支出金(円)	都 支 出 金(円)	特 別 区 債(円)	そ　の　他(円)	
分野：健康・福祉	5,543,499,000	5,266,941,569	0	276,557,431	95.0	746,447,348	797,802,324	0	421,203,309	3,301,488,588
政策７　健康づくりの推進	2,079,231,000	1,962,698,934	0	116,532,066	94.4	215,417,649	57,280,454	0	202,666,914	1,487,333,917
主体的に取り組める健康づくりの推進	1,570,362,000	1,488,478,665	0	81,883,335	94.8	27,690,000	3,120,000	0	5,076,400	1,452,592,265
こころの健康づくり	85,881,000	69,480,637	0	16,400,363	80.9	28,069,000	3,568,000	0	3,101,985	34,741,652
介護予防の総合的な推進	422,988,000	404,739,632	0	18,248,368	95.7	159,658,649	50,592,454	0	194,488,529	0
政策８　福祉につながるネットワークの強化	281,296,000	280,333,248	0	962,752	99.7	30,900,000	15,450,000	0	0	233,983,248
身近な福祉相談の充実と地域づくり	2,621,000	1,659,688	0	961,312	63.3	0	0	0	0	1,659,688
地区でつながり続ける支援体制の構築	278,675,000	278,673,560	0	1,440	100.0	30,900,000	15,450,000	0	0	232,323,560
政策９　地域福祉の推進と基盤整備	3,182,972,000	3,023,909,387	0	159,062,613	95.0	500,129,699	725,071,870	0	218,536,395	1,580,171,423
安心して暮らせる居住環境の整備	617,893,000	592,950,302	0	24,942,698	96.0	25,546,500	442,726,000	0	4,685,554	119,992,248
地域生活課題の解決に向けた取組み	1,286,379,000	1,245,581,644	0	40,797,356	96.8	383,164,529	181,078,614	0	162,011,725	519,326,776
在宅医療・介護連携の推進	70,554,000	70,119,497	0	434,503	99.4	43,123,491	13,498,003	0	13,498,003	0
福祉人材の確保及び育成・定着支援	1,208,146,000	1,115,257,944	0	92,888,056	92.3	48,295,179	87,769,253	0	38,341,113	940,852,399
分野：災害・危機管理	3,285,265,000	2,676,547,877	262,481,000	346,236,123	81.5	586,379,000	475,052,710	0	115,449,993	1,499,666,174
政策１０　安全・安心のまちづくり	283,506,000	237,963,053	0	45,542,947	83.9	0	39,889,710	0	403,770	197,669,573
地域防災力の向上	34,646,000	26,946,606	0	7,699,394	77.8	0	3,500,000	0	0	23,446,606
犯罪抑止の取組み	191,815,000	169,090,090	0	22,724,910	88.2	0	22,822,710	0	403,770	145,863,610
健康危機管理体制の強化	57,045,000	41,926,357	0	15,118,643	73.5	0	13,567,000	0	0	28,359,357
政策１１　災害に強い街づくり	3,001,759,000	2,438,584,824	262,481,000	300,693,176	81.2	586,379,000	435,163,000	0	115,046,223	1,301,996,601
震災に強い街づくり	2,220,202,000	1,731,034,025	262,481,000	226,686,975	78.0	436,379,000	428,588,000	0	108,967,238	757,099,787
都市の事前復興	5,753,000	5,060,000	0	693,000	88.0	0	0	0	0	5,060,000
水害を抑制する街づくり	18,659,000	14,114,071	0	4,544,929	75.6	0	5,584,000	0	0	8,530,071
日常の安全・安心な街づくり	757,145,000	688,376,728	0	68,768,272	90.9	150,000,000	991,000	0	6,078,985	531,306,743

項　　目	予算現額(円)	決 算 額(円)	翌 年 度 繰 越 額 (円)	不 用 額(円)	執行率 (%)	決算額の財源内訳				
						特定財源				一般財源(円)
						国庫支出金(円)	都支出金(円)	特別区債(円)	その他(円)	
分野：環境・リサイクル・みどり	2,099,543,000	1,922,767,101	24,900,000	151,875,899	91.6	10,148,000	220,538,000	0	327,855,399	1,364,225,702
政策１２　脱炭素化の推進	363,128,000	346,961,389	0	16,166,611	95.5	0	0	0	171,693,408	175,267,981
区民・事業者の脱炭素行動の支援	265,969,000	257,008,683	0	8,960,317	96.6	0	0	0	169,817,248	87,191,435
公共施設や区事業活動における脱炭素の実施	97,159,000	89,952,706	0	7,206,294	92.6	0	0	0	1,876,160	88,076,546
政策１３　快適で暮らしやすい生活環境の構築	359,823,000	327,063,898	0	32,759,102	90.9	0	0	0	44,194,827	282,869,071
地域環境美化活動の推進	89,436,000	77,287,260	0	12,148,740	86.4	0	0	0	0	77,287,260
たばこルールの推進	89,436,000	77,287,260	0	12,148,740	86.4	0	0	0	0	77,287,260
ごみ減量と資源循環型社会の形成	180,951,000	172,489,378	0	8,461,622	95.3	0	0	0	44,194,827	128,294,551
政策１４　豊かな自然環境の保全・創出	1,376,592,000	1,248,741,814	24,900,000	102,950,186	90.7	10,148,000	220,538,000	0	111,967,164	906,088,650
世田谷らしいみどりの保全・創出	245,745,000	218,586,481	0	27,158,519	88.9	0	0	0	24,885,460	193,701,021
生物多様性の保全	1,046,467,000	955,974,777	24,900,000	65,592,223	91.4	10,148,000	220,538,000	0	85,005,802	640,282,975
協働によるみどり豊かなまちづくりの推進	84,380,000	74,180,556	0	10,199,444	87.9	0	0	0	2,075,902	72,104,654
分野：経済・産業	2,396,435,000	1,735,531,968	503,962,000	156,941,032	72.4	0	715,705,750	0	166,488,791	853,337,427
政策１５　持続可能な地域経済の実現	2,396,435,000	1,735,531,968	503,962,000	156,941,032	72.4	0	715,705,750	0	166,488,791	853,337,427
多様な地域産業の持続可能性確保に向けた基盤強化	2,195,698,000	1,565,525,994	503,962,000	126,210,006	71.3	0	689,785,750	0	164,770,000	710,970,244
起業の促進と多様な働き方の実現	108,910,000	90,790,839	0	18,119,161	83.4	0	7,376,000	0	0	83,414,839
地域や社会の課題の解決に向けたソーシャルビジネスの推進	40,266,000	38,501,270	0	1,764,730	95.6	0	17,046,000	0	1,704,704	19,750,566
地域経済の持続可能性を考慮した事業活動及びエシカル消費の推進	51,561,000	40,713,865	0	10,847,135	79.0	0	1,498,000	0	14,087	39,201,778
分野：文化・スポーツ	389,048,000	370,176,947	0	18,871,053	95.1	0	7,134,000	0	52,558,192	310,484,755
政策１６　文化・芸術の振興	326,025,000	316,934,527	0	9,090,473	97.2	0	0	0	50,629,062	266,305,465
誰もが文化・芸術を身近に感じ楽しめる環境の整備	268,662,000	263,256,161	0	5,405,839	98.0	0	0	0	31,883,151	231,373,010
地域活動団体の支援と交流の促進による文化・芸術活動の活性化	57,363,000	53,678,366	0	3,684,634	93.6	0	0	0	18,745,911	34,932,455
政策１７　生涯スポーツの推進	63,023,000	53,242,420	0	9,780,580	84.5	0	7,134,000	0	1,929,130	44,179,290
スポーツを通じた生きがい・健康づくり	22,116,000	18,272,425	0	3,843,575	82.6	0	2,421,000	0	964,565	14,886,860
スポーツを通じた共生社会の実現	22,116,000	18,272,425	0	3,843,575	82.6	0	2,421,000	0	964,565	14,886,860
スポーツを通じた活力あるまちづくり	18,791,000	16,697,570	0	2,093,430	88.9	0	2,292,000	0	0	14,405,570

項　　目	予算現額(円)	決 算 額(円)	翌 年 度 繰 越 額 (円)	不 用 額(円)	執行率 (%)	決　算　額　の　財　源　内　訳				
						特　定　財　源				一 般 財 源(円)
						国庫支出金(円)	都 支 出 金(円)	特 別 区 債(円)	そ　の　他(円)	
分野：都市整備	3,136,254,000	2,560,792,829	234,023,000	341,438,171	81.7	24,796,000	512,619,000	0	243,118,300	1,780,259,529
政策１８　魅力ある街づくり	1,198,469,000	1,106,043,957	24,900,000	67,525,043	92.3	10,148,000	225,500,000	0	84,453,800	785,942,157
地区特性に応じた街づくりの推進	79,382,000	75,258,109	0	4,123,891	94.8	0	2,481,000	0	0	72,777,109
魅力あるにぎわいの拠点づくり	87,913,000	83,389,759	0	4,523,241	94.9	0	2,481,000	0	0	80,908,759
歩いて楽しめる魅力づくり	1,031,174,000	947,396,089	24,900,000	58,877,911	91.9	10,148,000	220,538,000	0	84,453,800	632,256,289
政策１９　交通環境の整備	76,207,000	68,763,542	0	7,443,458	90.2	0	7,760,000	0	615,000	60,388,542
地域公共交通の活性化	31,326,000	31,053,642	0	272,358	99.1	0	7,760,000	0	615,000	22,678,642
自転車利用環境の整備	44,881,000	37,709,900	0	7,171,100	84.0	0	0	0	0	37,709,900
政策２０　都市基盤の整備・更新	1,861,578,000	1,385,985,330	209,123,000	266,469,670	74.5	14,648,000	279,359,000	0	158,049,500	933,928,830
道路ネットワークの計画的な整備	848,660,000	453,845,430	184,223,000	210,591,570	53.5	4,500,000	58,821,000	0	73,595,700	316,928,730
公園・緑地の計画的な整備	1,012,918,000	932,139,900	24,900,000	55,878,100	92.0	10,148,000	220,538,000	0	84,453,800	617,000,100
分野：人権・コミュニティ	248,715,000	223,048,535	0	25,666,465	89.7	3,363,238	821,277	0	5,903,351	212,960,669
政策２１　多様性の尊重	204,147,000	183,578,145	0	20,568,855	89.9	3,363,238	821,277	0	1,305,592	178,088,038
人権への理解促進	4,895,000	3,705,773	0	1,189,227	75.7	0	631,277	0	0	3,074,496
男女共同参画の推進	149,080,000	139,829,314	0	9,250,686	93.8	612,000	190,000	0	523,928	138,503,386
ＤＶ防止の取組み	29,783,000	26,322,786	0	3,460,214	88.4	2,536,000	0	0	339,807	23,446,979
多文化共生の推進	20,389,000	13,720,272	0	6,668,728	67.3	215,238	0	0	441,857	13,063,177
政策２２　地域コミュニティの促進	44,568,000	39,470,390	0	5,097,610	88.6	0	0	0	4,597,759	34,872,631
地域への参加促進と地域活動の活性化	44,568,000	39,470,390	0	5,097,610	88.6	0	0	0	4,597,759	34,872,631
区民や活動団体の連携・協働促進	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
合　　計（※）	21,608,394,000	18,855,588,363	1,001,666,000	1,751,139,637	87.3	1,906,837,447	3,502,879,158	0	1,238,736,262	12,207,135,496

※　重複する予算事業があるため、施策ごとの事業費と合計額は一致しません。

実施計画に掲げる施策
（施策評価）

政策	施策番号	施策名	頁
分野別政策１ 子ども一人ひとりがのびやかに育つ環境づくり	1-1	子どもの権利とその最善の利益を保障する環境づくり	40
	1-2	子どもの成長を支える環境の充実	44
	1-3	質の高い乳幼児教育・保育の充実	47
分野別政策２ 安心して子育てできる環境の整備	2-1	子育て家庭の支援の推進	49
	2-2	支援が必要な子ども・子育て家庭のサポート	53
分野別政策３ 若者が力を発揮できる環境づくり	3-1	若者が力を発揮できる環境の充実	57
	3-2	生きづらさを抱える若者への支援	59
分野別政策４ 新たな学校教育の推進	4-1	キャリア・未来デザイン教育の推進	61
	4-2	教育ＤＸのさらなる推進	64
	4-3	多様な個性が生かされる教育の推進	68
	4-4	多様性や個性を認め伸ばす学びの場づくり	70
分野別政策５ 不登校支援の強化	5-1	相談・支援体制の充実と連携体制の強化	74
	5-2	多様な学びの場や居場所の充実	75
分野別政策６ 生涯を通じた学習の充実	6-1	知と学びと文化の情報拠点としての新たな図書館の創造	78
	6-2	常に学ぶ区民意識の涵養と社会参加の促進	80
	6-3	文化財の保護・普及活動の推進	83
分野別政策７ 健康づくりの推進	7-1	主体的に取り組める健康づくりの推進	85
	7-2	こころの健康づくり	88
	7-3	介護予防の総合的な推進	91
分野別政策８ 福祉につながるネットワークの強化	8-1	身近な福祉相談の充実と地域づくり	93
	8-2	地区でつながり続ける支援体制の構築	95
分野別政策９ 地域福祉の推進と基盤整備	9-1	安心して暮らせる居住環境の整備	97
	9-2	地域生活課題の解決に向けた取組み	102
	9-3	在宅医療・介護連携の推進	106
	9-4	福祉人材の確保及び育成・定着支援	108
分野別政策１０ 安全･安心のまちづくり	10-1	地域防災力の向上	112
	10-2	犯罪抑止の取組み	117
	10-3	健康危機管理体制の強化	120
分野別政策１１ 災害に強い街づくり	11-1	震災に強い街づくり	123
	11-2	都市の事前復興	127
	11-3	水害を抑制する街づくり	128
	11-4	日常の安全・安心な街づくり	129
分野別政策１２ 脱炭素化の推進	12-1	区民・事業者の脱炭素行動の支援	131
	12-2	公共施設や区事業活動における脱炭素の実施	136
分野別政策１３ 快適で暮らしやすい生活環境の構築	13-1	地域環境美化活動の推進	138
	13-2	たばこルールの推進	139
	13-3	ごみ減量と資源循環型社会の形成	140
分野別政策１４ 豊かな自然環境の保全・創出	14-1	世田谷らしいみどりの保全・創出	143
	14-2	生物多様性の保全	145
	14-3	協働によるみどり豊かなまちづくりの推進	147
分野別政策１５ 持続可能な地域経済の実現	15-1	多様な地域産業の持続可能性確保に向けた基盤強化	149
	15-2	起業の促進と多様な働き方の実現	152
	15-3	地域や社会の課題の解決に向けたソーシャルビジネスの推進	154
	15-4	地域経済の持続可能性を考慮した事業活動及びエシカル消費の推進	156
分野別政策１６ 文化・芸術の振興	16-1	誰もが文化・芸術を身近に感じ楽しめる環境の整備	159
	16-2	地域活動団体の支援と交流の促進による文化・芸術活動の活性化	162
分野別政策１７ 生涯スポーツの推進	17-1	スポーツを通じた生きがい・健康づくり	165
	17-2	スポーツを通じた共生社会の実現	168
	17-3	スポーツを通じた活力あるまちづくり	170
分野別政策１８ 魅力ある街づくり	18-1	地区特性に応じた街づくりの推進	172
	18-2	魅力あるにぎわいの拠点づくり	173
	18-3	歩いて楽しめる魅力づくり	177

分野別政策１９ 交通環境の整備	19-1	地域公共交通の活性化	180
	19-2	自転車利用環境の整備	183
分野別政策２０ 都市基盤の整備・更新	20-1	道路ネットワークの計画的な整備	184
	20-2	公園・緑地の計画的な整備	186
分野別政策２１ 多様性の尊重	21-1	人権への理解促進	187
	21-2	男女共同参画の推進	189
	21-3	ＤＶ防止の取組み	191
	21-4	多文化共生の推進	193
分野別政策２２ 地域コミュニティの促進	22-1	地域への参加促進と地域活動の活性化	195
	22-2	区民や活動団体の連携・協働促進	198

政策に関連するSDGsのゴールのアイコンを表示しています。

分野別政策1　子ども一人ひとりがのびやかに育つ環境づくり

施策1-1	子どもの権利とその最善の利益を保障する環境づくり
関連政策等	重点政策：１、４　分野別政策：１
所管部	子ども・若者部、世田谷保健所

施策名を記載しています。

基本計画における重点政策及び分野別政策の番号を記載しています。

事業を実施する所管部を記載しています。

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	子どもの権利学習の実施	
	目的と内容	子どもが本来持っている権利について理解し、安心して意見を言える環境で過ごせるよう、学校や児童館でそれぞれの年齢や成長発達に応じた子どもの権利学習を実施します。また、学校教員や区職員、子どもに関わる施設職員等を対象に子どもの権利全般について理解し、教えることができる人材を育成します。
2	子どもの参加・	
	目的と内容	子ども みやフィードバックの場の検討を進めるとともに、地域や社会の課題解決について、子どもたちが主体的に参加・参画できる取組みを区役所全体で実施手法や事例等を共有しながら、様々な機会を捉えて充実します。
3	思春期世代に向けたリプロダクティブ・ヘルス／ライツ周知啓発の実施	
	目的と内容	思春期世代が自分のからだや性への悩みを抱え込むことなく、性と生殖に関する健康や権利について正しい知識を持ち、自身の生涯にわたる心身の健康を意識できるよう、人権や教育部門と連携して、思春期世代に向けたリプロダクティブ・ヘルス／ライツにかかる周知啓発に取り組みます。

(1)施策に連なる事業

施策を推進するための事業の名称、目的と内容を記載しています。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1-①	子どもの権利について理解できたと回答した子どもの人数 a）児童館	—	目標	36 人		当初目標	36人	36人	36人	144人
			実績	42 人						
			達成状況※1	116.7%	A	修正目標	—	—	—	—
	子どもの権利について理解できたと回答した子どもの人数 b）小中学校	—	目標	—		当初目標	180人	180人	180人	540人
			実績	1,090人						
			達成状況※1	—	—	修正目標	600 人	600 人	600 人	1,800人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
子どもの権利学習講座（子ども向け）の実施回数 a）児童館	—	当初計画	計3館（各館1回）	計3館（各館1回）	計3館（各館1回）	計3館（各館1回）	計12館（各館1回）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	計3館（各館1回）	—	—	—	計3館（各館1回）
子どもの権利学習講座（子ども向け）の実施回数 b）小中学校	—	当初計画	—	計3校（各校1回）	計3校（各校1回）	計3校（各校1回）	計9校（各校1回）
		修正計画		計5校（各校1回）	計5校（各校1回）	計5校（各校1回）	計15校（各校1回）
		実績	計8校（各校1回）	—	—	—	計8校（各校1回）

(2)成果指標及び行動量の達成状況

各事業における成果指標（直接的アウトカム：事業の活動により生じる直接的効果）及び行動量（アウトプット指標）について4年間の具体的な年次別計画を記載しています。計画の内容は、取組みの進捗状況や、新たな課題への対応などの必要に応じて、年度ごとに見直しを行い、修正目標・修正計画に記載しています。

◆ 当初目標・当初計画

計画策定時（令和6年3月）の内容を記載しています。
※ 計画策定時になかった取組みを新たに追加した場合は斜線

◆ 修正目標・修正計画

各年度末実績等を踏まえ、翌年度以降の計画を修正した場合に記載しています。
修正計画は、令和7年3月に発行した「世田谷区実施計画（令和6年度～令和9年度）推進状況」に基づき記載しています。
※ 計画策定時から変更がない場合は「—」
※ 計画修正により、取組みがなくなった場合等は斜線

◆ 実績

令和6年度末時点での実績を記載しています。
※ 計画策定時になかった取組みを新たに追加した場合は斜線

◆ 達成状況

目標を数字で掲げる成果指標の達成状況は、以下の計算式で算出しています。 ※ 小数点以下第2位を四捨五入
増加を目指す成果指標：（当該年度の実績）／（当該年度の目標値）
減少を目指す成果指標：（当該年度の実績－計画策定時の現況値）／（当該年度の目標値－計画策定時の現況値）
※ 単位が「%」の成果指標は、分母と分子の考え方及び数値を記載しています
※ 実績が計画策定時の値を下回った場合の達成状況は0%と記載しています

◆ 総量

積み上げ可能な成果指標・行動量の合計を記載しています。
※ 成果指標・行動量が積み上げ可能な数字でない場合は「—」

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

令和6年度は、子ども条例の改正等を背景に、子どもの権利学習講座（子ども向け）に対して当初見込みよりも小中学校からの申し込みが多く、また、講座の内容を充実させたこともあり、子どもの権利について理解できたと回答した子どもも多かった。令和7年度以降は子どもの権利条例をもとに周知啓発に積極的に取り組むため、「ｂ）小中学校」の令和7年度以降の目標値を変更した。

令和7年度以降の計画を変更した場合、その理由・内容等を記載しています。

●行動量

「b）小中学校」は、令和6年度に前倒して実施した実績を踏まえ、令和7年度以降の目標値を変更した。

令和7年3月に発行した「世田谷区実施計画（令和6年度～令和9年度）推進状況」に基づき記載しています。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1-②	子どもの権利について理解し、活用できると回答した教員の人数	—	目標	70 人		当初目標	70人	70人	70人	280人
			実績	80 人						
			達成状況※1	114.3%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
子どもの権利学習講座（教員向け）の実施回数	1回（令和5年度見込み）	当初計画	1 回	1回	1回	1回	4回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	1 回	—	—	—	1回

事業のフルコストおよび取組みごとの単位あたりコストの分析、評価結果については、「施策評価見える化ボード」（世田谷区ホームページで公開しているダッシュボード）に掲載しています。

分野別政策1　子ども一人ひとりがのびやかに育つ環境づくり

施策1-1	子どもの権利とその最善の利益を保障する環境づくり
関連政策等	重点政策：１、４　分野別政策：１
所管部	子ども・若者部、世田谷保健所

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	子どもの権利学習の実施	
	目的と内容	子どもが本来持っている権利について理解し、安心して意見を言える環境で過ごせるよう、学校や児童館でそれぞれの年齢や成長発達に応じた子どもの権利学習を実施します。また、学校教員や区職員、子どもに関わる施設職員等を対象に子どもの権利全般について理解し、教えることができる人材を育成します。
2	子どもの参加・意見表明の機会の充実	
	目的と内容	子どもに関連する施策の実施や評価にあたり、子ども等の意見を反映する仕組みやフィードバックの場の検討を進めるとともに、地域や社会の課題解決について、子どもたちが主体的に参加・参画できる取組みを区役所全体で実施手法や事例等を共有しながら、様々な機会を捉えて充実します。
3	思春期世代に向けたリプロダクティブ・ヘルス／ライツ周知啓発の実施	
	目的と内容	思春期世代が自分のからだや性への悩みを抱え込むことなく、性と生殖に関する健康や権利について正しい知識を持ち、自身の生涯にわたる心身の健康を意識できるよう、人権や教育部門と連携して、思春期世代に向けたリプロダクティブ・ヘルス／ライツにかかる周知啓発に取り組みます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1-①	子どもの権利について理解できたと回答した子どもの人数 a）児童館	—	目標	36人		当初目標	36人	36人	36人	144人
			実績	42人						
			達成状況※1	116.7%	A	修正目標	—	—	—	—
	子どもの権利について理解できたと回答した子どもの人数 b）小中学校	—	目標	—		当初目標	180人	180人	180人	540人
			実績	1,090人						
			達成状況※1	—	—	修正目標	600 人	600 人	600 人	1,800人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
子どもの権利学習講座（子ども向け）の実施回数 a）児童館	—	当初計画	計3館（各館1回）	計3館（各館1回）	計3館（各館1回）	計3館（各館1回）	計12館（各館1回）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	計3館（各館1回）	—	—	—	計3館（各館1回）
子どもの権利学習講座（子ども向け）の実施回数 b）小中学校	—	当初計画	—	計3校（各校1回）	計3校（各校1回）	計3校（各校1回）	計9校（各校1回）
		修正計画		計5校（各校1回）	計5校（各校1回）	計5校（各校1回）	計15校（各校1回）
		実績	計8校（各校1回）	—	—	—	計8校（各校1回）

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

令和6年度は、子ども条例の改正等を背景に、子どもの権利学習講座（子ども向け）に対して当初見込みよりも小中学校からの申し込みが多く、また、講座の内容を充実させたこともあり、子どもの権利について理解できたと回答した子どもも多かった。令和7年度以降は子どもの権利条例をもとに周知啓発に積極的に取り組むため、「ｂ）小中学校」の令和7年度以降の目標値を変更した。

●行動量

「b）小中学校」は、令和6年度に前倒して実施した実績を踏まえ、令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1-②	子どもの権利について理解し、活用できると回答した教員の人数	—	目標	70人		当初目標	70人	70人	70人	280人
			実績	80人						
			達成状況※1	114.3%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
子どもの権利学習講座（教員向け）の実施回数	1回（令和5年度見込み）	当初計画	1 回	1回	1回	1回	4回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	1 回	—	—	—	1回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	子どもの参加・意見表明の機会への参加者数	92人（令和5年度見込み）	目標	120人		当初目標	240人	360人	580人	1,300人
			実績	249人						
			達成状況※1	207.5%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
子どもの参加・意見表明の機会の実施箇所数（累計）	4箇所（令和5年度見込み）	当初計画	6 箇所	12箇所	18箇所	29箇所	29箇所（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	7 箇所	—	—	—	7箇所

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	こころとからだ、性の健康について正しい知識を習得できたと回答した人数	—	目標	140人		当初目標	160人	180人	200人	680人
			実績	2,340人						
			達成状況※1	1671.4%	A	修正目標	2,150人	2,300人	2,150人	6,740人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
思春期世代に向けたリプロダクティブ・ヘルス／ライツの講演会等の回数	2回（令和5年12月時点）	当初計画	2 回	2回	2回	2回	8回
		修正計画		16回	17回	16回	51回
		実績	17 回	—	—	—	17回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

世田谷区子ども・若者総合計画（第3期）と整合を図り、行動量の計画を変更したことを踏まえ、各講演会等の参加者数やアンケート回収率を鑑み、令和7年度以降の目標値を変更した。

●行動量

区立中学校2,3年生を対象とした講座を新たに開始し、世田谷区子ども・若者総合計画（第3期）と整合を図るため、令和7年度以降の目標値を変更した。

分野別政策1　子ども一人ひとりがのびやかに育つ環境づくり

施策1-2	子どもの成長を支える環境の充実
関連政策等	重点政策：１　分野別政策：１
所管部	子ども・若者部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	児童館の整備・充実	
	目的と内容	地区において子どもにかかる身近な相談や見守りの中核の役割を担うため、区立児童館を未整備地区に順次開設します。
2	放課後児童クラブの整備・充実	
	目的と内容	新BOP学童クラブ登録児童数が増加するなかで、登録児童数が200名以上となるような大規模校も増加しており、こうした大規模化等の課題解消に向け、学校外に民設民営の放課後児童クラブを誘導し、子ども及び保護者が様々な放課後の過ごし方を選択できる環境の充実を図ります。
3	子どもを支えるネットワークづくりのための児童館地域懇談会の実施	
	目的と内容	身近な地区の団体や人々が有機的につながり、日常的に子どもを見守り支えるネットワークをさらに強化していくため、児童館において地域との連絡調整を図るための懇談会を実施します。
4	外遊び事業の充実	
	目的と内容	地域の活動団体等と連携して、外遊びの普及啓発やさらなる事業の推進を図りながら、外遊び事業の充実を図ります。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	児童館の利用者数	597,000人（令和5年度見込み）	目標	608,211人		当初目標	681,252人	706,712人	746,278人	2,742,453人
			実績	729,487人						
			達成状況※1	119.9%	A	修正目標	806,487人	834,841人	877,845人	3,127,384人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
児童館の箇所数（累計）	25箇所	当初計画	25 箇所	26箇所	26箇所	27箇所	27箇所（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	25 箇所	—	—	—	25箇所

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後における事業の再開・充実等により、児童館の利用者数が増加した。今後も事業を充実し、利用者の増加に繋げていくため、令和6年度の増加数量を踏まえて令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	大規模校（登録者200名以上）の新BOP学童クラブの箇所数	15箇所	目標	10箇所		当初目標	6箇所	4箇所	2箇所	2箇所
			実績	11箇所						
			達成状況※1	80.0%	B	修正目標	9箇所	6箇所	3箇所	3箇所

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
民設民営の放課後児童クラブの総定員数（累計）	—	当初計画	360人	720人	880人	1,040人	1,040人（累計）
		修正計画		552人	952人	1,272人	1,272人（累計）
		実績	360人	—	—	—	360人

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

事業者から民設民営放課後児童クラブの施設整備に向けた具体的な相談は多くあったものの、賃借料や施設整備費の高騰などから実際の提案まで至らないなど、施設整備が当初計画よりも進んでいない状況の中で、今後の需要量の増加や令和6年度に策定した民設民営放課後児童クラブの新たな整備計画の進捗を加味して令和7年度以降の目標値を変更した。

●行動量

世田谷区子ども・若者総合計画（第3期）における需要量見込みなどを踏まえ、令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	児童館事業に協力した大人の人数	3,230人（令和5年度見込み）	目標	3,284人		当初目標	3,679人	3,948人	4,164人	15,075人
			実績	6,884人						
			達成状況※1	209.6%	A	修正目標	7,000人	7,100人	7,200人	24,584人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
児童館地域懇談会の実施回数	65回（令和5年度見込み）	当初計画	68 回	70回	70回	72回	280回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	72 回	—	—	—	72回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後における事業の再開・充実等に伴い、児童館事業に数多くの方の協力を得られた。今後もさらに事業を充実し、協力の輪を広げていくため、令和6年度の実績を踏まえて令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
4	自然体験あそび場事業に参加した子どもの人数	234,000人（令和5年度見込み）	目標	235,000人		当初目標	235,700人	237,160人	238,620人	946,480人
			実績	176,408人						
			達成状況※1	75.1%	C	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
外遊びの事業実施回数	1,560回（令和5年度見込み）	当初計画	1,590回	1,610回	1,650回	1,690回	6,540回
		修正計画		1,655回	1,709回	1,759回	6,713回
		実績	1,550回	—	—	—	1,550回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●行動量

外遊び事業の更なる拡充を図っていくため、令和7年度以降の目標値を変更した。

分野別政策1　子ども一人ひとりがのびやかに育つ環境づくり

施策1-3	質の高い乳幼児教育・保育の充実
関連政策等	重点政策：1　分野別政策：1
所管部	子ども・若者部、教育委員会事務局

（1）施策に連なる事業

番号	事業	
1	乳幼児教育・保育の質向上に向けた研修等の充実	
	目的と内容	区内教育・保育施設のさらなる質の向上に取り組みます。コーディネーターの園への訪問による保育の振り返りや助言等により、保育の評価・質向上につなげます。乳幼児教育支援センターを中心に、施設種別によらず研修を充実します。
2	地域資源を活用した教育・保育施設における質の向上	
	目的と内容	学生ボランティアや地域のボランティア等の地域資源と協力した取組みを推進します。地域に開かれた園運営により質向上に向けた取組みを充実し、区内の教育・保育施設全体の質の底上げを図ります。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	事業実施後のアンケートに「効果がある」と回答した施設の割合 ※2	—	目標	100%		当初目標	100%	100%	100%	100%
			実績	100%						
			達成状況※1	100.0%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
乳幼児教育・保育の質向上へのコーディネーター派遣事業の実施施設数	17箇所（令和5年度見込み）	当初計画	20 箇所	20箇所	20箇所	20箇所	80箇所
		修正計画		—	—	—	—
		実績	18 箇所	—	—	—	18箇所

※2：成果指標とする設問への回答数：18件／事業実施園成果報告書：18件

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	地域や学生ボランティア等と協働した取組みの実施回数	212回（令和5年度見込み）	目標	237 回		当初目標	293回	305回	313回	1,148回
			実績	245 回						
			達成状況※1	103.4%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
地域や学生ボランティア等と連携した教育・保育施設数	106園（令和5年度見込み）	当初計画	121 園	169園	175園	179園	644園
		修正計画		—	—	—	—
		実績	132 園	—	—	—	132園

分野別政策2　安心して子育てできる環境の整備

施策2-1	子育て家庭の支援の推進
関連政策等	重点政策：１　分野別政策：2
所管部	子ども・若者部、世田谷保健所

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	おでかけひろばの充実	
	目的と内容	子育てをしている保護者が身近な場所で子育て等に関する相談ができるように子どもやベビーカーを押した保護者が歩いて15分で行ける距離におでかけひろばを整備します。
2	一時預かり事業の充実	
	目的と内容	保育所等を利用していない在宅子育て家庭を含めた全ての子育て家庭が、就労等の理由に限らず保育所等での一時預かりを活用できるよう、一時預かりの充実を図ります。
3	認可保育施設での育児相談や在宅子育て支援事業の充実	
	目的と内容	保育所等を利用していない在宅子育て家庭を含めた全ての子育て家庭が、安心して子育てができるよう、保育所等の専門職が専門性を生かした子育ての助言等を行う機会を創出するなど、気軽に保育所等に相談できる環境づくり等を進めます。
4	子育て支援における地域資源開発の推進	
	目的と内容	身近な地区の子育て支援を一層推進するため、児童館と地域子育て支援コーディネーター、社会福祉協議会地区担当者による子育て関係団体ネットワーク会議を各児童館において実施し、子育て支援に必要な地域資源の開発や活動団体間の連携に向けたコーディネート等に取り組んでいきます。
5	両親学級の充実	
	目的と内容	より身近な児童館においても事業を実施するとともに、講座内では、妊娠と出産の経過及び育児に関する講義、育児体験、家族同士の交流に加えて、妊婦及びパートナーが地域で安心して過ごせるよう、地域に密着した子育て支援に関する情報提供を行うなど、地域資源へのつなぎを強化します。
6	産後ケア事業の充実	
	目的と内容	支援が必要な母子を心身の状態に応じた保健指導、育児に関する助言をはじめとした産後ケア事業へ確実につなげていけるよう、事業の拡充を進め、適切な支援を提供します。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	おでかけひろばの相談件数	10,900件（令和5年度見込み）	目標	12,730件		当初目標	13,959件	15,307件	16,787件	58,783件
			実績	13,985件						
			達成状況※1	109.9%	A	修正目標	15,239件	16,328件	16,794件	61,091件

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
おでかけひろばの運営箇所数（累計）	69箇所（令和5年度見込み）	当初計画	74 箇所	77箇所	80箇所	80箇所	80箇所（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	73 箇所	—	—	—	73箇所

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

おでかけひろばの新規開設や、レスパイト事業の充実等により、令和6年度実績が目標値を上回っている。また、令和7年度から地域子育て相談機関に位置付け、相談支援機能を充実するとともに、さらなる新規開設を予定し、今後も相談件数の増加を図るため、令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	保育施設等における一時預かりの年間利用者数	40,080人（令和5年度見込み）	目標	82,770人		当初目標	83,770人	84,790人	85,830人	337,160人
			実績	53,883人						
			達成状況※1	65.1%	C	修正目標	88,090人	87,790人	87,790人	346,440人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
保育施設等における一時預かり実施施設数（累計）	104施設（令和5年度見込み）	当初計画	220 施設	221施設	222施設	223施設	223施設（累計）
		修正計画		204施設	205施設	206施設	206施設（累計）
		実績	162 施設	—	—	—	162施設

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

令和7年度から対象年齢を拡充した「未就園児の定期的な預かり事業」の利用者数について、世田谷区子ども・若者総合計画（第3期）との整合を図るため、令和7年度以降の目標値を変更した。

●行動量

令和6年度から開始した「未就園児の定期的な預かり事業」を踏まえ、世田谷区子ども・若者総合計画（第3期）との整合を図り 、令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	育児相談や在宅子育て支援事業の年間利用者数	3,000人（令和5年度見込み）	目標	3,150人		当初目標	3,310人	3,480人	3,650人	13,590人
			実績	3,021人						
			達成状況※1	95.9%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
育児相談等の実施施設数（累計）	249施設（令和5年度見込み）	当初計画	248 施設	249施設	249施設	249施設	249施設（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	248 施設	—	—	—	248施設

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
4	児童館と連携している子育て関係団体の数（累計）	215団体（令和5年度見込み）	目標	240団体		当初目標	250団体	255団体	270団体	270団体（累計）
			実績	356団体						
			達成状況※1	148.3%	A	修正目標	370団体	375団体	390団体	390団体（累計）

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
子育て関係団体ネットワーク会議の実施回数	87回（令和5年度見込み）	当初計画	95 回	98回	99回	104回	396回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	101 回	—	—	—	101回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴う事業の再開や子どもの居場所フローターのモデル配置、地域単位で実施していた子育て交流会の地区単位での実施等により、令和6年度の実績が目標値を大きく上回る結果となった。今後も引き続き子育て関係団体のネットワーク強化を図るとともに、子どもの権利の拠点となりうる居場所の充実などに向けて事業展開を行うため、令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
5	両親学級の参加者数	3,716人（令和5年度見込み）	目標	3,780人		当初目標	3,880人	3,980人	4,080人	15,720人
			実績	3,763人						
			達成状況※1	99.6%	B	修正目標	4,100人	4,100人	4,100人	16,080人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
両親学級の実施回数	116回（令和5年度見込み）	当初計画	122 回	122回	122回	122回	488回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	122 回	—	—	—	122回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

妊婦及びパートナーが適切な時期に参加できるよう、対面講座の一部について、1回あたりの受け入れ人数を各5組増やしたことから、令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
6	産後ケア事業の利用者数	5,389人日（令和5年度見込み）	目標	5,930人日		当初目標	6,189人日	6,341人日	6,492人日	24,952人日
			実績	5,323人日						
			達成状況※1	89.8%	B	修正目標	7,215人日	8,615人日	9,615人日	31,375人日

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
産後ケア事業の定員数	7,084人日（令和5年度見込み）	当初計画	7,447 人日	7,570人日	7,570人日	7,570人日	30,157人日
		修正計画		8,294人日	10,484人日	11,944人日	38,169人日
		実績	6,836 人日	—	—	—	6,836人日

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

令和7年3月に策定した「世田谷区産後ケア事業推進方針」に基づく行動量の修正計画を踏まえ、令和7年度以降の目標値を変更した。

●行動量

令和6年度に実施した「世田谷区産後ケア事業あり方検討会」を踏まえ、産後ケア事業の需要の増加に対応するため事業実施施設数を段階的に増やすよう、世田谷区子ども・若者総合計画（第3期）との整合を図り 、令和7年度以降の目標値を変更した。

分野別政策2　安心して子育てできる環境の整備

施策2-2	支援が必要な子ども・子育て家庭のサポート
関連政策等	重点政策：１、４　分野別政策：2
所管部	子ども・若者部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	生活困窮世帯等の子どもと家庭を支える学習・生活支援事業「まいぷれいす」の実施	
	目的と内容	複合的な課題を抱えている子どもがいつでも安心して過ごせる環境のもと、学習・生活習慣の定着を図り、自ら生きる力を育むための支援を実施します。
2	ひとり親家庭等への休日相談支援事業の充実	
	目的と内容	ひとり親家庭等を対象に、休日を利用した養育費相談会、離婚前後の親支援講座、地域のひとり親家庭支援拠点での休日相談を実施します。
3	発達支援親子グループ事業の拡充	
	目的と内容	相談等につながりにくい親子が、心理士や保育士と一緒に遊ぶことを通じて、支援機関等とつながるきっかけが得られる「わくわくタイム」や「心理士相談DAY」を身近な児童福祉施設や子育て支援施設等で実施します。保護者が子どもとの接し方や支援機関へつながることの必要性を理解することで、主体的に親子グループやその他の支援機関につながれるよう取組みを進めます。
4	里親等委託の推進	
	目的と内容	代替養育を必要とする子どもが家庭と同様の環境で養育されるように、効果的な普及啓発やリクルートにより里親登録数を増やし、地域で暮らす里親子の支援を充実させ、家庭養育を優先した養育委託の推進に取り組みます。
5	子どもの見守り及び支援にかかる児童館職員のスキルの向上	
	目的と内容	子どもや子育て家庭が身近な地区で安心して生活できるよう、児童館職員の人材育成や支援力向上に向けた取組みを推進し、多様な地域資源と連携しながら、相談支援や見守りのネットワークの強化を図ります。
6	ヤングケアラーへの支援の推進	
	目的と内容	本人や家族に自覚がなく問題が潜在化しやすいヤングケアラーに対し、教育・高齢・障害・生活福祉・医療・地域の支援団体等が連携しながら、ヤングケアラーとその家族に寄り添い、早期に必要な支援につながる環境づくりを推進します。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	「まいぷれいす」の利用者数	2,500人（令和5年度見込み）	目標	4,400人		当初目標	4,800人	4,800人	4,800人	18,800人
			実績	3,857人						
			達成状況※1	87.7%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
「まいぷれいす」の実施箇所数（累計）	1箇所	当初計画	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	2箇所	—	—	—	2箇所

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	ひとり親家庭等への休日相談支援の利用者数	25人（令和5年度見込み）	目標	98人		当初目標	103人	103人	103人	407人
			実績	28人						
			達成状況※1	28.6%	C	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
ひとり親家庭等への休日相談支援の実施回数	6回（令和5年度見込み）	当初計画	55 回	55回	55回	55回	220回
		修正計画		79回	79回	79回	292回
		実績	13 回	—	—	—	13回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●行動量

より多くのひとり親家庭等の相談に応じることができるよう相談支援の拡充を図るため、令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	わくわくタイム・心理士相談の利用者数	—	目標	60 組		当初目標	90組	120組	150組	420組
			実績	64 組						
			達成状況※1	106.7%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
わくわくタイム・心理士相談の地域施設での実施回数	—	当初計画	12 回	18回	24回	30回	84回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	13 回	—	—	—	13回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
4	登録里親数（累計）	104家庭（令和5年12月時点）	目標	212家庭		当初目標	225家庭	238家庭	246家庭	246家庭（累計）
			実績	99家庭						
			達成状況※1	46.7%	C	修正目標	105家庭	108家庭	116家庭	116家庭（累計）

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
里親制度説明会の実施回数	3回（令和5年12月時点）	当初計画	6 回	6回	6回	6回	24回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	6 回	—	—	—	6回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

令和7年3月に策定した「世田谷区社会的養育推進計画（中間見直し）」で定める里親等登録数の目標整備量に基づき、代替養育を必要とする児童数の減少、目標とする里親等委託率の見直しを踏まえて、令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
5	児童館への相談件数	700件（令和5年度見込み）	目標	740件		当初目標	770件	800件	830件	3,140件
			実績	2,265件						
			達成状況※1	306.1%	A	修正目標	2,300件	2,330件	2,360件	7,730件

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
人材育成や支援力向上を目的とした研修を受講した児童館職員数	310人（令和5年度見込み）	当初計画	315 人	320人	325人	330人	1,290人
		修正計画		—	—	—	—
		実績	290 人	—	—	—	290人

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行を踏まえ、令和6年度の実績が当初設定した目標値を大きく上回る結果となった。さらに、令和5年度に策定した「児童館を中心とした子どもの権利の拠点づくりに関する報告書」を基に、子どもの権利を中心とした児童館運営の強化に取り組むとともに、令和7年度からは児童館を児童福祉法に基づく地域子育て相談機関として位置付け、周知を強化していくことにより、今後も増加を図るため、令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
6	ヤングケアラー支援に関する研修等のアンケートで理解が深まったと回答した人数	64人（令和5年12月時点）	目標	80人		当初目標	96人	96人	96人	368人
			実績	270人						
			達成状況※1	337.5%	A	修正目標	120人	—	—	392人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
ヤングケアラー支援に関する研修等の実施回数	5回（令和5年12月時点）	当初計画	5 回	6回	6回	6回	23回
		修正計画		10回	6回	6回	27回
		実績	22 回	—	—	—	22回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

令和6年度よりヤングケアラーコーディネーターを配置し、ヤングケアラーに関わる関係機関との顔の見える関係の強化を図り、普及啓発及び研修の回数の増加に努めた。今後も理解促進を図っていくため、令和7年度の目標値を変更した。

●行動量

事業初年度の令和6年度に引き続き、令和7年度も研修を通じた関係機関等への周知強化を行い、認知度向上を図るため、令和7年度の目標値を変更した。

分野別政策3　若者が力を発揮できる環境づくり

施策3-1	若者が力を発揮できる環境の充実
関連政策等	重点政策：1　分野別政策：3
所管部	子ども・若者部

（1）施策に連なる事業

番号	事業	
1	中学生及び高校生世代の主体的な参加の促進	
	目的と内容	ティーンエイジカーニバルをはじめ若者自らの主体的な活動を通して自立と成長を促すとともに、世代を超えた出会いや交流の機会を積極的に創出し、若者の社会への参加・参画、協働の意識を醸成します。
2	青少年交流センターのプログラムの充実	
	目的と内容	青少年交流センターを利用する若者が、主体的にプログラム活動に参加できる体制を整備することで、参加した若者の達成感や自己肯定感を高め、自らの意思で地域で活動する気運を醸成します。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	児童館利用者のうち、主体的な活動に取り組んだ若者の人数	3,500人（令和5年度見込み）	目標	3,550人		当初目標	3,600人	3,650人	3,700人	14,500人
			実績	3,957人						
			達成状況※1	111.5%	A	修正目標	4,000人	4,050人	4,100人	15,700人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
ティーンズプロジェクトの実施回数	130回（令和5年度見込み）	当初計画	133 回	136回	139回	142回	550回
		修正計画		285回	290回	300回	1,008回
		実績	323 回	—	—	—	323回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後において、当初計画していたよりも多くティーンズプロジェクトを実施したことにより、より多くの若者（中高生世代）の活動参加が得られた。小学生世代からの周知・PRに努めるなど、今後も更なる参加者増加に向けた取組みを図るため、令和6年度の実績を踏まえ、令和7年度以降の目標値を変更した。

●行動量

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行を踏まえて設定した目標値を、令和6年度実績値が大きく上回る見込みのため令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	青少年交流センターのプログラムに参加した若者の人数	6,454人（令和5年12月時点）	目標	10,500人		当初目標	11,000人	11,500人	12,000人	45,000人
			実績	11,504人						
			達成状況※1	109.6%	A	修正目標	11,500人	12,000人	12,500人	46,500人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
青少年交流センターにおける若者が主体的に参加・参画するプログラム数	110回（令和5年12月時点）	当初計画	140 回	150回	160回	170回	620回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	208 回	—	—	—	208回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

令和7年度以降は利用者のプログラム参加率や満足度の向上を図るため、プログラム内容の充実に取り組む。また、令和7年度から青少年交流センターにおける各種体験プログラム費用無償化の開始に伴いプログラム参加者の増加が見込まれるため、令和6年度の実績をもとに令和7年度以降の目標値を変更した。

分野別政策3　若者が力を発揮できる環境づくり

施策3-2	生きづらさを抱える若者への支援
関連政策等	重点政策：１、４　分野別政策：3
所管部	子ども・若者部、保健福祉政策部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	若者の相談・支援の充実	
	目的と内容	若者総合相談センター「メルクマールせたがや」において、専門職による個別相談や居場所プログラム、家族支援や多機関連携等の複合的な支援により、学校生活になじめない等の生きづらさ・困難を抱えた若者が自分らしく生きるサポートを行っていきます。
2	児童養護施設退所者等相談支援事業の実施	
	目的と内容	児童養護施設退所者等が社会的自立に向けて安定した生活を送ることができるよう、児童養護施設退所者等相談支援事業（せたエール）において、気軽に利用できる居場所事業の実施により、支援ニーズを把握し個別相談につなげます。居場所に呼び込むための働きかけとして、関係機関への訪問や連絡会議等への参加などの連携強化に向けた取組みを行い、対象者の掘り起こしを行います。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	メルクマールせたがやにおける、若者を対象とする相談件数	2,612件（令和5年10月末時点）	目標	3,725件		当初目標	3,750件	3,775件	3,800件	15,050件
			実績	4,564件						
			達成状況※1	122.5%	A	修正目標	4,800件	5,100件	5,400件	19,025件

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
セミナーや説明会等による周知回数	25回（令和5年度見込み）	当初計画	25 回	25回	25回	25回	100回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	25 回	—	—	—	25回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

令和6年度実績が、実施計画最終年度の目標値を大きく上回ったため、令和7年度以降の目標値を変更した。当初計画の目標値を上回った要因としては、令和4年度より開設したひきこもり相談窓口「リンク」に相談があり、メルクマールせたがやが対応したケースが想定を上回ったことや、比較的相談頻度の高い若い世代の相談が増加したことがある。修正目標の設定にあたっては、令和5年度から令和6年度にかけて対前年比4%増だったため、今後も5%増程度で推移していくものと見込む。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	せたエールにおける、居場所から相談支援へつないだ件数	7件（令和5年度見込み）	目標	13 件		当初目標	17件	21件	25件	76件
			実績	12 件						
			達成状況※1	92.3%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
関係機関との連携の回数	33回（令和5年度見込み）	当初計画	34 回	35回	36回	37回	142回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	35 回	—	—	—	35回

分野別政策4　新たな学校教育の推進

施策4-1	キャリア・未来デザイン教育の推進
関連政策等	重点政策：2　分野別政策：4
所管部	教育委員会事務局

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	キャリア教育	
	目的と内容	子どもたちが自らの学習状況や学校行事、地域での活動等によるキャリア形成を見通した振り返りを通じて、自身の変容や成長を自己評価できるようにするとともに、教師が子どもたちと対話的に関わり、個性を伸ばす指導へとつなげ、自らが課題に向き合い判断して行動できる人材の育成に取り組みます。
2	せたがや探究的な学び	
	目的と内容	子どもたちが自ら問いを見出し、自分の考えを他者に工夫して伝え、課題解決の方法を考え、友達と協働しながら自分の考えをさらに深め、学びを振り返ることで新たな課題を見つけていく「探究のプロセス」と、幼児期と小・中学校との連続性を発展的に捉え、子どもたちが多様な体験を積むなかで 、他者や社会とつながり学びを広げ深める「共感・協働」をキーワードとした授業改善に取り組みます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合 a）小学生 ※2	78%	目標	78.5%		当初目標	79%	79.5%	80%	80%
			実績	80.5%						
			達成状況※1	102.5%	A	修正目標	—	—	—	—
	将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合 b）中学生 ※3	64.5%	目標	66.5%		当初目標	67.5%	68.5%	70%	70%
			実績	64.4%						
			達成状況※1	96.8%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量　1-①	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
キャリア・パスポートの実施	全区立小・中学校	当初計画	全区立小・中学校	全区立小・中学校	全区立小・中学校	全区立小・中学校	全区立小・中学校
		修正計画		—	—	—	—
		実績	全区立小・中学校	—	—	—	全区立小・中学校

行動量　1-②	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
職場体験活動の実施	全区立中学校	当初計画	全区立中学校	全区立中学校	全区立中学校	全区立中学校	全区立中学校
		修正計画		—	—	—	—
		実績	全区立中学校	—	—	—	全区立中学校

※2：成果指標の設問への回答数：4,624件/全国学力・学習状況調査への総回答数：5,745件（小学校第6学年）
※3：成果指標の設問への回答数：2,267件/全国学力・学習状況調査への総回答数：3,518件（中学校第3学年）

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	自分の考えがうまく伝わるよう話の組立てなどを工夫して発表できる児童・生徒の割合 a）小学生 ※4	71.3%	目標	72 %		当初目標	73%	74%	75%	75%
			実績	76 %						
			達成状況※1	105.6%	A	修正目標	77%	78%	79%	79%
	自分の考えがうまく伝わるよう話の組立てなどを工夫して発表できる児童・生徒の割合 b）中学生 ※5	74.7%	目標	76 %		当初目標	77%	78%	79%	79%
			実績	78.1%						
			達成状況※1	102.8%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
探究のプロセスを取り入れた授業の実施	全区立小・中学校	当初計画	全区立小・中学校	全区立小・中学校	全区立小・中学校	全区立小・中学校	全区立小・中学校
		修正計画		—	—	—	—
		実績	全区立小・中学校	—	—	—	全区立小・中学校

※4：成果指標の設問への回答数：4,370件/全国学力・学習状況調査への総回答数：5,745件（小学校第6学年）
※5：成果指標の設問への回答数：2,749件/全国学力・学習状況調査への総回答数：3,518件（中学校第3学年）

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

教育課程においては、世田谷区の幼児・児童・生徒の実態に即して「探究のプロセス」「共感・協働」をキーワードにした指導改善の取組み「せたがや探究的な学び」を推進し、学びの質的転換に取り組んだ。その結果、令和6年度調査において、「ａ ）小学生」については、実施計画最終年度の目標値を達成したため、令和7年度以降の目標値を変更した。

分野別政策4　新たな学校教育の推進

施策4-2	教育DXのさらなる推進
関連政策等	重点政策：2　分野別政策：4
所管部	教育委員会事務局

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	ICTを活用した教員の働き方改革の推進	
	目的と内容	児童・生徒の成績情報や出欠情報、所見データ等のダッシュボード化による一元管理や校内ネットワークの統合により、ICTを活用した教員の業務負担軽減を推進し、子どもたちと向き合う時間の拡充を図ります。
2	ICTを活用した学びの推進	
	目的と内容	児童・生徒一人ひとりへのタブレット端末の配付や各種学習用アプリの一層の活用などにより、自ら学びを考え、主体的に判断・行動し、よりよく課題を解決する能力を身につけられるよう、ICTを活用した学びを推進します。
3	児童・生徒の情報活用能力の育成	
	目的と内容	これからの時代を生きる子どもたちが様々な情報やICTサービス等を適切かつ効果的に活用して課題解決を図れるよう、ICTリテラシー教育を推進していきます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	子どもと向き合う時間が増えたと感じる教員の割合 ※2	82.5%	目標	84 %		当初目標	86%	88%	90%	90%
			実績	89 %						
			達成状況 ※1	106.0%	A	修正目標	89%	90%	—	—

行動量　1－①	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
業務効率化に向けたネットワークの統合	検討	当初計画	統合環境整備及び一部運用	統合環境の運用	運用	運用	—
		修正計画		—	—	—	—
		実績	統合環境整備及び一部運用	—	—	—	—

行動量　1－②	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
ダッシュボードで参照できるデータ数（累計）	6	当初計画	6	校内ネットワークの統合を踏まえ検討	校内ネットワークの統合を踏まえ検討	校内ネットワークの統合を踏まえ検討	6（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	6	—	—	—	6

※2：成果指標とする設問への回答数：81件／ICT支援員満足度調査のアンケート総回答数：91件

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

ICTの活用により年度更新に係る教職員の負担軽減を実現したことにより実績が目標値を上回り、引き続き教員の負担軽減から子どもと向き合う時間の増加へつながるよう取組みを継続することから、令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	学校、自宅いずれかでドリル学習アプリまたは授業支援アプリを毎週使用した児童・生徒の割合 a）小学生 ※3	74.9%（令和4年度）	目標	75%		当初目標	80%	83%	85%	85%
			実績	93.3%						
			達成状況※1	124.4%	A	修正目標	—	—	—	—
	学校、自宅いずれかでドリル学習アプリまたは授業支援アプリを毎週使用した児童・生徒の割合 b）中学生 ※4	72.8%（令和4年度）	目標	75%		当初目標	80%	83%	85%	85%
			実績	98.5%						
			達成状況※1	131.3%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
学習用タブレット端末で利用可能なアプリの配信数（累計）	201（令和5年度見込み）	当初計画	206	211	216	221	221（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	208	—	—	—	208

※3：成果指標とする設問への回答数：25,766件／世田谷区立学校の小学生のICT活用に関する実態調査の総回答数：27,631件
※4：成果指標とする設問への回答数：8,098件／世田谷区立学校の中学生のICT活用に関する実態調査の総回答数：8,225件

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	講座受講者のうち、ICTリテラシーへの理解が深まった児童・生徒の割合 a）小学校6年生 ※5	92.9%（令和4年度）	目標	93%		当初目標	93%	93%	93%	93%
			実績	97.7%						
			達成状況※1	105.1%	A	修正目標	—	—	—	—
	講座受講者のうち、ICTリテラシーへの理解が深まった児童・生徒の割合 b）中学校1年生 ※6	93.8%（令和4年度）	目標	94%		当初目標	94%	94%	94%	94%
			実績	97.8%						
			達成状況※1	104.0%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
ネットリテラシー醸成講座の実施回数 a）小学校6年生	1回	当初計画	1 回	1回	1回	1回	4回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	1 回	—	—	—	1回
ネットリテラシー醸成講座の実施回数 b）中学校1年生	1回	当初計画	1 回	1回	1回	1回	4回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	1 回	—	—	—	1回

※5：成果指標とする設問への回答数：3,808件／世田谷区「ネットリテラシー醸成講座」授業後アンケート総回答数：3,898件
※6：成果指標とする設問への回答数：1,478件／世田谷区「ネットリテラシー醸成講座」授業後アンケート総回答数：1,512件

分野別政策4　新たな学校教育の推進

施策4-3	多様な個性が生かされる教育の推進
関連政策等	重点政策：2　分野別政策：4
所管部	教育委員会事務局

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	インクルーシブ教育の推進	
	目的と内容	将来の社会参加に向け、持てる力を発揮していけるよう、児童・生徒や保護者の声に耳を傾け、成長に目を注ぎ、学ぶ達成感や生きる力を育みながら、全ての子どもが共に学び共に育つインクルーシブ教育の推進に取り組みます。
2	特別支援教育の充実	
	目的と内容	インクルーシブ教育の円滑な推進に向け、誰一人取り残さないよう、児童・生徒一人ひとりに必要な教育的ニーズに対応した特別支援教育と一人ひとりの状況に応じた合理的配慮の充実に取り組みます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	研修受講者のうち、インクルーシブ教育への理解が深まった人数	274人	目標	276人		当初目標	278人	280人	282人	1,116人
			実績	332人						
			達成状況※1	120.3%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
教職員研修の実施回数	3回	当初計画	3 回	3回	3回	3回	12回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	3 回	—	—	—	3回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	巡回グループによる支援・助言が児童・生徒一人ひとりの状態に応じた支援に効果があると回答した学校の割合 ※2	80.4%	目標	82%		当初目標	84%	86%	88%	88%
			実績	91.4%						
			達成状況※1	111.5%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
特別支援教育巡回グループの年間の訪問校数	74校（令和5年度見込み）	当初計画	90 校	90校	90校	90校	360校
		修正計画		—	—	—	—
		実績	75 校	—	—	—	75校

※2：成果指標の設問への回答数：64件／「特別支援教育巡回グループ」の支援・助言に対するアンケートの総回答数：70件

分野別政策4　新たな学校教育の推進

施策4-4	多様性や個性を認め伸ばす学びの場づくり
関連政策等	重点政策：2、5　分野別政策：4
所管部	教育委員会事務局

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	魅力ある学校づくりモデル研究	
	目的と内容	区立小・中学校で研究校を指定し、外部有識者・教育委員会・学校関係者等による調査研究会議を組織し調査研究を進め、研究校と地域の企業や大学等の連携により、まち全体を学びの場として捉える仕組みの構築を図ります。
2	多様な体験学習	
	目的と内容	教育総合センターで実施している「STEAM教育講座」を推進するとともに、教育総合センター以外の場においても多様な学習を体験できるように学校へ講師を派遣する出前学習等、体験機会の充実を図り、様々な体験を通じて、子どもたちの自己肯定感を高めていく取組みを進めます。
3	高校・大学・企業等とのマッチングの推進	
	目的と内容	教育委員会が主体となって区内外の高校・大学・企業等と連携し、双方の教育資源の活用や人的交流を図りながら、子どもたちが自らの可能性に気づき、個性や才能を伸ばしていける学習機会を提供します。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている児童・生徒の割合 a）小学生　※2	75.1%	目標	78%		当初目標	80%	82%	84%	84%
			実績	83.4%						
			達成状況※1	106.9%	A	修正目標	—	—	—	—
	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている児童・生徒の割合 b）中学生　※3	60.9%	目標	64%		当初目標	66%	68%	70%	70%
			実績	73.9%						
			達成状況※1	115.5%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
地域の企業や大学等と研究校が連携して実施した事業の実施回数	6回	当初計画	9 回	15回	20回	25回	69回
		修正計画		23回	28回	30回	90回
		実績	22 回	—	—	—	22回

※2：成果指標の設問への回答数：4,789件/全国学力・学習状況調査への総回答数：5,745件（小学校第6学年）
※3：成果指標の設問への回答数：2,598件/全国学力・学習状況調査への総回答数：3,518件（中学校第3学年）

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●行動量

各研究校において積極的な連携が進んだため、令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	自分には、よいところがあると思う児童・生徒の割合 a）小学生　※4	85.8%	目標	86%		当初目標	88%	90%	92%	92%
			実績	87.2%						
			達成状況※1	101.4%	A	修正目標	—	—	—	—
	自分には、よいところがあると思う児童・生徒の割合 b）中学生　※5	84.4%	目標	86%		当初目標	88%	90%	92%	92%
			実績	86.5%						
			達成状況※1	100.6%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
出前講座等による多様な体験学習の実施回数	90回	当初計画	105 回	105回	117回	117回	444回
		修正計画		120回	120回	120回	465回
		実績	113 回	—	—	—	113回

※4：成果指標の設問への回答数：5,012件/全国学力・学習状況調査への総回答数：5,745件（小学校第6学年）
※5：成果指標の設問への回答数：3,041件/全国学力・学習状況調査への総回答数：3,518件（中学校第3学年）

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●行動量

出前学習が好評なことから充実を図り、令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合 a）小学生　※6	78%	目標	78.5%		当初目標	79%	79.5%	80%	80%
			実績	80.5%						
			達成状況※1	102.5%	A	修正目標	—	—	—	—
	将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合 b）中学生　※7	64.5%	目標	66.5%		当初目標	67.5%	68.5%	70%	70%
			実績	64.4%						
			達成状況※1	96.8%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
高校・大学・企業等と連携して実施した事業の実施回数	8回	当初計画	12 回	15回	20回	25回	72回
		修正計画		17回	22回	27回	78回
		実績	16 回	—	—	—	16回

※6：成果指標の設問への回答数：4,624件/全国学力・学習状況調査への総回答数：5,745件（小学校第6学年）
※7：成果指標の設問への回答数：2,267件/全国学力・学習状況調査への総回答数：3,518件（中学校第3学年）

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●行動量

教育総合センターメッセにおける大学連携がより進んだため、令和7年度以降の目標値を変更した。

分野別政策5　不登校支援の強化

施策5-1	相談・支援体制の充実と連携体制の強化
関連政策等	重点政策：2　分野別政策：5
所管部	教育委員会事務局

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	不登校支援グループによる相談受付・支援活動の実施	
	目的と内容	心理士やスクールソーシャルワーカーで構成する不登校支援グループを設置し、困難事例への対応を支援するほか、不登校の原因分析や対応策の検討を行い、早期に適切な支援に結びつけるとともに、学校等への支援体制の強化に取り組みます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	どこにもつながっていない不登校児童・生徒の割合	25.3%（令和4年度）	目標	23 %		当初目標	20%	19%	18%	18%
			実績	23 %						
			達成状況※1	100.0%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量1-①	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
不登校児童・生徒や保護者の支援件数（電話相談受付件数）	560件（令和5年度見込み）	当初計画	580 件	600件	650件	650件	2,480件
		修正計画		—	—	—	—
		実績	502 件	—	—	—	502件

行動量1-②	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
不登校児童・生徒や保護者の支援件数（アウトリーチ支援件数）	—	当初計画					
		修正計画		55件	65件	75件	195件
		実績		—	—	—	—

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●行動量

不登校児童・生徒が増加傾向である現状を踏まえ、不登校支援窓口における支援に係る行動量（電話相談、アウトリーチ支援）を各個設定し、一体的、効果的に相談体制、支援活動を強化する計画とするため、令和7年度以降の項目を追加した。

分野別政策5　不登校支援の強化

施策5-2	多様な学びの場や居場所の充実
関連政策等	重点政策：2　分野別政策：5
所管部	教育委員会事務局

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	ほっとルームの充実	
	目的と内容	学校に登校しているものの、様々な事情から教室に入れず、保健室や図書室、校長室などの別室を居場所としている児童・生徒への支援として、学校生活サポーターを配置し、魅力ある学校づくりを進めるとともに不登校の未然防止に向けた取組みを進めます。
2	オンライン支援事業の充実	
	目的と内容	不登校及び不登校傾向の児童・生徒を対象に、タブレット型情報端末等を利用したオンラインによる学習支援や子ども同士のコミュニケーションを図ることができる居場所支援、複数参加による体験プログラムの提供、保護者も利用可能なマンツーマンの個別相談支援を行います。
3	ほっとスクールの充実	
	目的と内容	心理的な理由等により不登校の状態にある児童・生徒が、「心の居場所」として集団生活を通じて社会性や協調性を育み自立心を養い、学校生活への復帰や自分らしい進路を選択できる環境づくりを進めます。
4	学びの多様化学校（不登校特例校）の充実	
	目的と内容	学びの多様化学校（不登校特例校）において、不登校生徒の実態に合わせた特別な教育課程に基づき、生徒一人ひとりの状況に即した世田谷らしい学びを展開して、意欲や個性、能力を伸ばし、社会の一員として自立できる力を育む取組みを進めます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	ほっとルームの利用人数	160人（令和5年度見込み）	目標	300人		当初目標	400人	450人	500人	1,650人
			実績	242人						
			達成状況※1	80.7%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
ほっとルーム設置学校数（累計）	15校	当初計画	60 校	90校	90校	90校	90校（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	67 校	—	—	—	67校

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	オンライン支援事業の利用人数	200人（令和5年度見込み）	目標	250人		当初目標	300人	350人	400人	1,300人
			実績	195人						
			達成状況※1	78.0%	C	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
オンライン支援事業の受入可能人数（累計）※2	300人	当初計画	300 人	450人	450人	450人	450人（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	600 人	—	—	—	600人

※2：1週間あたりのオンライン支援事業の受入可能人数（累計）

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	ほっとスクールの利用人数	290人（令和5年度見込み）	目標	340人		当初目標	390人	440人	490人	1,660人
			実績	285人						
			達成状況※1	83.8%	B	修正目標	—	510人	610人	1,850人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
ほっとスクールの箇所数（累計）	3箇所	当初計画	3箇所 増設に向けた検討	3箇所 増設に向けた検討	3箇所 増設に向けた検討	3箇所 増設に向けた検討	3箇所（累計）
		修正計画		3箇所 新規開設に向けた準備	4箇所	4箇所	4箇所（累計）
		実績	3箇所 増設に向けた検討	—	—	—	3箇所

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

令和8年4月に開設予定の（仮称）ほっとスクール北沢における利用想定人数を考慮して、令和8年度以降の目標値を変更した。

●行動量

旧北沢小学校後活用に伴う新規開設を踏まえ、令和8年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
4	学びの多様化学校（不登校特例校）の利用人数	45人（令和5年度見込み）	目標	60 人		当初目標	60人	60人	60人	240人
			実績	41 人						
			達成状況※1	68.3%	C	修正目標	—	120人	120人	360人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
学びの多様化学校（不登校特例校）の箇所数（累計）	1箇所	当初計画	1箇所 新規開設に向けた基本構想の策定	1箇所 基本構想を踏まえた開設に向けた取組み	1箇所 基本構想を踏まえた開設に向けた取組み	1箇所 基本構想を踏まえた開設に向けた取組み	1箇所（累計）
		修正計画		1箇所 新規開設に向けた準備	2箇所	2箇所	2 箇所（累計）
		実績	1 箇所 基本構想・基本計画策定	—	—	—	1箇所

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

「世田谷区立学びの多様化学校（不登校特例校）等基本計画」に基づき、旧北沢小学校後活用に伴う新規開設を踏まえ、令和8年度以降の目標値を変更した。

●行動量

旧北沢小学校後活用に伴う新規開設を踏まえ、令和8年度以降の目標値を変更した。

分野別政策6　生涯を通じた学習の充実

施策6-1	知と学びと文化の情報拠点としての新たな図書館の創造
関連政策等	重点政策：2　分野別政策：6
所管部	教育委員会事務局

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	読書機会の提供による読書習慣の継続	
	目的と内容	乳幼児から小学生・中高生までのそれぞれの発達段階に応じた読書に興味・関心をひく講演会等を実施することにより、子どもたちに読書習慣が身につくよう取り組みます。
2	非来館型図書館サービスの充実	
	目的と内容	新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえ、電子図書資料を充実するとともにICT技術を活用し、図書館ホームページ上で完結できるサービスやオンラインでできるサービスなど非来館サービスの充実を図ります。
3	図書館機能の充実	
	目的と内容	区民の知る自由を保障し、区立図書館としての公共性や専門性を維持するため、人材確保や組織体制の整備等中央図書館のマネジメント機能の強化等により、資料収集・提供やレファレンスの機能充実を図ります。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	児童書の貸出冊数	1,891,096冊（令和5年12月時点）	目標	2,650,000冊		当初目標	2,652,000冊	2,654,000冊	2,656,000冊	10,612,000冊
			実績	2,400,833冊						
			達成状況※1	90.6%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
お話し会等の実施数	935回（令和5年12月時点）	当初計画	1,250回	1,300回	1,350回	1,400回	5,300回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	1,178回	—	—	—	1,178回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	電子書籍貸出数	18,132回（令和5年12月時点）	目標	23,000回		当初目標	26,000回	32,000回	38,000回	119,000回
			実績	25,051回						
			達成状況※1	108.9%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
電子図書の蔵書数（累計）	13,732冊（令和5年12月時点）	当初計画	15,000冊	16,500冊	18,000冊	19,500冊	19,500冊（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	16,696冊	—	—	—	16,696冊

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	レファレンス受付件数	50,580件（令和5年12月時点）	目標	78,000件		当初目標	80,000件	82,000件	84,000件	324,000件
			実績	63,278件						
			達成状況※1	81.1%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
図書館活用講座・情報検索講座参加者数	197人（令和5年12月時点）	当初計画	200 人	250人	250人	250人	950人
		修正計画		400人	400人	400人	1,400人
		実績	826 人	—	—	—	826人

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●行動量

事業実績を踏まえ、令和7年度以降の目標値を変更した。

分野別政策6　生涯を通じた学習の充実

施策6-2	常に学ぶ区民意識の涵養と社会参加の促進
関連政策等	重点政策：2　分野別政策：6
所管部	教育委員会事務局

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	多様な学びと体験の提供	
	目的と内容	子ども・若者の自然体験活動を通した学習の機会が近年減少傾向にあるなか、青少年育成団体・企業・NPO・学校等の連携を強化し、学びの機会の充実を目指します。
2	学んだ成果を生かせる地域づくり	
	目的と内容	区民が生涯を通じて主体的に学んだ成果を積極的に生かすことのできる地域づくりを目指し、学校を起点に保護者や町会・自治会、商店会、地域団体等の連携を深め、地域活動につながるよう支援していきます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度	区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	青少年教育事業の参加者数 a）いかだ下り大会	236人	目標	250人	当初目標	250人	250人	250人	1,000人
			実績	—					
			達成状況※1	— —	修正目標	—	—	—	—
	青少年教育事業の参加者数 b）新年子どもまつり	—	目標		当初目標				
			実績						
			達成状況※1		修正目標	1,200人	1,200人	1,200人	3,600人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
青少年教育事業の実施 a）いかだ下り大会	1回	当初計画	1 回	1回	1回	1回	4回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	— （河川の増水による中止）	—	—	—	—
青少年教育事業の実施 b）新年子どもまつり	—	当初計画					
		修正計画		1回	1回	1回	3回
		実績		—	—	—	—

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

青少年教育事業における多様な学びと体験の提供として、いかだ下り大会のほか、新年子どもまつりの雪のすべり台、かまくら体験についても、自然体験活動を通した学びの機会であるため、新年子どもまつりも成果指標に追加し、青少年教育事業の参加者数の計画を変更した。

●行動量

新年子どもまつりの雪のすべり台、かまくらについても、自然体験活動を通した学びの機会であることから、令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	連携・協働の事例研究発表シンポジウムの参加者数	50人（令和5年度見込み）	目標	50 人		当初目標	50人	50人	50人	200人
			実績	44 人						
			達成状況※1	88.0%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
連携・協働の事例研究発表シンポジウムの実施	1回（令和5年度見込み）	当初計画	1 回	1回	1回	1回	4回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	1 回	—	—	—	1回

分野別政策6　生涯を通じた学習の充実

施策6-3	文化財の保護・普及活動の推進
関連政策等	重点政策：2　分野別政策：6
所管部	教育委員会事務局

（1）施策に連なる事業

番号	事業	
1	デジタルミュージアムのコンテンツの充実	
	目的と内容	デジタルミュージアムの運営により、世田谷の歴史・文化にインターネット上で気軽に触れる機会を提供するとともに、魅力的なコンテンツの充実に取り組みます。
2	文化財ボランティアの育成・支援	
	目的と内容	地域における文化財保護の担い手となる文化財ボランティアの育成・支援に取り組むとともに、ボランティア活動を行う施設数の拡大に向けた検討を進めていきます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	デジタルミュージアム閲覧回数	227,842回（令和5年度見込み）	目標	238,000回		当初目標	249,000回	260,000回	271,000回	1,018,000回
			実績	240,216回						
			達成状況※1	100.9%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
デジタルミュージアム動画コンテンツ数（累計）	14本（令和5年度見込み）	当初計画	16 本	18本	20本	22本	22本（累計）
		修正計画		17本	19本	21本	21本（累計）
		実績	15 本	—	—	—	15本

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●行動量

令和5年度に2本の動画を制作予定だったが、そのうち1本が撮影対象行事当日の天候不順により制作不可となり、令和6年度に制作順延となった。動画制作には、撮影対象文化財の所有者等との諸調整や編集校正に時間を要し、年間2本を超える制作は困難であるため、令和6年度以降は当初計画どおり年2本の制作を目標とし、累計総量を1作品減らし21作品に変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	文化財ボランティア登録者数（累計）	28人（令和5年度見込み）	目標	38 人		当初目標	48人	68人	78人	78人（累計）
			実績	81 人						
			達成状況※1	213.2%	A	修正目標	81人	91人	121人	121人（累計）

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
文化財ボランティアの育成講座数	4回（令和5年度見込み）	当初計画	5 回	5回	6回	7回	23回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	5 回	—	—	—	5回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

令和6年度時点で、当初の目標を大きく上回ったため、令和7年度以降の目標値を変更した。
また、当初は、登録者数をボランティア養成講座の実施年度で計上し、令和7年度は10人(代官屋敷）、令和8年度は20人（新規活動場所）、令和9年度は10人（野毛大塚古墳・等々力渓谷）の増員としていたが、代官屋敷と新規活動場所の登録は、養成講座実施年度の翌年度となるため、令和7年度は0人（令和8年度に向けた養成講座の実施のみ）、令和8年度は10人（代官屋敷）、令和9年度は30人（新規活動場所20人、野毛大塚古墳・等々力渓谷10人）の増員に変更した。

分野別政策7　健康づくりの推進

施策7-1	主体的に取り組める健康づくりの推進
関連政策等	重点政策：3　分野別政策：7
所管部	世田谷保健所

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	科学的根拠に基づくがん検診の推進と受診率の向上	
	目的と内容	がん検診の受診率向上に向け、当面の間は受診勧奨対象者の拡大を図りつつ、より効果的な受診勧奨の取組みとして、個人ごとに受診できる検診を一括してお知らせする勧奨通知の発送に向けた検討を進め、受診勧奨の強化を図ります。また、検診を受けやすい環境づくりの一環として、希望する検診の申し込みをワンストップで行える体制を整備します。
2	誰もが身近で気軽に取り組める運動の促進	
	目的と内容	区民が身近な場所で楽しみながら身体活動量を向上できるよう、ウォーキング等の気軽に取り組める運動について普及・啓発を行います。
3	健康につながる食環境づくり	
	目的と内容	区内のスーパーマーケット・飲食店において、適塩等の一定の栄養基準を満たした商品やメニュー等に、「せたミール」としてシールによる表示を行うなど、区民が食に関心を持ち、自らの健康を意識するきっかけづくりに取り組みます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1－①	胃がん検診受診率※2	11.5%（令和4年度）	目標	20.1%		当初目標	30.1%	40%	50%	50%
			実績	8.9%						
			達成状況※1	44.3%	C	修正目標	—	—	—	—
1－②	大腸がん検診受診率※3	17.4%（令和4年度）	目標	26.1%		当初目標	34.6%	43%	51.5%	51.5%
			実績	16.4%						
			達成状況※1	62.8%	C	修正目標	—	—	—	—
1－③	肺がん検診受診率※4	19.4%（令和4年度）	目標	27.6%		当初目標	35.7%	43.8%	51.9%	51.9%
			実績	18.7%						
			達成状況※1	67.8%	C	修正目標	—	—	—	—

1－④	子宮頸がん検診受診率 ※5	31.4% （令和4年度）	目標	36.9%		当初目標	42.7%	48.4%	54.2%	54.2%
			実績	29.0%						
			達成状況 ※1	78.6%	C	修正目標	—	—	—	—
1－⑤	乳がん検診受診率 ※6	26.6% （令和4年度）	目標	32.7%		当初目標	39.5%	46.4%	53.2%	53.2%
			実績	25.6%						
			達成状況 ※1	78.3%	C	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値 （策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量 （令和9年度末）
がん検診受診勧奨の強化 a）勧奨通知の発送者数	456,089人	当初計画	504,000人	518,000人	625,000人	625,000人	2,272,000人
		修正計画		—	—	—	—
		実績	470,398人	—	—	—	470,398人
がん検診受診勧奨の強化 b）新たな手法による受診勧奨	—	当初計画	検討	検討	実施	実施	—
		修正計画		—	—	—	—
		実績	検討	—	—	—	—
がん検診受診勧奨の強化 c）ワンストップで行える申込体制の構築	—	当初計画	検討	検討	実施	実施	—
		修正計画		—	—	—	—
		実績	検討	—	—	—	—

※2：受診者：24,987人／40歳以上の区民から東京都の算出した割合（※7）を除いた人口：279,281人
※3：受診者：48,624人／40歳以上の区民から東京都の算出した割合（※7）を徐いた人口：295,867人
※4：受診者：55,168人／40歳以上の区民から東京都の算出した割合（※7）を徐いた人口：294,797人
※5：受診者：68,334人／20歳以上の女性区民から東京都の算出した割合（※7）を徐いた人口：235,874人
※6：受診者：43,983人／40歳以上の女性区民から東京都の算出した割合（※7）を徐いた人口：172,034人
※7：職域保険（会社員・公務員等）での受診機会がある方、医療の中で検診相当行為を受けた方及び人間ドック等を個人的に申し込み受診した方、さらに事実上検診を受診できない方（入院・療養・妊娠中などの方）
※8：各がん検診の受診者数は翌年度10月以降に確定するため、速報値を記載している。このため、令和7年度末の実施計画推進状況にて確定値を記載する。

番号	成果指標	現況値 （策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量 （令和9年度末）
2	1日に30分以上歩いている区民の割合 ※9	77.2%	目標	78.3%		当初目標	78.8%	79.3%	79.8%	79.8%
			実績	74.2%						
			達成状況 ※1	94.8%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値 （策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量 （令和9年度末）
ウォーキングマップの配布数	5,000部 （令和5年度見込み）	当初計画	10,000部	5,000部	5,000部	5,000部	25,000部
		修正計画		—	—	—	—
		実績	10,367部	—	—	—	10,367部

※9：成果指標とする設問への回答数：1,642人／世田谷区民意識調査2025総回答数：2,214人

番号	成果指標	現況値 （策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量 （令和9年度末）
3	連携店舗によるせたミール商品の供給数	—	目標	4,200食		当初目標	5,000食	5,000食	5,000食	19,200食
			実績	17,500食						
			達成状況 ※1	416.7%	A	修正目標	19,500食	21,500食	23,500食	68,700食

行動量	現況値 （策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量 （令和9年度末）
連携事業者による提供店舗数（累計）	3店舗 （令和5年度見込み）	当初計画	4 店舗	5店舗	5店舗	5店舗	5店舗 （累計）
		修正計画		9店舗	10店舗	11店舗	11店舗 （累計）
		実績	11 店舗	—	—	—	11店舗

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

行動量の計画変更を踏まえ、1店舗増加するごとに年間供給数が2,000食増加すると見込み、令和7年度以降の目標値を変更した。

●行動量

事業実績を踏まえ更なる拡充をするため、令和7年度以降の目標値を変更した。

分野別政策7　健康づくりの推進

施策7-2	こころの健康づくり
関連政策等	分野別政策：7
所管部	世田谷保健所

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	こころの不調や精神疾患についての普及啓発	
	目的と内容	こころの不調や精神疾患に関する普及・啓発、情報発信事業等により、精神疾患についての偏見や誤解のない地域づくりに取り組みます。
2	当事者・家族を中心に据えた相談支援	
	目的と内容	こころの不調や精神疾患を抱える本人や家族の支援に向けて、こころの健康にかかる相談窓口の充実や地域のネットワークの構築、精神保健に携わる人材の育成を図ります。
3	自殺対策	
	目的と内容	区民の生きる力を高め、気づきの力を育み、声かけつなぐ、支えあいの地域を目指す「世田谷区自殺対策基本方針」に基づき、自殺対策協議会の運営を通じ関係機関との連携を強化します。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	こころの健康に関する講座の参加人数	2,000人（令和5年度見込み）	目標	2,100人		当初目標	2,100人	2,100人	2,100人	8,400人
			実績	1,676人						
			達成状況※1	79.8%	C	修正目標	—	2,200人	2,200人	8,600人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
こころの健康に関する講座の開催回数	68回（令和5年度見込み）	当初計画	70 回	70回	70回	70回	280回
		修正計画		47回	50回	50回	217回
		実績	40 回	—	—	—	40回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

令和6年度から試行開始し、順次地域展開に向けて開催予定であるこころサポーター養成講座の開催回数を増やしたことに伴い、各講座の参加人数をもとに、令和8年度以降の目標値を変更した。

●行動量

一部の講座を実施団体の自主事業化につなげたことによる区としての講座開催回数の減少と、こころサポーター養成講座の拡充による講座開催回数の増加を踏まえ、令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	こころの健康に関する相談件数	3,800件（令和5年度見込み）	目標	3,800件		当初目標	3,900件	3,900件	4,000件	15,600件
			実績	4,261件						
			達成状況※1	112.1%	A	修正目標	5,000件	5,000件	5,000件	18,800件

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
こころの健康に関する相談事業実施回数	447回（令和5年度見込み）	当初計画	450 回	490回	490回	550回	1,980回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	447 回	—	—	—	447回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

高度化・多様化する区民のこころの相談に対応することを目的に「世田谷区夜間こころの電話相談」を見直し、当初は令和9年度からの拡充を予定していたが、令和7年度から拡充することとしたため、拡充日数をもとに令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3－①	ゲートキーパー講座参加人数	380人（令和5年度見込み）	目標	460人		当初目標	460人	460人	460人	1,840人
			実績	304人						
			達成状況※1	66.1%	C	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
ゲートキーパー講座開催回数	7回（令和5年度見込み）	当初計画	16 回	16回	16回	16回	64回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	9 回	—	—	—	9回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3－②	自殺未遂連携支援件数	12件（令和5年度見込み）	目標	12 件		当初目標	12件	12件	12件	48件
			実績	18 件						
			達成状況※1	150.0%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
自殺未遂者支援等に関する連携会議の実施回数	2回（令和5年度見込み）	当初計画	2 回	2回	2回	2回	8回
		修正計画		3回	3回	3回	11回
		実績	3 回	—	—	—	3回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●行動量

自殺未遂者支援に関する救急医療機関との連携が進み、事例検討会を新たに開始したため、令和7年度以降の目標値を変更した。

分野別政策7　健康づくりの推進

施策7-3	介護予防の総合的な推進
関連政策等	重点政策：3、4　分野別政策：7
所管部	高齢福祉部

（1）施策に連なる事業

番号	事業	
1	介護予防普及啓発の推進	
	目的と内容	加齢に伴う体力低下、低栄養、口腔機能低下などの介護予防に関する基礎的な知識を区民に持ってもらい、高齢者自身によるセルフマネジメント力を向上させるため、介護予防普及啓発事業を実施します。
2	介護予防・生活支援サービスの推進	
	目的と内容	高齢者が身近な地域で介護予防に取り組める環境を実現するため、支えあいサービスや地域デイサービスなどの住民参加型・住民主体型サービスや介護予防筋力アップ教室の充実に取り組みます。

（2）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	介護予防普及啓発講座参加者数	13,600人（令和5年度見込み）	目標	13,850人		当初目標	13,850人	14,000人	15,000人	56,700人
			実績	13,808人						
			達成状況※1	99.7%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
介護予防普及啓発講座実施回数	783回（令和5年度見込み）	当初計画	783 回	783回	783回	783回	3,132回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	758 回	—	—	—	758回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2－①	住民参加型・住民主体型サービスの利用者数	4,050人（令和5年度見込み）	目標	4,090人		当初目標	4,100人	4,150人	4,310人	16,650人
			実績	4,887人						
			達成状況※1	119.5%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
住民参加型・住民主体型サービス充実のための研修等の実施	14回（令和5年度見込み）	当初計画	15 回	15回	15回	15回	60回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	13 回	—	—	—	13回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2－②	介護予防筋力アップ教室の参加者数	2,080人（令和5年度見込み）	目標	2,400人		当初目標	2,900人	3,200人	3,500人	12,000人
			実績	2,097人						
			達成状況※1	87.4%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
介護予防筋力アップ教室の実施回数	36回（令和5年度見込み）	当初計画	36 回	45回	45回	45回	171回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	36 回	—	—	—	36回

分野別政策8　福祉につながるネットワークの強化

施策8-1	身近な福祉相談の充実と地域づくり
関連政策等	重点政策：4　分野別政策：8
所管部	保健福祉政策部、総合支所、地域行政部

（1）施策に連なる事業

番号	事業	
1	福祉の相談窓口	
	目的と内容	区民が福祉に関する困りごとを抱えた際に、深刻化する前に速やかに支援につながることができるよう、地区のまちづくりセンターに「福祉の相談窓口」を設け、本人の年齢や属性、内容にかかわらず相談を受止め、適切に支援につなぎます。地区の紹介動画、出張相談会や地域でのイベント等を通じて、幅広い世代に対して身近な窓口の周知に努めます。
2	参加と協働による地域づくり	
	目的と内容	地区における四者連携を基盤に、日常の相談等から地区の課題を抽出・分析し、区民や事業者、関係団体との協働により、買い物支援や集いの場の創出、見守りネットワークの充実を図ります。また、各地区の地域づくりのノウハウを共有し、地区の担い手確保に取り組みます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	「福祉の相談窓口」を知っている区民の割合 ※2	56%	目標	57%		当初目標	59%	61%	63%	63%
			実績	54%						
			達成状況※1	94.7%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
福祉の相談窓口の周知の取組み（累計）	28地区	当初計画	28 地区	28地区	28地区	28地区	28地区（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	28 地区	—	—	—	28地区

※2：成果指標とする設問への回答数：1,190件／世田谷区民意識調査2025総回答数：2,214件

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	地域包括ケアの地区展開報告会参加者数	184人	目標	200人		当初目標	200人	200人	200人	800人
			実績	249人						
			達成状況※1	124.5%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
四者連携会議の開催回数	280回（令和5年度見込み）	当初計画	280 回	280回	280回	280回	1,120回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	327 回	—	—	—	327回

分野別政策8　福祉につながるネットワークの強化

施策8-2	地区でつながり続ける支援体制の構築
関連政策等	重点政策：3、4　分野別政策：8
所管部	保健福祉政策部、総合支所

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	多機関協働事業	
	目的と内容	全ての複雑化・複合化した課題や制度の狭間の支援ニーズに対応し、つなぎ先がないことで支援が滞ることがないよう、総合支所保健福祉センターを中心に、多機関の協働により隙間ができないよう支援を実施します。
2	アウトリーチを通じた継続的支援事業	
	目的と内容	困りごとや課題を抱えながら支援を必要としているが支援につながっていない、あるいは支援の必要性を感じていないなど、潜在的な支援ニーズを抱えた区民を早期に把握し、関係性を構築するため、地区におけるアウトリーチの体制を強化し、地区の様々な団体や機関、住民が連携しやすい体制を整えます。
3	参加支援事業	
	目的と内容	社会参加の機会を掴めない方や、参加を希望してもつながらない方に伴走し、地域で孤立することなく、自らが役割や居場所を見出し多様な接点を確保できるよう社会参加を支援します。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	支援者が多くのケースにおいて情報共有、役割分担、連携した支援をしていると回答した割合 ※2	47.7%	目標	49%		当初目標	51%	53%	55%	55%
			実績	43.6%						
			達成状況※1	89.0%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
多機関協働事業や地域共生社会についての研修の実施	1回（令和5年度見込み）	当初計画	5 回	5回	5回	5回	20回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	5 回	—	—	—	5回

※2：「支援者が多くのケースにおいて情報共有、役割分担、連携した支援をしている」と回答した件数：569件／包括的支援体制についてのアンケート総回答数：1,305件

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	対象を限らない見守り協定の新規締結数	—	目標	4機関		当初目標	4機関	4機関	4機関	16機関
			実績	0機関						
			達成状況※1	0.0%	D	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
対象を限らない見守り協定の締結に向けて働きかけた団体や機関の数	—	当初計画	5 機関	5機関	5機関	5機関	20機関
		修正計画		—	—	—	—
		実績	3 機関	—	—	—	3機関

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	社会参加の支援につながる地域資源数（累計）	1,816箇所	目標	1,830箇所		当初目標	1,850箇所	1,870箇所	1,890箇所	1,890箇所（累計）
			実績	1,801箇所						
			達成状況※1	98.4%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
地域資源開発における団体訪問件数	6,358件（令和5年度見込み）	当初計画	6,600件	6,800件	7,000件	7,200件	27,600件
		修正計画		—	—	—	—
		実績	6,190件	—	—	—	6,190件

分野別政策9　地域福祉の推進と基盤整備

施策9-1	安心して暮らせる居住環境の整備
関連政策等	重点政策：1、4　分野別政策：9
所管部	都市整備政策部、高齢福祉部、障害福祉部

（1）施策に連なる事業

番号	事業	
1	高齢・障害者等住宅確保要配慮者への入居支援	
	目的と内容	民間賃貸住宅への円滑な入居を促進するための支援やサービス等の推進に取り組みます。お部屋探しサポートでは、区と協定を結んだ不動産団体と協力し、民間賃貸住宅の空き室情報を提供します。
2	ひとり親世帯の居住の安定	
	目的と内容	18歳未満の子どもを養育する低額所得のひとり親世帯に対する家賃低廉化補助の対象住宅を増やす取組みなど、民間賃貸住宅への入居支援を推進します。
3	支援や介護が必要な高齢者向けの環境の整備	
	目的と内容	生活の基盤である「住まい」と「介護」が一体的に提供される認知症高齢者グループホームや、「住まい」と「生活支援」が一体的に提供される都市型軽費老人ホームの整備を進めます。
4	重度障害者向けグループホームの整備	
	目的と内容	住み慣れた地域で自分らしい生活を継続できる住まいであり、障害者支援施設梅ヶ丘等の入所施設からの地域移行先ともなる重度障害者向けグループホームの整備を進めます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	お部屋探しサポートによる物件情報提供を受けた利用者数	120人（令和5年度見込み）	目標	130人		当初目標	130人	140人	140人	540人
			実績	98人						
			達成状況※1	75.4%	C	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
お部屋探しサポートの利用相談者数	280人（令和5年度見込み）	当初計画	290 人	290人	300人	300人	1,180人
		修正計画		—	—	—	—
		実績	277 人	—	—	—	277人

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	補助対象住宅への入居件数（累計）	14件（令和5年12月時点）	目標	24 件		当初目標	32件	40件	48件	48件（累計）
			実績	23 件						
			達成状況※1	95.8%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
補助対象住宅の新規登録件数	7件（令和5年12月時点）	当初計画	8 件	8件	8件	8件	32件
		修正計画		—	—	—	—
		実績	5 件	—	—	—	5件

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3－①	認知症高齢者グループホームの定員数（累計）	918人	目標	990人※2		当初目標	990人	990人	第10期世田谷区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づく取組み	990人（累計）
			実績	909人						
			達成状況※1	—	—	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
認知症高齢者グループホームの新規整備数	整備数1箇所 累計整備数49箇所	当初計画	4箇所※2	4箇所	4箇所	第10期世田谷区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づく取組み	整備数4箇所 累計整備数53箇所
		修正計画		—	—	—	—
		実績	0箇所	—	—	—	整備数0箇所 累計整備数48箇所

※2：令和6年度～令和8年度の3年間での目標値として設定した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3－②	都市型軽費老人ホームの定員数（累計）	200人	目標	260人 ※3		当初目標	260人	260人	第10期世田谷区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づく取組み	260人 （累計）
			実績	200人						
			達成状況 ※1	—	—	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
都市型軽費老人ホームの新規整備数	整備数 0箇所 累計整備数 11箇所	当初計画	3箇所 ※3	3箇所	3箇所	第10期世田谷区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づく取組み	整備数 3箇所 累計整備数 14箇所
		修正計画		—	—	—	—
		実績	0箇所	—	—	—	整備数 0箇所 累計整備数 11箇所

※3：令和6年度～令和8年度の3年間での目標値として設定した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
4	重度障害者向けグループホームの定員数（累計）	44人	目標	53 人		当初目標	58人	110人	115人	115人 （累計）
			実績	48 人						
			達成状況 ※1	90.6%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
重度障害者向けグループホームの新規施設整備数	整備数 1箇所 累計整備数 4箇所	当初計画	2箇所	1箇所	4箇所	1箇所	整備数 8箇所 累計整備数 12箇所
		修正計画		—	—	—	—
		実績	1箇所	—	—	—	整備数 1箇所 累計整備数 5箇所

分野別政策9　地域福祉の推進と基盤整備

施策9-2	地域生活課題の解決に向けた取組み
関連政策等	重点政策：4　分野別政策：9
所管部	保健福祉政策部、総合支所、高齢福祉部、障害福祉部、世田谷保健所

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	精神障害者支援施策の充実	
	目的と内容	国の示す「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」の考え方に基づき、精神科病院における長期入院者への訪問支援や、精神障害を有する方等の地域生活支援等の充実に取り組みます。
2	医療的ケア児（者）の支援	
	目的と内容	医療的ケア児（者）とその家族に対する支援事業の実施や施設整備、医療的ケア支援に携わる人材の育成などにより、医療的ケア児（者）の日常生活及び社会生活の向上に取り組みます。
3	地域共生社会実現に向けた環境づくり	
	目的と内容	区民の生活の場であり、多様な区民の接点の場でもある商店街を中心に、障害者が外出しやすい環境を整えることにより、障害に対する理解を促進するとともに、商店や事業所での障害者を受け入れる環境の向上を図ります。
4	ひきこもり支援の推進	
	目的と内容	令和4年（2022年）4月に開設した世田谷ひきこもり相談窓口「リンク」を中心に、関係機関と連携しながら、ひきこもり等社会との接点が希薄な方や社会との接点が持ちづらい状況にある方とその家族を支援し、当事者・家族が自分らしく暮らすことができるよう、ニーズに寄り添ったきめ細やかな支援に取り組みます。
5	認知症に関する身近な相談支援の推進	
	目的と内容	令和7年（2025年）には65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症になると見込まれています。認知症になってからも、自分らしく安心して暮らしていけるよう、区民に身近な相談窓口であるあんしんすこやかセンターの周知を図るとともに、相談者に寄り添う相談支援に取り組みます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	精神科病院における長期入院者に対する支援数	285回（令和5年度見込み）	目標	295回		当初目標	305回	315回	325回	1,240回
			実績	306回						
			達成状況※1	103.7%	A	修正目標	315回	325回	335回	1,270回
行動量		現況値（策定時）	区分	令和6年度			令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
長期入院者への訪問支援事業における連携精神科病院数（累計）		16病院（令和5年度見込み）	当初計画	17 病院			18病院	19病院	20病院	20病院（累計）
			修正計画				27病院	28病院	29病院	29病院（累計）
			実績	22 病院			—	—	—	22病院

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

精神科病院の連携意向の増加に伴う令和6年度実績を踏まえ、令和7年度以降の目標値を変更した。

●行動量

精神保健福祉法改正により令和6年度に開始した「入院者訪問支援事業」に伴う連携意向の増加も見込み、令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	医療的ケア支援を行う事業所数（累計）	14施設（令和5年度見込み）	目標	15施設		当初目標	16施設	16施設	17施設	17施設（累計）
			実績	13施設						
			達成状況※1	86.7%	B	修正目標	—	—	—	—
行動量		現況値（策定時）	区分	令和6年度			令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
医療的ケア支援に携わる人材育成研修の参加者数		159人（令和5年度見込み）	当初計画	179 人			190人	200人	210人	779人
			修正計画				—	—	—	—
			実績	136 人			—	—	—	136人

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	地域共生社会促進助成事業による物品助成件数	20件（令和5年度見込み）	目標	20 件		当初目標	20件	20件	20件	80件
			実績	8 件						
			達成状況※1	40.0%	C	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
地域共生社会促進助成事業を周知する商店街数	120箇所	当初計画	120 箇所	120箇所	120箇所	120箇所	480箇所
		修正計画		—	—	—	—
		実績	120 箇所	—	—	—	120箇所

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
4	相談窓口利用者のうち、支援に満足をしている方の割合※2	85%（令和5年度見込み）	目標	86 %		当初目標	87%	88%	90%	90%
			実績	86 %						
			達成状況※1	100.0%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
ひきこもりにかかる重層的支援会議、支援会議の開催回数	50回（令和5年12月時点）	当初計画	72 回	76回	76回	76回	300回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	63 回	—	—	—	63回

※2：支援の満足度を聞く項目の「非常に満足」又は「どちらかというと満足」の回答数：44項目／利用者アンケートの支援の満足度を聞く項目の総回答数：51項目

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
5	あんしんすこやかセンターの認知症に関する相談件数	9,440件（令和5年度見込み）	目標	9,580件		当初目標	9,720件	9,860件	10,000件	39,160件
			実績	8,874件						
			達成状況※1	92.6%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
認知症の相談窓口等を周知する講演会の実施回数	7回（令和5年度見込み）	当初計画	11 回	11回	11回	11回	44回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	11 回	—	—	—	11回

分野別政策9　地域福祉の推進と基盤整備

施策9-3	在宅医療・介護連携の推進
関連政策等	重点政策：4　分野別政策：9
所管部	保健福祉政策部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	在宅医療・ACPの普及啓発	
	目的と内容	本人や家族等が希望する在宅療養や看取りを実現するために、在宅医療やACPについて、さらなる普及啓発に取り組みます。
2	在宅医療・介護のネットワークの構築	
	目的と内容	住み慣れた自宅や地域で暮らし続けながら本人や家族が希望する医療・介護サービスが一体的に提供されるよう、医療・介護にかかる関係者間の連携体制の強化に取り組みます。
3	在宅医療・介護関係者間の情報の共有支援	
	目的と内容	在宅医療・介護関係者間の連携をより深めるために、医師会のICTを用いた多職種ネットワーク構築事業など既存のツールによる情報共有を引き続き支援するとともに、在宅療養資源マップのオンライン化などにより、在宅医療・介護関係者間の情報共有の支援の充実を図っていきます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	在宅医療・ACPの普及啓発に向けた区民向け講演会・シンポジウム及びミニ講座の受講者数	910人（令和5年度見込み）	目標	950人		当初目標	960人	970人	980人	3,860人
			実績	935人						
			達成状況※1	98.4%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
在宅医療・ACPの普及啓発に向けた区民向け講演会・シンポジウム及びミニ講座の実施回数	30回（令和5年度見込み）	当初計画	30 回	30回	30回	30回	120回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	32 回	—	—	—	32回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	在宅療養相談件数	12,000件（令和5年度見込み）	目標	12,100件		当初目標	12,200件	12,300件	12,400件	49,000件
			実績	12,479件						
			達成状況※1	103.1%	A	修正目標	12,600件	12,700件	12,800件	50,200件

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
在宅療養相談窓口数（累計）	28箇所	当初計画	28 箇所	28箇所	28箇所	28箇所	28箇所（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	28 箇所	—	—	—	28箇所

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

令和5年度の見込み数を基礎に区の将来人口推計による高齢者人口の伸び率に合わせて目標値を設定しているが、令和5年度および令和6年度の実績が設定していた目標値を上回っていたため、令和7年度以降も同程度で推移すると見込み、目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	在宅療養資源マップ（Webサイト）のアクセス数	—	目標	3,000件		当初目標	12,000件	12,100件	12,300件	39,400件
			実績	3,327件						
			達成状況※1	110.9%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
在宅療養資源マップのWeb運用	—	当初計画	一部運用	全面運用	アクセス数向上に向けた取組み	アクセス数向上に向けた取組み	—
		修正計画		—	—	—	—
		実績	一部運用	—	—	—	—

分野別政策9　地域福祉の推進と基盤整備

施策9-4	福祉人材の確保及び育成・定着支援
関連政策等	重点政策：4　分野別政策：9
所管部	保健福祉政策部、高齢福祉部、障害福祉部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	福祉人材育成・研修センターにおける研修の質の向上	
	目的と内容	高齢・障害分野を含む福祉人材の確保及び育成・定着支援に向け、福祉人材育成・研修センターにおける研修の質の向上を図ります。
2	高齢分野における人材の確保及び育成・定着支援	
	目的と内容	さらなる介護職の魅力発信や多様な人材の確保・育成、働きやすい環境の構築に向けた支援の視点から、福祉人材育成・研修センターも活用し、取組みを展開します。また、介護福祉士の資格取得費用の助成に取り組むなど、福祉人材の確保策に取り組みます。
3	認知症の方の暮らしを支える地域づくり	
	目的と内容	認知症の本人とともに、より良い暮らしと地域をつくるパートナーを増やしていくため、区民・地域団体・事業者等と協働して取組みを進めます。
4	障害分野における人材の確保及び育成・定着支援	
	目的と内容	障害児者の自立を支援するスキル習得等の支援、新たな人材確保に向けた障害理解の促進、施設や事業所の職員等の心身の健康を守る視点から、福祉人材育成・研修センターも活用し、取組みを展開します。
5	障害者の地域生活支援機能強化のための専門的人材の確保・養成	
	目的と内容	地域生活支援拠点等整備事業の「専門的人材の確保・養成」機能として、障害福祉サービス事業者や相談支援事業者の職員を主な対象に、「選択を支える」支援等について学ぶ研修を実施します。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	福祉人材育成・研修センター全体の利用者数	18,000人（令和5年度見込み）	目標	18,000人		当初目標	18,000人	18,000人	18,000人	72,000人
			実績	15,648人						
			達成状況※1	86.9%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量１－①	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
福祉人材育成・研修センター運営委員会の実施	2回（令和5年度見込み）	当初計画	2 回	2回	2回	2回	8回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	2 回	—	—	—	2回

行動量１－②	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
研究活動の実施	1回（令和5年度見込み）	当初計画	1 回	1回	1回	1回	4回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	1 回	—	—	—	1回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2－①	高齢分野における研修事業の受講者数	10,000人（令和5年度見込み）	目標	10,000人		当初目標	10,000人	10,000人	10,000人	40,000人
			実績	9,169人						
			達成状況※1	91.7%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
高齢分野における研修事業の実施	36本（令和5年度見込み）	当初計画	36 本	36本	36本	36本	144本
		修正計画		—	—	—	—
		実績	36 本	—	—	—	36本

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2－②	介護福祉士資格取得助成の受給者数	30人（令和5年12月時点）	目標	65 人		当初目標	65人	65人	65人	260人
			実績	52 人						
			達成状況※1	80.0%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
介護福祉士実務者研修受講料助成	72人（令和5年12月時点）	当初計画	150 人	150人	150人	150人	600人
		修正計画		—	—	—	—
		実績	106 人	—	—	—	106人

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	認知症の本人が参画したアクションチームの結成地区数（累計）	14地区（令和5年度見込み）	目標	18地区		当初目標	23地区	28地区	28地区	28地区（累計）
			実績	26地区						
			達成状況※1	144.4%	A	修正目標	27地区	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
アクション講座（世田谷版認知症サポーター養成講座）受講者数	受講者数3,000人累計受講者数6,730人（令和5年度見込み）	当初計画	3,180人	3,360人	3,540人	3,540人	受講者数13,620人累計受講者数20,350人
		修正計画		—	—	—	—
		実績	3,001人	—	—	—	受講者数3,001人累計受講者数10,152人

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

アクションチームの中心的な役割を担うあんしんすこやかセンターに向けて、研修や事例の共有を実施するとともに、アクションチームの活動状況を認知症月間のイベントを通じて区民に広く周知した結果、目標値を上回るアクションチームが結成されたため、令和7年度の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
4	障害分野における研修事業の受講者数	5,000人（令和5年度見込み）	目標	5,000人		当初目標	5,000人	5,000人	5,000人	20,000人
			実績	3,384人						
			達成状況※1	67.7%	C	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
障害分野における研修事業の実施	8本（令和5年度見込み）	当初計画	8 本	8本	8本	8本	32本
		修正計画		—	—	—	—
		実績	9 本	—	—	—	9本

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
5	地域生活支援機能強化のための専門的人材の確保・養成に向けた研修の受講者数	—	目標	30 人		当初目標	30人	30人	30人	120人
			実績	113 人						
			達成状況※1	376.7%	A	修正目標	120人	120人	120人	390人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
地域生活支援機能強化のための専門的人材の確保・養成に向けた研修の実施	—	当初計画	1 回	1回	1回	1回	4回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	1 回	—	—	—	1回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

当初は集合研修を想定していたが、実施方法を動画研修とし、受講者数を増やすことができたため、令和7年度以降の目標値を変更した。

分野別政策10　安全・安心のまちづくり

施策10-1	地域防災力の向上
関連政策等	重点政策：3、4、6　分野別政策：10
所管部	危機管理部、総合支所、保健福祉政策部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	防災塾の実施	
	目的と内容	地区防災力の向上を図るため、各地区において「防災塾」を実施します。地区防災計画の検証・ブラッシュアップを図ることを目的として実施し、地区防災計画の実効性と認知度の向上を目指します。
2	女性防災リーダーの育成	
	目的と内容	多様性を認め合う視点を防災の取組みに反映させるため、区の養成講座を実施し、女性防災リーダーを育成します。あわせて、地域に向けて多様性を認め合う視点を啓発するため、女性防災リーダーを講師とした区の研修を実施します。
3	在宅避難の推進	
	目的と内容	指定避難所の過密状況を避け、適切な避難所運営を可能とするため、在宅避難のために必要な知識や発災時にとるべき行動の周知・啓発を実施し、在宅避難を推進します。
4	マイ・タイムライン作成を通じた意識啓発	
	目的と内容	風水害に備え、マイ・タイムラインの作成に向けた講習会を実施し、地域の災害リスクや自らの家族構成、生活環境等に合わせた避難行動をあらかじめ認識してもらうことで、風水害時の自助、共助の意識を啓発します。
5	個別避難計画作成の推進	
	目的と内容	災害時における要配慮者のうち、避難行動要支援者は転出・転入、出生・死亡、要介護認定や障害認定の変更などにより、毎年20%前後変動しています。そのため、新たに避難行動の支援が必要となった方及び前年度までの未回答者に対し案内を送付し、安否確認や予め避難支援者となる方との情報共有等のために個別避難計画の作成を推進します。特に多摩川洪水浸水想定区域内における未回答者に対しては委託を通して福祉の専門職との連携を強化していきます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況

※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	防災塾に参加したことで、自分の地区の災害リスクや、自らとるべき避難行動を理解した人の割合※2	73.1%（令和4年度）	目標	80%		当初目標	83%	86%	90%	90%
			実績	79.7%						
			達成状況※1	99.6%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
防災塾の実施回数	28回（令和5年度見込み）	当初計画	28 回	28回	28回	28回	112回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	30 回	—	—	—	30回

※2：成果指標とする設問への回答数：667件／防災塾参加者のアンケート総回答数：837件

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	女性防災コーディネーターによる防災研修（地域啓発研修）参加者数	285人（令和5年度見込み）	目標	510人		当初目標	510人	510人	510人	2,040人
			実績	514人						
			達成状況※1	100.8%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
女性防災コーディネーター養成講座の修了人数	修了人数 0人 累計人数 34人	当初計画	20 人	20人	20人	20人	修了人数 80人 累計人数 114人
		修正計画		—	—	—	—
		実績	28 人	—	—	—	修了人数 28人 累計人数 62人

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	在宅避難のための備えをしている区民の割合 a）食料備蓄率 ※3	63.7%	目標	64%		当初目標	66%	68%	70%	70%
			実績	66.4%						
			達成状況 ※1	103.8%	A	修正目標	70%	71%	72%	72%
	在宅避難のための備えをしている区民の割合 b）携帯トイレ備蓄率 ※4	42.7%	目標	44%		当初目標	46%	48%	50%	50%
			実績	65.9%						
			達成状況 ※1	149.8%	A	修正目標	65%	65%	65%	65%
	在宅避難のための備えをしている区民の割合 c）非常用電力備蓄率 ※5	41.6%	目標	43%		当初目標	45%	47%	49%	49%
			実績	50%						
			達成状況 ※1	116.3%	A	修正目標	50%	51%	52%	52%

行動量３－①	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
在宅避難の啓発物発行回数	2回 （令和5年度見込み）	当初計画	2 回	2回	2回	2回	8回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	6 回	—	—	—	6回

行動量３－②	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
在宅避難の啓発イベント実施回数	2回 （令和5年度見込み）	当初計画	2 回	3回	4回	5回	14回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	2 回	—	—	—	2回

※3：成果指標とする設問への回答数：1,471件／世田谷区民意識調査2025有効回収数：2,214件
※4：成果指標とする設問への回答数：1,459件／世田谷区民意識調査2025有効回収数：2,214件
※5：成果指標とする設問への回答数：1,106件／世田谷区民意識調査2025有効回収数：2,214件

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

令和6年度に実施した在宅避難支援（せたがや防災ギフト）事業において、食料、携帯トイレ、電源の申込数が多く、備蓄率の増加が見込まれることから令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
4	講習会に参加し「マイ・タイムライン」を作成した人数	—	目標	50 人		当初目標	50人	50人	50人	200人
			実績	75 人						
			達成状況 ※1	150.0%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
マイ・タイムライン作成講習会実施回数	—	当初計画	2 回	2回	2回	2回	8回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	4 回	—	—	—	4回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
5	個別避難計画作成数 a）多摩川洪水浸水想定区域内	340件（令和5年度見込み）	目標	60 件		当初目標	70件	80件	90件	300件
			実績	139 件						
			達成状況※1	231.7%	A	修正目標	—	70件	70件	270件
	個別避難計画作成数 b）多摩川洪水浸水想定区域以外	3,200件（令和5年度見込み）	目標	640件		当初目標	640件	640件	640件	2,560件
			実績	1,838件						
			達成状況※1	287.2%	A	修正目標	1,120件	1,120件	1,120件	4,000件

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
個別避難計画作成案内送付者数	8,452人	当初計画	5,700人	5,700人	5,700人	5,700人	22,800人
		修正計画		3,200人	1,700人	1,700人	12,300人
		実績	4,456人	—	—	—	4,456人

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

個別避難計画の作成対象である避難行動要支援者は、要介護認定・障害認定等による新規対象者と、死亡・転出等により対象外となった者とで例年2割程度入れ替わる。新規対象のうち死亡・転出・施設入所・不同意などで計画作成に至らない3割程度を除いた件数を目標値とする。
「a）個別避難計画作成数（多摩川洪水浸水想定区域内）」は、個別避難計画の早期作成の結果を踏まえ、未作成者数が減る見込みであることから令和8年度以降の目標値を変更した。
「b）個別避難計画作成数（多摩川洪水浸水想定区域以外）」は、居宅介護支援事業所・指定特定相談支援事業所・一般事業所に作成支援を委託し、個別避難計画の訪問調査等を重点的に実施することにより作成数が増える見込みであることから、令和7年度以降の目標値を変更した。

●行動量

個別避難計画の早期作成を図り、令和5年度末の個別避難計画作成が4,657件と見込みを上回って作成が進んだことに加え、作成支援体制の強化を行うことで未作成者数が順次減る見込みであることから令和7年度以降の目標値を変更した。

分野別政策10　安全・安心のまちづくり

施策10-2	犯罪抑止の取組み
関連政策等	分野別政策：10
所管部	危機管理部

（1）施策に連なる事業

番号	事業	
1	防犯カメラ設置・維持管理への支援	
	目的と内容	地域の防犯対策の強化のため、地域団体が設置する防犯カメラの新規設置や増設に対する支援の活用促進を図るとともに、防犯カメラの継続的かつ適正な管理を行うための維持管理費などへの補助を行います。
2	高齢者等に対する特殊詐欺被害防止対策	
	目的と内容	高齢者等を狙った特殊詐欺被害を防止するため、自動通話録音機貸与及び携帯電話抑止装置の促進、24時間安全安心パトロールを活用した広報・啓発活動に重点的に取り組みます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	防犯カメラの設置台数	設置台数 54台 累計台数 1,355台（令和5年度見込み）	目標	50 台		当初目標	50台	50台	50台	設置台数 200台 累計台数 1,555台
			実績	27 台						
			達成状況※1	54.0%	C	修正目標	150台	150台	150台	設置台数 500台 累計台数 1,855台

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
町会・自治会、商店街への防犯カメラ支援内容の周知	316団体	当初計画	316団体	316団体	316団体	316団体	1,264 団体
		修正計画		—	—	—	—
		実績	316団体	—	—	—	316団体

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

町会・自治会及び商店街への防犯カメラ整備に対する東京都の補助金の補助率が、令和6年度から3か年の時限付きで引き上げられたことに伴い、費用負担が軽減されることを町会・自治会等に周知したところ、次年度の意向調査で防犯カメラの設置を希望する団体が増加したため、その調査結果に基づき、令和7年度以降の目標値を変更した。なお、令和8年度以降については、東京都の補助率等の内容が未定であるため令和7年度と同じ目標値とした。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	自動通話録音機の貸与台数	貸与台数 1,128台 累計台数 13,794台（令和4年度）	目標	2,000台		当初目標	2,000台	2,000台	1,600台	貸与台数 7,600台
			実績	1,971台						
			達成状況※1	98.6%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量2－①	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
パンフレットやガイドブック等への啓発記事掲載回数	5回（令和5年度見込み）	当初計画	6 回	6回	6回	6回	24回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	9 回	—	—	—	9回

行動量2－②	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
イベント等での啓発回数	5回（令和5年度見込み）	当初計画	6 回	7回	7回	7回	27回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	6 回	—	—	—	6回

分野別政策10　安全・安心のまちづくり

施策10-3	健康危機管理体制の強化
関連政策等	重点政策：4　分野別政策：10
所管部	世田谷保健所、危機管理部、保健福祉政策部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	関係機関との連携・協力体制の確保	
	目的と内容	地区医師会や医療機関、警察、消防等が参加する「世田谷区健康危機管理連絡会」「世田谷区災害医療運営連絡会」の開催によって、関係機関との情報共有、連携・協力体制を平時から確保します。
2	新型インフルエンザ等新興・再興感染症への対応力向上	
	目的と内容	新型インフルエンザ等対応研修・訓練の実施、庁内業務の継続体制構築、民間等関係機関による受援体制の確保等を通じて新型インフルエンザ等の流行時の対応力を強化します。
3	医療救護本部体制の確保	
	目的と内容	震災等発生時の医療救護活動拠点となる保健医療福祉総合プラザ内の関係団体と連携し、災害時活動マニュアルの整備、関係団体との合同での医療救護訓練の実施等により、医療救護本部体制の整備を進めます。
4	医療救護活動の推進	
	目的と内容	震災等発生時に、迅速に保健医療活動を開始できるよう、平時より、職員や関係機関を対象にした災害医療に関する研修会、災害拠点病院等と連携した緊急医療救護所の運営訓練を行います。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	連絡会参加団体数	79団体（令和5年度見込み）	目標	88団体		当初目標	88団体	88団体	88団体	352団体
			実績	56団体						
			達成状況※1	63.6%	C	修正目標	—	—	—	—

行動量1－①	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
健康危機管理連絡会の開催回数	2回（令和5年度見込み）	当初計画	2 回	2回	2回	2回	8回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	1 回	—	—	—	1回

行動量1－②	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
災害医療運営連絡会の開催回数	2回（令和5年度見込み）	当初計画	2 回	2回	2回	2回	8回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	2 回	—	—	—	2回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	新型インフルエンザ等対応研修・訓練参加団体数	—	目標	1団体		当初目標	1団体	1団体	1団体	4団体
			実績	1団体						
			達成状況※1	100.0%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
関係機関との協働による新型インフルエンザ等対応研修・訓練の実施回数	—	当初計画	1 回	2回	2回	2回	7回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	1 回	—	—	—	1回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	医療救護本部運営訓練参加者数 a）区職員	4人	目標	20 人		当初目標	40人	40人	40人	140人
			実績	21 人						
			達成状況※1	105.0%	A	修正目標	—	—	—	—
	医療救護本部運営訓練参加者数 b）関係機関職員	14人	目標	10 人		当初目標	20人	20人	20人	70人
			実績	10 人						
			達成状況※1	100.0%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
関係機関との協働による医療救護本部運営訓練の実施回数	1回	当初計画	1 回	2回	2回	2回	7回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	1 回	—	—	—	1回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
4	緊急医療救護所運営訓練参加者数 a）区職員	15人（令和5年度見込み）	目標	15 人		当初目標	20人	30人	30人	95人
			実績	25 人						
			達成状況※1	166.7%	A	修正目標	—	—	—	—
	緊急医療救護所運営訓練参加者数 b）医療関係者等	50人（令和5年度見込み）	目標	50 人		当初目標	70人	100人	100人	320人
			実績	109人						
			達成状況※1	218.0%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
関係機関との協働による緊急医療救護所運営訓練の実施回数	5回	当初計画	6 回	6回	6回	6回	24回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	10 回	—	—	—	10回

分野別政策11　災害に強い街づくり

施策11-1	震災に強い街づくり
関連政策等	重点政策：6　分野別政策：11
所管部	防災街づくり担当部、土木部

（1）施策に連なる事業

番号	事業	
1	木造住宅密集地域の解消	
	目的と内容	災害時の延焼による被害を軽減させるため、不燃化特区（不燃化推進特定整備地区）内における老朽建築物の不燃化等を進めます。
2	建築物耐震診断・補強工事	
	目的と内容	耐震性が不足する建築物の耐震化を進めるため、対象となる建築物の所有者等に対して啓発活動を進めるとともに、耐震診断、耐震改修工事等に対して支援、助成を行います。
3	無電柱化整備	
	目的と内容	都市防災機能の強化や安全で快適な歩行空間の確保、良好な都市景観の創出を図るため、緊急輸送道路を中心に電柱を取り除く無電柱化整備を進めます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	不燃化特区による老朽建築物の除却・建替え等費用助成件数	106件（令和5年度見込み）	目標	128件		当初目標	152件	行動量を踏まえて設定	行動量を踏まえて設定	280件
			実績	86件						
			達成状況※1	67.2%	C	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
不燃化に関する相談会の開催数	8回（令和5年度見込み）	当初計画	8 回	8回	東京都防災都市づくり推進計画及び世田谷区防災街づくり基本方針の改定を踏まえた取組み	東京都防災都市づくり推進計画及び世田谷区防災街づくり基本方針の改定を踏まえた取組み	16回
		修正計画		3回	—	—	11回
		実績	8 回	—	—	—	8回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●行動量

都の不燃化特区制度が最終年度を迎えることを踏まえ、令和7年度の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	木造耐震診断、簡易耐震診断助成件数（累計）	200件（令和5年度見込み）	目標	210件		当初目標	行動量を踏まえて設定	行動量を踏まえて設定	行動量を踏まえて設定	210件（累計）
			実績	361件						
			達成状況※1	171.9%	A	修正目標	370件	—	—	370件（累計）

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
耐震化支援制度対象住宅への各戸配布による周知実施件数	6,600件（令和5年度見込み）	当初計画	4,000件	耐震改修促進計画の改定を踏まえた取組み	耐震改修促進計画の改定を踏まえた取組み	耐震改修促進計画の改定を踏まえた取組み	4,000件
		修正計画					
		実績	2,298件				2,298件
耐震相談会の開催、防災イベント等への参加回数	—	当初計画					
		修正計画		8 回	耐震改修促進計画の改定を踏まえた取組み	耐震改修促進計画の改定を踏まえた取組み	8 回
		実績		—	—	—	—

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

令和6年度の実績が目標値を大幅に上回ったことを踏まえ、令和7年度目標値を令和6年度実績と同水準に設定した。

●行動量

各戸配布は令和6年度で区内全域への配布が完了したが、区内建築物の耐震化状況の確認には時間を要するため、耐震改修促進計画の改定による新たな目標決定までの間の暫定的な行動量を設定した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	無電柱化した区道延長（累計）	13,936m（令和5年度見込み）	目標	14,321m		当初目標	14,486m	14,686m	15,636m	15,636m（累計）
			実績	14,122m						
			達成状況※1	98.6%	B	修正目標	14,359m	14,469m	14,709m	14,709m（累計）

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
無電柱化した区道延長	607 m（令和5年度見込み）	当初計画	385 m	165m	200m	950m	1,700m
		修正計画		237m	110m	240m	972m
		実績	316 m	—	—	—	316m

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

道路用地取得および企業者工事等に時間を要することを考慮し、令和7年度以降の目標値を変更した。

●行動量

無電柱化工事の事業予定を精査した結果を踏まえ、令和7年度以降の目標値を変更した。

分野別政策11　災害に強い街づくり

施策11-2	都市の事前復興
関連政策等	重点政策：6　分野別政策：11
所管部	都市整備政策部

（1）施策に連なる事業

番号	事業	
1	事前復興街づくりの推進	
	目的と内容	震災が発生した場合に、区が地域住民や事業者、東京都等と連携しながら復興まちづくりを迅速かつ円滑に進めていくために、区職員がとるべき行動手順や役割分担を整理するとともに、講演会等を通じ復興街づくりに対する理解を区民から得ることで、被災後に早期復興できる環境づくりに取り組みます。

（2）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	訓練等参加者数 a）区職員	26人 累計参加人数 818人	目標	25 人		当初目標	25人	25人	25人	100人 累計参加人数 918人
			実績	28 人						
			達成状況※1	112.0%	A	修正目標	—	—	—	—
	訓練等参加者数 b）区民等	0人 累計参加人数 220人	目標	10 人		当初目標	10人	10人	10人	40人 累計参加人数 260人
			実績	32 人						
			達成状況※1	320.0%	A	修正目標	20人	20人	20人	70人 累計参加人数 290人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
訓練等実施回数	1回	当初計画	2 回	2回	2回	2回	8回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	2 回	—	—	—	2回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

令和6年1月に発災した能登半島地震により、区民の震災復興に対する意識が高まっているため、「b）区民等」について令和7年度以降の目標値を変更した。

分野別政策11　災害に強い街づくり

施策11-3	水害を抑制する街づくり
関連政策等	重点政策：5、6　分野別政策：11
所管部	土木部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	グリーンインフラの考え方も活かした豪雨対策の推進	
	目的と内容	区が掲げる流域対策における令和19年（2037年）度の目標対策量を目指し、公共施設や民間施設において、グリーンインフラの観点も踏まえた雨水流出抑制施設の設置を推進・促進するなど、豪雨対策に取り組みます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	流域対策による雨水流出抑制量（累計）	55.0万㎥（令和4年度）	目標	60.6万㎥		当初目標	62.8万㎥	65.2万㎥	67.6万㎥	67.6万㎥（累計）
			実績	58.3万㎥						
			達成状況※1	96.2%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
雨水流出抑制施設の設置件数	253件（令和4年度）	当初計画	250 件	250件	250件	250件	1,000件
		修正計画		—	—	—	—
		実績	222 件	—	—	—	222件

分野別政策11　災害に強い街づくり

施策11-4	日常の安全・安心な街づくり
関連政策等	重点政策：6　分野別政策：11
所管部	防災街づくり担当部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	空家等の管理・利活用	
	目的と内容	空家等の適切な管理は所有者の責務であることを基本としつつ、適切な管理が行われていない空家等に対して、指導や勧告、除却の促進も含めた必要な対策を進めます。また、わかりやすい相談窓口の設置などにより、利活用相談者数の増加を目指すとともに、流通促進についての情報を発信するなど、空家等となる前の段階で所有者へ周知啓発を行い、活用意識を醸成します。
2	狭あい道路拡幅整備の促進	
	目的と内容	建築を伴う土地の所有者等に対して、拡幅整備の必要性や各種助成制度の案内等を含め積極的に啓発し、効果的・効率的な狭あい道路拡幅整備に取り組みます。また、建築に伴う拡幅箇所に隣接した建築を伴わない土地の所有者等に対しても、狭あい道路拡幅整備への協力を呼びかけることで連続的整備に取り組みます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1－①	管理不全状態の改善件数	36件（令和5年12月時点）	目標	200件		当初目標	200件	200件	200件	800件
			実績	106件						
			達成状況※1	53.0%	C	修正目標	80件	80件	80件	440件
1－②	「せたがや空き家活用ナビ」における成約数	30件（令和5年12月時点）	目標	40 件		当初目標	45件	50件	55件	190件
			実績	28 件						
			達成状況※1	70.0%	C	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
空家所有者等への普及啓発件数	683件（令和5年度見込み）	当初計画	800件	800件	800件	800件	3,200件
		修正計画		1,000件	1,000件	1,000件	3,800件
		実績	2,000件	—	—	—	2,000件

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

「管理不全状態の改善件数」は空家等対策の推進に関する特別措置法改正により件数が増えると見込んだが、実際は未然対処への相談が増えたため、今後は管理不全状態の空家自体が減ると予想し、令和7年度以降の目標値を変更した。

●行動量

普及啓発の手法を増やしたため、令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	狭あい道路の延長（累計）	535.3km（令和5年12月時点）	目標	530.6km		当初目標	527.9km	525.3km	522.6km	522.6km（累計）
			実績	532.3km						
			達成状況※1	63.8%	C	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
狭あい道路拡幅整備延長	1.2km（令和5年12月時点）	当初計画	5.3 km	5.3km	5.3km	5.3km	21.2km
		修正計画		—	—	—	—
		実績	4.18 km	—	—	—	4.18km

分野別政策12　脱炭素化の推進

施策12-1	区民・事業者の脱炭素行動の支援
関連政策等	重点政策：5　分野別政策：12
所管部	環境政策部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	環境配慮型住宅推進事業	
	目的と内容	住宅機能の維持向上や区内の新築住宅及び既存住宅から排出されるCO_2の削減につなげるため、広報・区ホームページ等を通じて啓発を行うとともに、環境に配慮した住宅の普及促進及び省エネルギー化の推進を図ります。
2	電気自動車の公共用充電器の設置	
	目的と内容	移動に伴い発生するCO_2削減対策の一つとして、区民・事業者によるZEVの利用促進を図るため、区有施設等における電気自動車の公共用充電器の設置等を進めます。
3	再エネ切替補助制度	
	目的と内容	再エネ100メニューを持つ小売電気事業者が持つ販売促進策を活かしつつ、区民限定キャンペーンを行う等、民間企業の強みを生かした補助制度を創出し、区民の再エネ切替を促進します。
4	せたがや版RE100の普及促進	
	目的と内容	国際的な企業の再生可能エネルギーの電力利用の取組みであるRE100に対して、「せたがや版RE100」は、区民・事業者・区がそれぞれの立場で再生可能エネルギーの必要性を理解し、利用を進めることで、世田谷区全体での再生可能エネルギーの利用拡大を目指すものであり、その普及促進に取り組みます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	エコ住宅補助金によるCO_2 削減量（再エネ電気上乗せ補助含む）	810 t-CO_2（令和5年度見込み）	目標	744 t-CO_2		当初目標	967 t-CO_2	1,488 t-CO_2	1,711 t-CO_2	4,910 t-CO_2
			実績	1,832 t-CO_2						
			達成状況※1	246.2%	A	修正目標	151 t-CO_2	229 t-CO_2	236 t-CO_2	1,360 t-CO_2

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
エコ住宅補助金の補助総数（再エネ電気上乗せ補助含む）	1,174件（令和5年12月時点）	当初計画	1,669件	2,169件	3,338件	3,839件	11,015件
		修正計画		836件	926件	966件	4,397件
		実績	2,234件	—	—	—	2,234件

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

家庭部門における脱炭素施策の再構築の中で、国や東京都の補助金との整合や区として補助金を支給することによる誘発効果の最大化を検討し、エコ住宅補助金について次の再編を行った。①定置型蓄電池は国と東京都で大規模な補助事業を実施していることから廃止、②エネファームと高効率給湯器は民間事業者の企業努力もあり、趨勢により普及拡大していることから廃止、③太陽光発電設備はメンテナンスのアフターサービス等の安心を確保するため区内事業者による施工を補助金の対象に追加
この再編を踏まえ、令和７年度以降の目標値を変更するとともに、再エネ切替補助金等も新規に創設することで、区としてのCO_2削減効果の最大化を図っていく。

●行動量

家庭部門の脱炭素施策の見直しにより再エネ電気上乗せ補助の件数を含め目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	公共施設におけるEVの公共用充電器利用者数	552人（令和5年度見込み）	目標	3,000人		当初目標	3,564人	4,176人	4,836人	15,576人
			実績	1,228人						
			達成状況※1	40.9%	C	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
公共施設におけるEVの公共用充電器設置台数（累計）	7台（令和5年度見込み）	当初計画	11 台	12台	13台	14台	14台（累計）
		修正計画		14台	14台	14台	14台（累計）
		実績	14 台	—	—	—	14台

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●行動量

令和6年度設置予定台数より3台多く設置したことにより目標数値を達成したことや、市場状況（東京都条例や民有地での普及、EV普及状況）の変化を踏まえ、今後の新規設置等の方向性を検討していく。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	省エネ・再エネポイントアクションの取組みによるCO_2削減量	65t-CO_2（令和4年度）	目標	80t-CO_2		当初目標	85 t-CO_2	90 t-CO_2	95 t-CO_2	350 t-CO_2
			実績	95t-CO_2						
			達成状況※1	118.8%	A	修正目標				
	再エネ切替補助制度によるCO_2削減量	—	目標	—		当初目標				
			実績	—						
			達成状況※1			修正目標	1,660 t-CO_2	4,150 t-CO_2	7,470 t-CO_2	13,280 t-CO_2

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
省エネ・再エネポイントアクションの結果報告者数	1,274世帯／事業所（令和5年11月時点）	当初計画	2,550 世帯／事業所	2,550世帯／事業所	2,550世帯／事業所	2,550世帯／事業所	10,200世帯／事業所
		修正計画					
		実績	1,089 世帯／事業所				1,089世帯／事業所
再エネ切替補助金交付世帯数	—	当初計画					
		修正計画		1,000世帯	1,500世帯	2,000世帯	4,500世帯
		実績		—	—	—	—

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

従前の「省エネ・再エネポイントアクション」は、これまで着実にCO_2削減効果を出してきた一方で、申請処理に係る経費等の費用負担の大きさやリピーター率が高く、裾野が広がらないことが課題であった。区が直接的に区民にポイントを付与する事業から小売電気事業者に対する補助金事業に事業を再編し、民間企業等による様々なチャネルを活かした啓発等によってより多くの区民を取り込む事業に転換したため、新たな成果指標に変更する。
目標値は、家庭部門の脱炭素化ロードマップ（令和7年2月策定）における基本戦略に基づき、2028年度までに最も温室効果ガス削減効果の高い再生可能エネルギーの利用（1.66t-CO_2／世帯）率をアーリーアダプター層16%とし、CO_2削減効果としては13,280t-CO_2に設定した。

●行動量

施策見直しにより、省エネ行動から再エネ活用にシフトチェンジするため、省エネ・再エネポイントアクション事業を廃止し、民間活力を生かし、より多くの区民を取り込む再エネ切替補助制度を創り、新たに行動量として「再エネ切替補助金交付世帯数」を設定した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
4	せたがや版RE100の賛同者の数	284人（令和5年11月時点）	目標	300人		当初目標	300人	300人	300人	1,200人
			実績	372人						
			達成状況※1	124.0%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
せたがや版RE100への賛同登録にかかる啓発件数	1,118件（令和5年11月時点）	当初計画	1,400件	1,400件	1,400件	1,400件	5,600件
		修正計画		—	—	—	—
		実績	2,234件	—	—	—	2,234件

分野別政策12　脱炭素化の推進

施策12-2	公共施設や区事業活動における脱炭素の実施
関連政策等	重点政策：5　分野別政策：12
所管部	環境政策部、財務部、施設営繕担当部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	公用車のEV化	
	目的と内容	公用車の老朽化に伴う更新にあたっては、調達方法を購入からリースに切り替え、財政負担の平準化を図りながら、計画的にEV等への転換を進めます。
2	公共建築物のZEB化	
	目的と内容	新築・改築及び大規模な改修を行う区施設において、公共建築物のZEB化を図り、二酸化炭素の排出削減を効果的かつ着実に推進します。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	公用車のガソリン購入量	132,000ℓ（令和4年度）	目標	129,000ℓ		当初目標	行動量を踏まえて設定	行動量を踏まえて設定	行動量を踏まえて設定	行動量を踏まえて設定
			実績	120,501ℓ						
			達成状況※1	383.3%	A	修正目標	110,900ℓ	101,300ℓ	91,700ℓ	91,700ℓ

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
公用車におけるEVの導入割合	6.4%（令和4年度）	当初計画	15.7%	本庁舎整備の進捗に合わせ設定	本庁舎整備の進捗に合わせ設定	本庁舎整備の進捗に合わせ設定	本庁舎整備の進捗に合わせ設定
		修正計画		20.1%	25.5%	31.0%	31.0%
		実績	18.7%	—	—	—	18.7%

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

行動量の計画変更を踏まえ、世田谷区役所地球温暖化対策実行計画（第6期計画）で定める区の公用車の電動車導入の令和12年度目標値47.3%を基準として、令和7年度以降の目標値を設定した。

●行動量

本庁舎整備の目途が立ったため、具体の目標値を設定した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	公共施設のエネルギー使用の削減量（原油換算kℓ）	—	目標	—		当初目標	—	—	20.8kℓ	20.8kℓ
			実績	—						
			達成状況※1	—	—	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
公共建築物のZEB化の件数	—	当初計画	—	—	—	1件	1件
		修正計画		—	—	3件	3件
		実績	—	—	—	—	—

●行動量

ZEB化対象施設が増加したため、令和9年度の目標値を変更した。

分野別政策13　快適で暮らしやすい生活環境の構築

施策13-1	地域環境美化活動の推進
関連政策等	重点政策：5　分野別政策：13
所管部	環境政策部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	区内一斉清掃活動「せたがやクリーンアップ作戦」の実施	
	目的と内容	世田谷区内全域のうち、道路や駅前広場、河川敷など公共スペースの中から参加団体が指定した場所での清掃活動に対し、トング、ビブス、ごみ袋等の物品の貸与及び支給を行い、より住みやすく歩いて楽しいまちにすることを目指します。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	区内一斉清掃活動「せたがやクリーンアップ作戦」参加者数及び参加団体数 a）参加者数	1,397人	目標	1,840人		当初目標	2,500人	2,750人	3,250人	10,340人
			実績	1,519人						
			達成状況※1	82.6%	B	修正目標	—	—	—	—
	区内一斉清掃活動「せたがやクリーンアップ作戦」参加者数及び参加団体数 b）参加団体数	60団体	目標	80 団体		当初目標	100団体	110団体	130団体	420団体
			実績	116 団体						
			達成状況※1	145.0%	A	修正目標	120団体	130団体	150団体	480団体

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
区内一斉清掃活動「せたがやクリーンアップ作戦」ちらし兼申込書の配布箇所数（累計）	282箇所	当初計画	282 箇所	297箇所	297箇所	327箇所	327箇所（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	232 箇所	—	—	—	232箇所

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

「 b）参加団体数」について、令和6年度の実績が、116団体となり目標値を超えたため、令和7年度以降の目標値を変更した。

分野別政策13　快適で暮らしやすい生活環境の構築

施策13-2	たばこルールの推進
関連政策等	分野別政策：13
所管部	環境政策部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	たばこマナー向上の取組み	
	目的と内容	路上喫煙や歩きたばこなどを減らしていくため、周知啓発や巡回指導を実施するとともに、区及び民間による指定喫煙場所の整備に取り組むことにより、たばこマナーが向上するまちづくりの実現を目指します。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	路上喫煙率 ※2	0.11%（令和4年度）	目標	0.11%		当初目標	0.10%	0.10%	0.10%	0.10%
			実績	0.08%						
			達成状況※1	100%※3	A	修正目標	0.07%	0.07%	0.07%	0.07%

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
指定喫煙場所設置数（累計）	44箇所（令和5年度見込み）	当初計画	47 箇所	49箇所	51箇所	53箇所	53箇所（累計）
		修正計画		44箇所	46箇所	48箇所	48箇所（累計）
		実績	42 箇所	—	—	—	42箇所

※2：路上喫煙調査地点の喫煙者数：87人／路上喫煙調査地点の通過者数：106,932人
※3：減少を目指す成果指標であるため、達成状況を「（当該年度の実績－計画策定時の値）／（当該年度の目標値－計画策定時の現況値）」 で計算すると分母が０となり、割合が算出できないことから、目標を上回って達成しているが、100%としている。

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

令和6年度から開始した定点指導等により0.08%となり目標値を上回って達成したことから、令和7年度以降の目標値を変更した。

●行動量

下北沢駅駅前広場の整備工事及び大蔵総合運動場施設利用者や園路通行者への受動喫煙防止のため指定喫煙場所を一部廃止したことから令和7年度以降の目標値を変更した。

分野別政策13　快適で暮らしやすい生活環境の構築

施策13-3	ごみ減量と資源循環型社会の形成
関連政策等	重点政策：5　分野別政策：13
所管部	清掃・リサイクル部

（1）施策に連なる事業

番号	事業	
1	廃棄物削減に向けたリデュース（発生抑制）の推進	
	目的と内容	普及啓発施設（エコプラザ用賀・リサイクル千歳台）を活用したリデュース意識の醸成と行動変容を促すための情報提供や事業等を実施し、廃棄物の発生を抑制します。
2	食品廃棄物（生ごみ）削減の推進（食品ロスの削減）	
	目的と内容	区民に身近な食品ロス、生ごみ削減に対する意識・行動の変化を促し、食品ロスの削減を進めることで、ごみの減量を図ります。
3	事業者主体の3R活動の促進	
	目的と内容	再利用計画書の作成義務がある大規模事業所などが自主的に廃棄物の削減に取り組めるよう、事業者の取組み事例に関する情報収集及び好事例の紹介、事業系リサイクルシステムへの参加促進に取り組むなど、事業者主体の3R活動を支援します。

（2）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	区民1人1日あたりのごみ排出量	518 g/人・日（令和4年度）	目標	482 g/人・日		当初目標	次期一般廃棄物処理基本計画を踏まえて設定	次期一般廃棄物処理基本計画を踏まえて設定	次期一般廃棄物処理基本計画を踏まえて設定	次期一般廃棄物処理基本計画を踏まえて設定
			実績	490 g/人・日						
			達成状況※1	77.8%	C	修正目標	481 g/人・日	480 g/人・日	478 g/人・日	478 g/人・日

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
普及啓発施設来場者数	49,913人（令和4年度）	当初計画	57,000人	59,000人	61,000人	63,000人	240,000人
		修正計画		—	—	—	—
		実績	89,843人	—	—	—	89,843人

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

令和7年度からの世田谷区一般廃棄物処理基本計画において、区民1人1日あたりのごみ排出量の令和16年度目標値を450gと定めたことを踏まえ、令和7年度以降の目標値を設定した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	家庭系食品ロス排出量（5年平均）	12,757t	目標	9,600t		当初目標	9,280t	8,800t	8,320t	8,320t
			実績	10,492t						
			達成状況※1	71.7%	C	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
エコフレンドリーショップ登録店舗数（累計）	70店舗（令和4年度）	当初計画	90 店舗	100店舗	110店舗	120店舗	120店舗（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	96 店舗	—	—	—	96店舗

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度	区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	事業用大規模建築物におけるリサイクル率	60.5%（令和4年度）	目標	62%	当初目標	63%	64%	65%	65%
			実績	— ※2					
			達成状況※1	— —	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
事業系リサイクルシステムへの参加事業者数（累計）	937件（令和4年度）	当初計画	950件	960件	970件	980件	980件（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	968件	—	—	—	968件

※２：リサイクル率は再利用計画書から集計して算出をする都合上、令和6年度実績値は令和7年度後半に確定する。このため、令和7年度末の実施計画推進状況にて確定値を掲載する。なお、令和5年度の実績値は58.8%である。

分野別政策14　豊かな自然環境の保全・創出

施策14-1	世田谷らしいみどりの保全・創出
関連政策等	重点政策：5　分野別政策：14
所管部	みどり33推進担当部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	緑地保全制度等によるみどりの保全	
	目的と内容	市民緑地等諸制度など法制度を活用した樹林地の確保や保存樹木制度による維持管理支援などにより、国分寺崖線をはじめとした区内の貴重なみどりの保全を進めます。
2	緑化助成制度によるみどりの創出	
	目的と内容	生垣・植栽帯造成、屋上緑化・壁面緑化、シンボルツリー、駐車場緑化などの助成により民有地のみどりの創出を促し、みどりがつながる街並みづくりを進めます。
3	維持管理の質の向上による崖線樹林地（国分寺崖線内の区有地）の保全・育成	
	目的と内容	将来像を見据えた国分寺崖線内の公園樹林の管理方針を策定するとともに、樹木診断等に基づく危険樹木の更新と未来につながる若木の育成に取り組み、生物多様性に配慮した崖線樹林地の保全・育成を効果的に進めます。樹林の特徴や自然環境に応じた区域ごとに質の向上を図り、区民が親しみを感じる樹林地の再生を目指します。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度	区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	市民緑地等諸制度による新規指定箇所の合計面積（累計）	15,431㎡（令和5年度見込み）	目標	15,731㎡	当初目標	16,031㎡	16,331㎡	16,631㎡	16,631㎡（累計）
			実績	15,431㎡					
			達成状況※1	98.1% B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
市民緑地等諸制度による新規指定箇所	1箇所（令和5年度見込み）	当初計画	1 箇所	1箇所	1箇所	1箇所	4箇所
		修正計画		—	—	—	—
		実績	0 箇所	—	—	—	0箇所

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	緑化助成によるシンボルツリーの植栽本数（累計）	1,250本（令和5年度見込み）	目標	1,350本		当初目標	1,450本	1,550本	1,650本	1,650本（累計）
			実績	1,521本						
			達成状況※1	112.7%	A	修正目標	1,620本	1,720本	1,820本	1,820本（累計）

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
緑化助成によるシンボルツリーの新規助成件数	31件（令和5年度見込み）	当初計画	35 件	38件	41件	44件	158件
		修正計画		—	—	—	—
		実績	29 件	—	—	—	29件

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

助成制度を見直して助成対象を拡大した結果、1件あたりのシンボルツリー申請本数が増加したため、令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	区民が親しみを感じる崖線樹林地の再生区域数	—	目標	6区域		当初目標	7区域	6区域	8区域	27区域
			実績	6区域						
			達成状況※1	100.0%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
崖線樹林地（公園緑地）保全・育成の推進公園数	—	当初計画	5 箇所	5箇所	5箇所	6箇所	21箇所
		修正計画		—	—	—	—
		実績	5 箇所	—	—	—	5箇所

分野別政策14　豊かな自然環境の保全・創出

施策14-2	生物多様性の保全
関連政策等	重点政策：5　分野別政策：14
所管部	みどり33推進担当部

（1）施策に連なる事業

番号	事業	
1	生物多様性に配慮した公園緑地の整備・管理	
	目的と内容	生きものの生息・生育環境の核となる公園緑地において、在来種を活用した植栽を行うなど、公園緑地による生きもののネットワークの形成を図るとともに、生物多様性に配慮した管理を進めていきます。
2	世田谷生きもの会議の充実	
	目的と内容	様々な主体が連携して情報を共有するとともに、生物調査の実施や情報発信、専門家派遣などを通して知恵や経験を学ぶ機会の充実を図ります。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	生物多様性に配慮した公園緑地面積（累計）	25,680㎡（令和5年度見込み）	目標	30,450㎡		当初目標	66,710㎡	69,460㎡	71,510㎡	71,510㎡（累計）
			実績	30,880㎡						
			達成状況※1	101.4%	A	修正目標	63,890㎡	64,650㎡	73,150㎡	73,150㎡（累計）

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
生物多様性に配慮した公園緑地整備箇所数	2箇所（令和5年度見込み）	当初計画	4 箇所	3箇所	2箇所	2箇所	11箇所
		修正計画		—	—	—	—
		実績	4 箇所	—	—	—	4箇所

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

建設費等の物価高騰による影響や公園緑地整備予定地の調整状況を踏まえ、公園緑地の整備計画を見直したため、令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	世田谷生きもの会議参加団体数（累計）	15団体（令和5年度見込み）	目標	16団体		当初目標	16団体	17団体	17団体	17団体（累計）
			実績	16団体						
			達成状況※1	100.0%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
世田谷生きもの会議開催数	1回（令和5年度見込み）	当初計画	1 回	1回	1回	1回	4回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	1 回	—	—	—	1回

分野別政策14　豊かな自然環境の保全・創出

施策14-3	協働によるみどり豊かなまちづくりの推進
関連政策等	重点政策：5　分野別政策：14
所管部	みどり33推進担当部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	みどり・生物多様性の普及啓発	
	目的と内容	みどりに関する講習会や農作業体験イベントなどを通してみどりに触れ合う機会を充実させることで、みどりや生物多様性に関する保全・創出意識の醸成を図り、多様な主体の主体的な行動を促します。
2	農に触れ合う機会の充実	
	目的と内容	農業体験イベントや野菜づくり講習会等への参加を通して、農に触れ合う機会を充実させることで、農業公園の認知率を高め、みどりに関する保全・創出の意識向上を図ります。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	みどりに関するイベントや講習会の参加者数	19,792人（令和5年度見込み）	目標	19,800人		当初目標	19,800人	19,800人	19,800人	79,200人
			実績	26,779人						
			達成状況※1	135.2%	A	修正目標	26,000人	26,000人	26,000人	97,800人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
みどりに関するイベントや講習会の開催回数	6回	当初計画	7 回	7回	7回	7回	28回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	6 回	—	—	—	6回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

現在の世田谷公園での開催が4回目となり地域に浸透しつつあることから、ガーデニングフェアの令和6年度の来場者数が増加傾向にあるため、参加者数の実績を踏まえて令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	農業公園におけるイベントや講習会の参加者数	1,992人（令和5年12月時点）	目標	1,900人		当初目標	2,000人	2,000人	2,100人	8,000人
			実績	2,795人						
			達成状況※1	147.1%	A	修正目標	3,300人	3,300人	3,300人	11,800人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
農業公園におけるイベントや講習会の開催回数	123回（令和5年12月時点）	当初計画	120 回	130回	130回	140回	520回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	133 回	—	—	—	133回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

桜丘農業公園が令和7年4月に開園し、イベントや講習会の開催回数の増加を予定していることに加え、毎日の継続した農業公園の管理運営により各農業公園近隣への認知度向上と参加者数の増加を図るため、令和７年度以降の目標値を変更した。

分野別政策15　持続可能な地域経済の実現

施策15-1	多様な地域産業の持続可能性確保に向けた基盤強化
関連政策等	重点政策：6　分野別政策：15
所管部	経済産業部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	地域産業のさらなる活性化に向けた施策の推進	
	目的と内容	区内で新規プロジェクトの事業化等に挑戦する事業者に対し、地域連携型ハンズオン支援（専門家によるアドバイス等の伴走型支援や補助金の交付）を行うことで、地域経済の活性化を図ります。また、研修型スクール事業による経営力の強化や、販路拡大支援等を通じた事業者の基盤強化や生産性向上を図るほか、円滑な事業承継を図り、地域の魅力ある産業が引き継がれ、成長する持続可能な環境を整備します。
2	地域経済循環の推進	
	目的と内容	世田谷区商店街振興組合連合会が実施するデジタル地域通貨「せたがやPay」の運営を支援し、中小個店デジタルプラットフォームとして区内中小個店や商店街の稼ぐ力を下支えする基盤とすることで、地域経済の活性化（中小個店支援）や電子決済定着による産業効率化（地域産業DX）等を推進し、地域経済の循環を図ります。
3	安定的雇用の促進	
	目的と内容	三軒茶屋就労支援センターにおいて、就労を望む一人でも多くの方が安定した仕事に就けるよう、また事業所が必要とする人材を獲得できるようマッチングを進めるとともに、雇用労働分野のワンストップ窓口として総合的な支援を行います。
4	地域産業の経営戦略の基盤となる人材採用	
	目的と内容	正社員（正規雇用）を目指す求職者のキャリアチェンジの取組みを充実させ、メディアとタイアップしたSNS発信や冊子等による人材不足産業の魅力発信、伴走型での企業（事業所）の採用支援を行い、区民生活を支える中小企業等の採用マッチングを推進します。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	事業実施前と比較し、売上変動が好転した事業者数	71事業者（令和4年度）	目標	80事業者		当初目標	80事業者	80事業者	80事業者	320事業者
			実績	42事業者						
			達成状況※1	52.5%	C	修正目標	45事業者	45事業者	45事業者	215事業者

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
地域連携型ハンズオン支援により新規プロジェクトの事業化を達成した事業者数	73事業者（令和5年12月時点）	当初計画	80事業者	80事業者	80事業者	80事業者	320事業者
		修正計画		45事業者	45事業者	45事業者	215事業者
		実績	42事業者	—	—	—	42事業者

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

令和7年度以降の地域連携型ハンズオン支援事業については、新たに開設した産業活性化拠点の「HOME/WORK VILLAGE」にて拠点の主な機能である生活関連産業の活性化や社会課題に取り組む事業者を支援する「産業活性化拠点チャレンジ支援プログラム」と、区内産業全般の底上げのため、あらゆるジャンルから自由な発想を支援する「イノベーション創造支援プログラム」及び「ビジネススクール事業」により、持続的な地域経済の活性化に取り組むことから、支援数の見直しに伴い、令和7年度以降の目標値を変更した。

●行動量

事業内容の見直しに伴い令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	せたがやPayアプリ利用者の継続利用率※2	71.8%（令和5年度見込み）	目標	75%		当初目標	75%	75%	75%	75%
			実績	77.4%						
			達成状況※1	103.2%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
せたがやPay事業の加盟店舗数（累計）	5,096店（令和5年12月時点）	当初計画	5,600店	5,900店	6,200店	6,500店	6,500店（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	5,810店	—	—	—	5,810店

※2：継続利用率（年間平均）　「当月も継続して支払いがあったせたがやPay利用者数/前月に支払いがあったせたがやPay利用者数」の年間平均

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	三軒茶屋就労支援センターの就職決定者数	787人（令和4年度）	目標	800人		当初目標	800人	800人	800人	3,200人
			実績	766人						
			達成状況※1	95.8%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
三軒茶屋就労支援センターのセミナー開催数	178回（令和5年度見込み）	当初計画	180 回	180回	180回	180回	720回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	182 回	—	—	—	182回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
4	区内企業と求職者のマッチング就職決定者数	49人（令和4年度）	目標	55 人		当初目標	55人	55人	55人	220人
			実績	57 人						
			達成状況※1	103.6%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
区内企業と求職者のマッチングイベント開催数	42回（令和5年度見込み）	当初計画	45 回	45回	45回	45回	180回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	48 回	—	—	—	48回

分野別政策15　持続可能な地域経済の実現

施策15-2	起業の促進と多様な働き方の実現
関連政策等	重点政策：1、2、6　分野別政策：15
所管部	経済産業部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	新たな価値を創出する事業者・人材の育成、区内産業のイノベーションの創出	
	目的と内容	新たな産業活性化拠点において、事業スペースの提供や専門人材によるサポート、他企業との交流・連携、資金面でのサポート等、起業家やスタートアップの成長を支援する環境を整備します。
2	区民の起業・創業の促進	
	目的と内容	創業支援事業者との連携を強化し創業相談・創業セミナーなどを実施するとともに、創業へのチャレンジを後押しする支援や区内事業者向けの支援策の周知を行います。
3	多様な働き方の環境整備	
	目的と内容	ライフスタイル等に応じて多様な働き方を選択することができる環境を整備するとともに、安心して働くことができるようセーフティネットとしての相談体制を充実します。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度	区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	新たな産業活性化拠点の支援プログラム利用者数	—	目標	—	当初目標	25人	50人	100人	175人
			実績	—					
			達成状況※1		修正目標	65人	75人	78人	218人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
新たな産業活性化拠点のコンテンツ数	—	当初計画	施設運営開始に向けた取組み	100件	100件	100件	300件
		修正計画※2		133件	225件	310件	668件
		実績	施設運営開始に向けた取組み	—	—	—	—

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

令和7年5月に「世田谷区産業活性化拠点　令和７年度事業計画書」を策定し、あらためて目標値を設定したため、令和７年度以降の目標値を変更した。
※2：上記理由により行動量についても令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	創業支援事業における創業相談等利用者の創業決定者数	292人（令和4年度）	目標	310人		当初目標	320人	330人	340人	1,300人
			実績	283人						
			達成状況※1	91.3%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
創業支援事業における創業相談等の実施回数	452回（令和5年12月時点）	当初計画	92 回	92回	92回	92回	368回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	66 回	—	—	—	66回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	多様な働き方の相談・社会保険労務士相談の相談件数	294件（令和5年12月時点）	目標	400件		当初目標	400件	400件	400件	1,600件
			実績	470件						
			達成状況※1	117.5%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
多様な働き方の相談・社会保険労務士相談の実施回数	134回（令和5年12月時点）	当初計画	155 回	155回	155回	155回	620回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	205 回	—	—	—	205回

分野別政策15　持続可能な地域経済の実現

施策15-3	地域や社会の課題の解決に向けたソーシャルビジネスの推進
関連政策等	重点政策：1、2、5、6　分野別政策：15
所管部	経済産業部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	産業交流による新たな産業の創出	
	目的と内容	多様な人材や業種が交流する産業連携プラットフォーム「SETAGAYAPORT」により、社会課題や地域課題の解決に向けた新たな産業の育成の機会や、コレクティブインパクトを創出します。
2	地域及び社会課題解決に向けたソーシャルビジネスの推進	
	目的と内容	地域及び社会課題の解決並びに活性化を図る事業を行うソーシャルビジネス事業者に対して補助を行うことで、持続可能な地域経済の発展を実現します。
3	産業視点からの福祉事業の課題解決	
	目的と内容	「せせせプロジェクト」により、障害者施設で製作される自主生産品の商品開発のアドバイスをはじめSNSやメディアの活用、イベント実施によるPR、ECサイトでの販路拡大等により、売上向上とそれによる利用者の工賃アップを進めます。また、メディアと連携して福祉系産業の仕事の魅力をダイレクトに伝える冊子の作成やwebコンテンツの展開を図り、福祉人材確保につなげます。
4	農福連携の推進	
	目的と内容	区内農地の保全及び障害者就労の促進と工賃向上に向けて取り組む農福連携事業において、農作業体験会等の機会を通した障害者の働く意欲の向上や、地域イベント等による区民及び区内農業者の意識醸成を図り、世田谷区における農福連携を推進していきます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	SETAGAYA PORTを通して実現した連携事業数	10事業（令和5年度見込み）	目標	15事業		当初目標	20事業	20事業	25事業	80事業
			実績	15事業						
			達成状況※1	100.0%	A	修正目標	—	—	—	—
行動量		現況値（策定時）	区分	令和6年度			令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
SETAGAYA PORTへの新規会員登録者数（累計）		4,500人（令和5年度見込み）	当初計画	5,100人			5,700人	6,300人	6,900人	6,900人（累計）
			修正計画				—	—	—	—
			実績	6,701人			—	—	—	6,701人

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	ソーシャルビジネス補助対象事業の継続（累計）	—	目標	—		当初目標	5事業	10事業	15事業	15事業（累計）
			実績	—						
			達成状況※1			修正目標	—	—	—	—
行動量		現況値（策定時）	区分	令和6年度			令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
ソーシャルビジネス補助交付件数		—	当初計画	5 件			5件	5件	5件	20件
			修正計画				—	—	—	—
			実績	2 件			—	—	—	2件

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	イベント参加事業者のうち前年度比で売上が向上した事業者数（累計）	—	目標	15事業者		当初目標	16事業者	17事業者	18事業者	18事業者（累計）
			実績	18事業者						
			達成状況※1	120.0%	A	修正目標	—	—	—	—
行動量		現況値（策定時）	区分	令和6年度			令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
せせせプロジェクトイベントの開催回数		5回（令和5年度見込み）	当初計画	5 回			5回	5回	5回	20回
			修正計画				—	—	—	—
			実績	6 回			—	—	—	6回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
4	農福連携事業を通じた区内就職者数（累計）	10人（令和5年度見込み）	目標	15 人		当初目標	15人	15人	15人	15人（累計）
			実績	10 人						
			達成状況※1	66.7%	C	修正目標	—	—	—	—
行動量		現況値（策定時）	区分	令和6年度			令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
農福連携体験会の開催数		12回（令和5年度見込み）	当初計画	12 回			12回	12回	12回	48回
			修正計画				—	—	—	—
			実績	16 回			—	—	—	16回

分野別政策15　持続可能な地域経済の実現

施策15-4	地域経済の持続可能性を考慮した事業活動及びエシカル消費の推進
関連政策等	重点政策：5　分野別政策：15
所管部	経済産業部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	まちなか観光の推進	
	目的と内容	世田谷まちなか観光交流協会への理解と参画を促し、事業の実施につなげることで、会員間の活発な交流と地域経済の活性化をもたらす好循環を生み出す、持続可能なまちなか観光事業の展開を図ります。
2	区民に対する都市農業への理解促進	
	目的と内容	区民が農に親しむ機会を創出することで、都市農業への理解を促進するとともに、結果的に区民が体験という形で農作業の一部を担うことになるという交流の営農支援的な側面を踏まえて、農地保全につなげます。
3	持続可能な消費者行動の推進	
	目的と内容	各種広報媒体を活用した啓発や講座、東京都や市民活動団体などと連携した取組みを行い、多くの区民へ向けた普及・啓発を進め、持続可能な消費者行動であるエシカル消費の推進を図ります。
4	脱炭素など環境分野における産業の育成促進	
	目的と内容	脱炭素など産業分野における環境に関する普及啓発を行い、事業者の環境意識の向上を図るとともに、脱炭素に取り組む事業者の後押しや課題解決に資する事業者の創出・育成のための環境整備等を行い、産業分野における環境行動の推進を図ります。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	世田谷まちなか観光交流協会の活動回数	10回（令和5年度見込み）	目標	13 回		当初目標	15回	17回	19回	64回
			実績	19 回						
			達成状況※1	146.2%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
世田谷まちなか観光交流協会会員数の増加（累計）	104事業者（令和5年度見込み）	当初計画	107事業者	110事業者	113事業者	116事業者	116事業者（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	108事業者	—	—	—	108事業者

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	ふれあい農園参加人数	31,350人（令和5年度見込み）	目標	33,500人		当初目標	34,000人	34,500人	34,500人	136,500人
			実績	34,234人						
			達成状況※1	102.2%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
ふれあい農園開設件数（累計）	55件（令和5年度見込み）	当初計画	58 件	59件	60件	60件	60件（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	56 件	—	—	—	56件

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	エシカル消費に関する講座の受講者のうち、その理解が深まった人数	—	目標	160人		当初目標	160人	160人	160人	640人
			実績	303人						
			達成状況※1	189.4%	A	修正目標	190人	190人	190人	730人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
エシカル消費に関する講座の実施回数	12回（令和5年度見込み）	当初計画	15 回	15回	15回	15回	60回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	20 回	—	—	—	20回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

地域団体等からの依頼に応じて実施するエシカル消費に関する出前講座について、環境問題等への区民の関心の高まりにより受講者数が増加傾向にあるため、令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
4	事業活動において環境配慮行動を重要な位置づけとしている事業者の割合 ※2	24.9%（令和5年度見込み）	目標	30%		当初目標	35%	40%	45%	45%
			実績	21.6%						
			達成状況※1	72.0%	C	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
脱炭素など環境分野に関する啓発活動回数	—	当初計画	6 回	6回	6回	6回	24回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	1 回	—	—	—	1回

※2：成果指標とする設問に「重要度は高い」「重要度はやや高い」とした回答数：392件/令和6年度世田谷区産業基礎調査への総回答数：1,813件

分野別政策16　文化・芸術の振興

施策16-1	誰もが文化・芸術を身近に感じ楽しめる環境の整備
関連政策等	重点政策：3　分野別政策：16
所管部	生活文化政策部

（1）施策に連なる事業

番号	事業	
1	区の美術品等の活用による鑑賞機会の拡大	
	目的と内容	世田谷美術館及び世田谷文学館において、区が所蔵する美術品や文学資料についてテーマを設定した収蔵品展として公開するほか、ホームページにおいても、展示内容を動画やコレクション検索システムなど様々な方法で紹介しながら、リアルとオンラインの両面から鑑賞機会を拡大します。また、区庁舎や区立施設において美術品等を展示し、より身近な場所での鑑賞機会を提供します。
2	美術館・文学館におけるライブラリーの運営	
	目的と内容	世田谷美術館アートライブラリーにて、美術専門書の閲覧やビデオ視聴、レファレンスサービス等、美術に関する情報提供を行います。また、世田谷文学館ライブラリー「ほんとわ」において、子どものための本のエリアや、選書コーナーを設けるなど、書物との新たな出会いと多様な楽しみ方を提案し、地域のための図書空間を提供します。
3	区民利用・交流拠点全体を活用した音楽イベント等による文化・芸術に触れる機会の提供	
	目的と内容	世田谷区民会館ホールに隣接するラウンジにおいて、コンサート等を実施するほか、区民利用・交流拠点施設全体を活用して、区民が気軽に文化・芸術に触れる機会を提供します。

（2）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1-①	区ホームページ「区庁舎等美術品ページ」へのアクセス数	—	目標	600回		当初目標	1,200回	1,320回	1,440回	4,560回
			実績	191回						
			達成状況※1	31.8%	C	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
区庁舎等における美術品の展示点数（累計）	380点（令和5年度見込み）	当初計画	430 点	450点	470点	490点	490点（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	480 点	—	—	—	480点

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1-②	当年度開催の収蔵品展Webページへのアクセス数	76,665回（令和5年度見込み）	目標	77,200回		当初目標	77,300回	77,400回	77,500回	309,400回
			実績	164,725回						
			達成状況※1	213.4%	A	修正目標	80,000回	81,000回	83,000回	321,200回

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
収蔵品展及びホームページで紹介する作品点数（累計）	2,947点（令和5年度見込み）	当初計画	3,300点	3,800点	4,300点	4,800点	4,800点（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	3,582点	—	—	—	3,582点

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

世田谷美術館では「アートディレクターの仕事」、世田谷文学館では「寺山修司展」等の収蔵品展が人気を博し、当初の目標を大きく上回った。当該収蔵品展以外の期間もWebページへのアクセス数が上昇傾向にあるため、その期間の実績を踏まえ、令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	ライブラリー利用者数	31,707人（令和5年度見込み）	目標	33,200人		当初目標	34,700人	36,200人	37,700人	141,800人
			実績	37,744人						
			達成状況※1	113.7%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
美術館・文学館のライブラリーにおける企画コーナーの実施回数	14回（令和5年度見込み）	当初計画	14 回	14回	14回	14回	56回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	18 回	—	—	—	18回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	音楽イベント等への参加者数	—	目標	60人		当初目標	120人	160人	200人	540人
			実績	272人						
			達成状況※1	453.3%	A	修正目標	300人	400人	500人	1,260人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
音楽イベント等の実施回数	—	当初計画	3 回	6回	8回	10回	27回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	3 回	—	—	—	3回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

区及び委託先、出演者による広報が来場者数の増加に繋がったことに加え、定期的な音楽イベント等の開催により固定ファンを獲得することができたことから、令和6年度の試行実施の結果を踏まえ、令和7年度以降の目標値を変更した。

分野別政策16　文化・芸術の振興

施策16-2	地域活動団体の支援と交流の促進による文化・芸術活動の活性化
関連政策等	分野別政策：16
所管部	生活文化政策部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	世田谷区民会館等における文化・芸術を通じた交流事業の実施	
	目的と内容	世田谷区民会館のホールや集会室等を活用し、文化・芸術を通じた交流会や交流イベントを実施し、様々な交流を促進することで、区内の文化・芸術活動の活性化に取り組みます。
2	身近なアーティストの活動に触れる機会の創出	
	目的と内容	区にゆかりのあるアーティストを公募・登録し、区立施設等での活動場所の提供や区主催イベント等への派遣を行い、アーティストの活動の場や地域とのつながりの創出と、区民が身近な場所で文化・芸術に触れる機会の提供に取り組みます。
3	地域で活動する文化・芸術団体の活動支援	
	目的と内容	まちのにぎわいや魅力づくりを目指す文化・芸術事業に対する補助を通じて、区民の文化・芸術活動の支援や文化・芸術によるまちのにぎわい・魅力の創出支援の取組みを進めます。また、区のホームページへのイベント情報掲載や区の窓口へのチラシの配架を行うなど、文化・芸術活動団体の広報支援に取り組みます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度	区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	文化・芸術交流事業の出演者数及び事業への参加者数 a）出演者数	—	目標	50 人	当初目標	50人	50人	75人	225人
			実績	0 人					
			達成状況※1	0.0%　D	修正目標	—	—	—	—
	文化・芸術交流事業の出演者数及び事業への参加者数 b）参加者数	—	目標	—	当初目標	600人	650人	700人	1,950人
			実績	—					
			達成状況※1		修正目標	0人	—	—	1,350人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
文化・芸術交流事業の実施回数 a）交流会	—	当初計画	1 回	1回	1回	1回	4回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	0 回	—	—	—	0回
文化・芸術交流事業の実施回数 b）交流イベント	—	当初計画	実施に向けた検討	1回	1回	1回	3回
		修正計画		実施に向けた検討	—	—	2回
		実績	実施に向けた検討	—	—	—	—

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

「b）参加者数」について、令和7年度の交流イベントの実施を見送り、令和8年度から運営を予定している区民利用・交流拠点施設における交流イベントとの統合を図ることでより幅広い交流が見込めるため、令和7年度の目標値を変更した。

●行動量

世田谷区民会館が令和6年9月1日にリニューアルオープンし、実利用期間は4か月であること、また本庁舎が工事中ということもあり、当時の世田谷区民会館の利用団体が戻っていない状況であるため、文化・芸術交流事業への参加団体が少ないと想定されることから令和6年度の「a）交流会」実施は見送ることとした。現在、令和8年度から運営を予定している区民利用・交流拠点施設における事業実施に向けた検討を進めており、交流事業として世田谷区民会館単体での事業を実施するよりも、区民利用・交流拠点施設全体の取組みとして進める方が効果も高く、事業実施によるインパクトが期待できるため、実施手法を再検討することとし、令和8年度の「b）交流イベント」実施に向け、交流会を開催して内容の検討を行うことから令和7年度の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度	区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	活動した登録アーティスト数及び活動への参加者数 a）アーティスト	—	目標	—	当初目標	50人	60人	70人	180人
			実績	—					
			達成状況※1		修正目標	30人	—	—	160人
	活動した登録アーティスト数及び活動への参加者数 b）参加者（区民）	—	目標	—	当初目標	1,000人	1,200人	1,400人	3,600人
			実績	—					
			達成状況※1		修正目標	0人	—	—	2,600人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
世田谷アーティストバンク登録アーティスト数	—	当初計画	令和7年度からの実施に向けた取組み	20人	25人	30人	75人
		修正計画		—	—	—	—
		実績	令和7年度からの実施に向けた取組み	—	—	—	—

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

令和6年度中の検討により、アーティストの派遣を行うにあたり、登録するアーティストの審査が必要であるとの結論に至ったため、令和7年度はアーティストの公募・登録を実施し、令和8年度より派遣を開始するようスケジュールを見直したため、令和7年度の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度	区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	地域文化芸術振興事業の実施者数及び事業への参加者数 a）実施者	39人（令和5年度見込み）	目標	50 人	当初目標	65人	65人	75人	255人
			実績	54 人					
			達成状況※1	108.0% A	修正目標	—	—	—	—
	地域文化芸術振興事業の実施者数及び事業への参加者数 b）参加者	954人（令和5年度見込み）	目標	1,200人	当初目標	1,560人	1,560人	1,800人	6,120人
			実績	1,586人					
			達成状況※1	132.2% A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
地域文化芸術振興事業補助金補助事業数	8件（令和5年度見込み）	当初計画	10 件	13件	13件	15件	51件
		修正計画		—	—	—	—
		実績	10 件	—	—	—	10件

分野別政策17　生涯スポーツの推進

施策17-1	スポーツを通じた生きがい・健康づくり
関連政策等	重点政策：3　分野別政策：17
所管部	スポーツ推進部

（1）施策に連なる事業

番号	事業	
1	ランニングやジョギング、ウォーキングを行う人が達成感を得られるような環境整備	
	目的と内容	ランニングやジョギング、ウォーキングを行う人が、身近なところで、スポーツ活動による達成感を得られるよう環境を整備します。
2	公共施設等へのボッチャコートの設置	
	目的と内容	各地域にある区の公共施設等にボッチャコートを設置し、誰でも気軽にボッチャを楽しめる環境を整備します。
3	まちなかでのスポーツイベントの実施	
	目的と内容	まちなかの空きスペース等で、気軽に参加できるスポーツイベントを実施し、普段スポーツをしていない人や関心が低い層がスポーツに親しむきっかけづくりに取り組みます。
4	気軽にできるスポーツの普及	
	目的と内容	身近な公園等を利用し、誰でも参加できるラジオ体操などを行うことにより、気軽にスポーツに触れる機会を拡充します。

（2）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度	区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	整備されたランニングやジョギング、ウォーキングコースを利用したことがある人数（1日当たりの利用者数）	—	目標	—	当初目標	200人	300人	400人	900人
			実績	—					
			達成状況※1		修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
ランニングやジョギング、ウォーキングコースの環境整備を行った箇所数（累計）	—	当初計画	整備対象の検討	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	整備対象の検討	—	—	—	—

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	公共施設等に設置されたボッチャコートの利用回数	48回（令和5年12月時点）	目標	60 回		当初目標	80回	90回	120回	350回
			実績	58 回						
			達成状況※1	96.7%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
公共施設等へのボッチャコートの設置数（累計）	1箇所	当初計画	2 箇所	3箇所	3箇所	5箇所	5箇所（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	2 箇所	—	—	—	2箇所

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度	区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	まちなかでのスポーツイベントの参加者数	—	目標	—	当初目標	50人	100人	150人	300人
			実績	—					
			達成状況※1		修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
まちなかでのスポーツイベント実施回数	—	当初計画	イベント実施内容の検討	1回	1回	2回	4回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	イベント実施内容の検討	—	—	—	—

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
4	ラジオ体操への参加者数	11,000人（令和5年度見込み）	目標	11,500人		当初目標	12,000人	12,500人	13,000人	49,000人
			実績	43,459人						
			達成状況※1	377.9%	A	修正目標	49,800人	51,800人	53,800人	166,900人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
ラジオ体操の開催箇所数	6箇所（令和5年12月時点）	当初計画	6箇所	7箇所	8箇所	9箇所	30箇所
		修正計画		—	—	—	—
		実績	7箇所	—	—	—	7箇所

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

令和6年度は各地域での開催が広く認知され、継続的な参加者が増加している。今後も開催場所や広報の拡充を検討しており、引き続き参加者数は増加すると見込まれるため、令和7年度以降の目標値を変更した。

分野別政策17　生涯スポーツの推進

施策17-2	スポーツを通じた共生社会の実現
関連政策等	重点政策：3、4　分野別政策：17
所管部	スポーツ推進部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	ユニバーサルスポーツの推進	
	目的と内容	誰もが一緒にスポーツやパラスポーツに親しみ、楽しめるイベントを開催し、参加者同士の交流促進を図るとともに、ユニバーサルスポーツを推進します。また、障害の有無や年齢にかかわらず参加してもらえるよう情報発信の充実に取り組みます。
2	スポーツを通じた交流の場の創出	
	目的と内容	スポーツ関係団体や学校等、様々な主体が連携、協働し、誰もが楽しめるスポーツの場を創出します。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度	区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	ユニバーサルスポーツイベントに参加した人のうち、ユニバーサルスポーツへの関心が高まったと回答した参加者の人数	200人（令和5年度見込み）	目標	200人	当初目標	250人	300人	350人	1,100人
			実績	—※2					
			達成状況※1	— —	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
ユニバーサルスポーツイベントの開催回数	2回（令和5年度見込み）	当初計画	2 回	2回	2回	2回	8回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	4 回	—	—	—	4回

※2：事前申込制以外（参加自由）の事業ではアンケートを実施することが難しく、令和6年度の実績を把握することができなかった。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	関係団体等との連携・協働によるスポーツイベント等への参加者数	10,098人	目標	18,000人		当初目標	18,000人	18,000人	18,000人	72,000人
			実績	37,620人						
			達成状況※1	209.0%	A	修正目標	28,000人	28,000人	28,000人	102,000人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
関係団体等との連携・協働によるスポーツイベント等の実施回数	1回	当初計画	1 回	1回	1回	1回	4回
		修正計画		3回	3回	3回	10回
		実績	5 回	—	—	—	5回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

関係団体との連携によりスポーツイベントを拡充する予定であり、参加者の増加が見込まれるため、令和7年度以降の目標値を変更した。

●行動量

地域展開を図ったことで実施会場が増えたことに伴いイベント等の実施回数増につながった。今後も引き続き地域展開を図っていくことから、令和7年度以降の目標値を変更した。

分野別政策17　生涯スポーツの推進

施策17-3	スポーツを通じた活力あるまちづくり
関連政策等	分野別政策：17
所管部	スポーツ推進部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	スポーツチームと連携した情報発信やにぎわいの創出	
	目的と内容	スポーツチームの試合会場等で、イベントの開催やブースの出店を行い、来訪者に世田谷の魅力をPRします。また、商店街等と連携し、まちなかに立ち寄る機会を創出しながら地域・産業の振興を図ります。
2	ランニングやジョギング、ウォーキングによる名所めぐりやまち歩きによる地域の活性化	
	目的と内容	世田谷の名所や世田谷みやげを扱う場所等をめぐるランニングやジョギング、ウォーキングによるまち歩きを開催し、スポーツによる地域の活性化を図ります。
3	地域コミュニティ活動への派遣・協力	
	目的と内容	スポーツ推進委員協議会や区内競技団体等と連携し、地域のスポーツニーズに応じた講師や指導者の派遣等を通じて地域でのスポーツ活動を推進します。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	試合会場等でのイベントへの来場者数	600人（令和5年度見込み）	目標	1,000人		当初目標	1,200人	1,500人	2,000人	5,700人
			実績	2,650人						
			達成状況※1	265.0%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
試合会場等でのイベント実施回数	3回（令和5年度見込み）	当初計画	5 回	5回	5回	5回	20回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	4 回	—	—	—	4回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	名所めぐりやまち歩きへの参加者数	—	目標	—		当初目標	50人	80人	100人	230人
			実績	—						
			達成状況※1			修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
名所めぐりやまち歩きの実施回数	—	当初計画	名所めぐり等の実施場所の選定	1回	1回	2回	4回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	名所めぐり等の実施場所の選定	—	—	—	—

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	地域コミュニティ活動への参加者数	200人（令和5年度見込み）	目標	330人		当初目標	360人	420人	470人	1,580人
			実績	1,950人						
			達成状況※1	590.9%	A	修正目標	2,000人	2,000人	2,000人	6,330人

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
講師等の派遣・協力回数	20回（令和5年度見込み）	当初計画	28 回	30回	35回	40回	133回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	65 回	—	—	—	65回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

コロナ禍からの事業回復が想定を大きく超え、各地域のイベント等へのスポーツ推進委員の講師等派遣の需要及び参加者数が大幅に増えると見込まれるため令和7年度以降の目標値を変更した。

分野別政策18　魅力ある街づくり

施策18-1	地区特性に応じた街づくりの推進
関連政策等	重点政策：6　分野別政策：18
所管部	都市整備政策部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	地区街づくりの推進	
	目的と内容	地区の特性に応じたまちづくりを推進するため、丁寧な説明による合意形成を図り、区民参加を軸としながら地区計画等の策定及び見直し等に向けた取組みを進めていきます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	地区計画等の策定及び変更（廃止含む）地区数	2地区	目標	1地区		当初目標	4地区	検討状況を踏まえて設定	検討状況を踏まえて設定	5地区
			実績	0地区						
			達成状況※1	0.0%	D	修正目標	—	2地区	0地区※2	7地区

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
地区計画等の策定及び変更（廃止含む）検討地区数	8地区	当初計画	6地区	5地区	5地区	5地区	21地区
		修正計画		9地区	—	3地区	23地区
		実績	8地区	—	—	—	8地区

※2：令和9年度においても、関係各所との調整や地区住民との合意形成を継続して行うが、現時点で地区計画等の策定および変更に至る見込みの地区が無いため０地区としている。令和9年度の取組みは令和10年度以降の成果に繋げる。

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

地区計画等の策定及び変更においては、検討（東京都を含む関係所管との調整や地区住民との合意形成等）の進捗状況により地区数が変動するため、当初目標は「検討状況を踏まえて設定する」としていたが、現時点の各地区の進捗状況を踏まえて、令和8年度以降の目標値を設定した。

●行動量

東京都を含む関係所管との調整や地区住民との合意形成に時間を要し策定に至らず継続して検討する地区、また、大規模の土地利用転換が想定され新たに検討する地区があるため、令和７年度以降の目標値を変更した。

分野別政策18　魅力ある街づくり

施策18-2	魅力あるにぎわいの拠点づくり
関連政策等	重点政策：6　分野別政策：18
所管部	都市整備政策部、世田谷総合支所、北沢総合支所、玉川総合支所、烏山総合支所

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	三軒茶屋駅周辺まちづくりの推進	
	目的と内容	地域の気運醸成やまちづくり推進体制の構築及び都市機能の更新に向けた活動の支援等を進めることにより、「三茶のミライ（三軒茶屋駅周辺まちづくり基本計画）」で掲げる未来像の実現につなげ、魅力と活力のある都市の創出を目指します。
2	下北沢駅周辺まちづくりの推進	
	目的と内容	下北沢駅駅前広場の整備に合わせ、公共空間の管理活用を地域主体で運営するエリアマネジメントの導入を検討するため、未来ビジョンを作成し、地域組織の法人化を目指します。
3	二子玉川駅周辺まちづくりの推進	
	目的と内容	地域主体のエリアマネジメントに対するアドバイザリー支援を通じ、多摩川や周囲の自然環境及び公共空間の有効活用による活発な交流を創出し、回遊性が高く、魅力あふれる都市空間の形成を目指します。
4	京王線沿線まちづくりの推進	
	目的と内容	京王線連続立体交差事業を契機とした沿線街づくりの気運を醸成するとともに、人が主役で地域の個性を活かしコミュニティを育む街づくりの実現を目指します。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1-①	社会実験等への協力団体数（累計）	6団体（令和5年度見込み）	目標	7団体		当初目標	7団体	10団体	10団体	10団体（累計）
			実績	9団体						
			達成状況※1	128.6%	A	修正目標	9団体	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
気運醸成につながる社会実験等の実施回数	4回（令和5年度見込み）	当初計画	4 回	4回	4回	4回	16回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	5 回	—	—	—	5回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

現在時点の実績がすでに令和7年度の目標値を超えていることから、令和7年度の目標値を変更した。社会実験等の目的である地域の気運醸成には同一団体による継続的な協力が重要であると考え、最終的な協力団体数は10団体程度を目指していることから、令和8年度以降の目標値は変更しない。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1-②	まちづくり推進体制への参画団体数（累計）	8団体（令和5年度見込み）	目標	9団体		当初目標	9団体	10団体	10団体	10団体（累計）
			実績	14団体						
			達成状況※1	155.6%	A	修正目標	15団体	15団体	16団体	16団体（累計）

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
推進体制構築のための会議開催数	3回（令和5年度見込み）	当初計画	3 回	3回	3回	3回	12回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	5 回	—	—	—	5回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

まちづくり推進体制への最終的な参画団体数は10団体程度が適切であると考え当初計画を設定したが、令和6年度の実績がすでに実施計画最終年度の目標値を超えていることから、年1団体程度の新規参画を想定し令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1-③	区の支援により実施する市街地再開発事業に向けた地権者勉強会等の参加人数	60人（令和5年度見込み）	目標	60 人		当初目標	60人	60人	60人	240人
			実績	50 人						
			達成状況※1	83.3%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
区の支援により実施する市街地再開発事業に向けた地権者勉強会等の回数	3回（令和5年度見込み）	当初計画	3 回	3回	3回	3回	12回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	1 回	—	—	—	1回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	エリアマネジメントの導入	—	目標	エリアマネジメントの未来ビジョンの作成		当初目標	エリアマネジメント導入に向けた取組み	エリアマネジメント導入に向けた取組み	エリアマネジメント導入に向けた取組み	—
			実績	エリアマネジメントの未来ビジョンの作成						
			達成状況※1	—	—	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
下北沢エリアマネジメント協議会の支援回数※2	4回（令和5年度見込み）	当初計画	4 回	4回	4回	4回	16回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	4 回	—	—	—	4回

※2：令和7年2月に協議会の名称を「下北沢駅周辺エリアマネジメント準備協議会」から「下北沢エリアマネジメント協議会」へ変更。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	河川占用施設の年間利用者数	2,400人（令和5年度見込み）	目標	6,500人		当初目標	6,500人	6,500人	6,500人	26,000人
			実績	2,811人						
			達成状況※1	43.2%	C	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
二子玉川エリアマネジメンツ理事会におけるアドバイザリー支援回数	13回（令和5年度見込み）	当初計画	12 回	12回	12回	12回	48回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	10 回	—	—	—	10回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
4	区民・事業者等の参加人数	600人（令和5年度見込み）	目標	700人		当初目標	800人	800人	700人	3,000人
			実績	1,087人						
			達成状況※1	155.3%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
気運醸成につながる街づくり懇談会等の開催回数	50回（令和5年度見込み）	当初計画	40 回	50回	60回	50回	200回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	65 回	—	—	—	65回

分野別政策18　魅力ある街づくり

施策18-3	歩いて楽しめる魅力づくり
関連政策等	重点政策：6　分野別政策：18
所管部	都市整備政策部、みどり33推進担当部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	座れる場づくりの推進	
	目的と内容	建物の外構や道路などにベンチを整備し、ひと休みできる場をつくることで、高齢者や障害者、妊婦、子どもを抱えた方等、より多くの方が自由に様々な活動に参画できる地域社会を目指します。
2	風景づくりの推進	
	目的と内容	区民が愛着と誇りを持てる世田谷の風景を守り、育て、つくるため、届出・協議制度による風景づくりの誘導、区民主体の風景づくり活動の推進、風景づくりに関する普及啓発に取り組みます。
3	公園の魅力向上	
	目的と内容	大規模公園の公園づくりと運営検討にあたり、住民参加のワークショップを開催するなど、住民参画を取り入れるとともに、民間事業者との連携についても検討を進め、魅力ある公園づくりに取り組みます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	ベンチ設置基数（累計）	707基（令和5年度見込み）	目標	712 基		当初目標	717基	722基	727基	727基（累計）
			実績	710 基						
			達成状況※1	99.7%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
新規ベンチ設置基数	7基（令和5年度見込み）	当初計画	5 基	5基	5基	5基	20基
		修正計画		—	—	—	—
		実績	3 基	—	—	—	3基

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2-①	事前調整会議における指摘事項に対する協議成立割合 ※2	75%（令和5年度見込み）	目標	78%		当初目標	78%	78%	78%	78%
			実績	89%						
			達成状況 ※1	114.1%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
事前調整会議の開催回数	20回（令和5年度見込み）	当初計画	20 回	20回	20回	20回	80回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	20 回	—	—	—	20回

※2：事前調整会議で出された指摘事項に対して協議成立した物件数：40件／当該年度において景観計画区域内の行為完了報告書が提出された物件のうち、事前調整会議に付議し指摘事項が出された物件数：45件
なお、事前調整会議とは、建築主や事業者が行う建設行為等の計画について、風景づくり計画との整合、風景づくり基準との適合を確認し、よりよい風景づくりを推進するものとなるよう、建設行為等を行う建築主や事業者、専門家、区の3者で調整を行う、風景づくり条例に基づく会議である。この会議で専門家から出された建設行為等を行う建築主や事業者への指摘事項（複数）に対して、工事完了までに採用したら+1ポイント、不採用としたら-1ポイントと集計し、合計が+1ポイント以上だった場合、協議成立としている。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2-②	風景づくり交流会参加団体の交流会への評価（満足度） ※3	—	目標	75%		当初目標	75%	80%	80%	80%
			実績	83%						
			達成状況 ※1	110.7%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
風景づくり交流会の開催回数	2回（令和5年度見込み）	当初計画	3 回	3回	3回	3回	12回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	1 回	—	—	—	1回

※3：風景づくり交流会に参加しアンケートの当該質問に回答いただいた人のうち、5段階評価で「満足」「やや満足」と回答いただいた人の数：5人／風景づくり交流会に参加しアンケートの当該質問に回答いただいた人の数：6人

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2-③	イベント参加者の風景づくりへの理解が深まった割合 ※4	—	目標	75%		当初目標	75%	80%	80%	80%
			実績	88%						
			達成状況 ※1	117.3%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
普及啓発イベント開催回数	—	当初計画	1 回	1回	1回	1回	4回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	3 回	—	—	—	3回

※4：都市デザインフォーラムに参加しアンケートの当該質問に回答いただいた人のうち、5段階評価で「理解が深まった」「やや理解が深まった」と回答いただいた人の数：15人／都市デザインフォーラムに参加し、アンケートの当該質問に回答いただいた人の数：17人

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	協働による公園づくり等のイベント参加人数	1,180名（令和5年度見込み）	目標	1,600名		当初目標	1,600名	800名	800名	4,800名
			実績	1,170名						
			達成状況 ※1	73.1%	C	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
協働による公園づくり等のイベント実施回数	4回（令和5年度見込み）	当初計画	8 回	8回	4回	4回	24回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	11 回	—	—	—	11回

分野別政策19　交通環境の整備

施策19-1	地域公共交通の活性化
関連政策等	重点政策：6　分野別政策：19
所管部	道路・交通計画部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	地域公共交通の活性化	
	目的と内容	今後見込まれる超高齢社会や単身高齢者の増加等を踏まえ、区民が住み慣れた地域で自立して暮らし続けられるよう、地域公共交通の維持・確保・整備に向けて、交通事業者等と協議しながら、交通まちづくりを推進していきます。
2	公共交通不便地域対策の推進	
	目的と内容	様々な交通手段を活用し、区民が快適かつ安全・安心に移動ができるよう、最寄りの鉄道駅やバス停留所から一定以上の距離がある公共交通不便地域の対策を推進します。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	区内の交通手段（移動手段）に満足している区民の割合 ※2	67.5%	目標	68%		当初目標	69%	70%	71%	71%
			実績	69.1%						
			達成状況※1	101.6%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
地域公共交通の活性化	地域公共交通計画の策定に向けた検討	当初計画	計画の策定	計画に基づく取組み	計画に基づく取組み	計画に基づく取組み	計画に基づく取組み
		修正計画					
		実績	計画の策定				—
地域公共交通活性化協議会の開催回数	—	当初計画					
		修正計画		3回	3回	3回	9回
		実績		—	—	—	—

※2：成果指標とする設問への回答数：1,529件／世田谷区民意識調査2025総回答数：2,214件

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●行動量

区、学識経験者、交通事業者等で構成された地域公共交通活性化協議会にて、世田谷区地域公共交通計画に位置付けられた事業の実施に関すること等について協議及び検討を行うことで、地域の実情に即した輸送サービスの実現を推進するため、行動量を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	【再掲】区内の交通手段（移動手段）に満足している区民の割合 ※2	67.5%	目標	68%		当初目標	69%	70%	71%	71%
			実績	69.1%						
			達成状況※1	101.6%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
砧モデル地区でのデマンド型交通の導入	実証運行・検証	当初計画	実証運行・検証	実証運行・検証	本格運行	本格運行	本格運行
		修正計画		—	—	—	—
		実績	実証運行・検証	—	—	—	—

※2：成果指標とする設問への回答数：1,529件／世田谷区民意識調査2025総回答数：2,214件

分野別政策19　交通環境の整備

施策19-2	自転車利用環境の整備
関連政策等	分野別政策：19
所管部	土木部

（1）施策に連なる事業

番号	事業	
1	自転車走行環境整備の推進	
	目的と内容	歩行者・自転車・自動車がともに安全で快適に通行できる環境を整備し、区民の日常生活を支援する自転車ネットワークを形成するため、区内にある国道・都道、隣接自治体の道路との連続性を確保しながら自転車通行空間の整備を進めます。

（2）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	区道の自転車通行空間の整備率 ※2	33.5%（令和5年度見込み）	目標	37.8%		当初目標	40.8%	43.8%	46.8%	46.8%
			実績	36.3%						
			達成状況※1	96.0%	B	修正目標	40.0%	44.0%	48.0%	48.0%

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
区道の自転車通行空間の新規整備延長	4.8km（令和5年度見込み）	当初計画	7.2 km	5.0km	5.0km	5.0km	22.2km
		修正計画		4.3km	6.7km	6.7km	24.9km
		実績	5.2 km	—	—	—	5.2km

※2：整備済み路線延長：60.742km／世田谷区自転車ネットワーク計画で定める路線総延長：167.4km

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

行動量の計画変更を踏まえ、修正後の新規整備延長をもとに整備率を算出し、令和7年度以降の目標値を変更した。

●行動量

事業実績（令和5、6年度）を踏まえ、令和7年度以降の目標値を変更した。

分野別政策20　都市基盤の整備・更新

施策20-1	道路ネットワークの計画的な整備
関連政策等	分野別政策：20
所管部	道路・交通計画部、総合支所、土木部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	都市計画道路・主要生活道路の新設・拡幅整備	
	目的と内容	道路交通の円滑化のほか、防災・減災機能等の強化を図るため、都市の骨格となる都市計画道路及び主要生活道路の整備に取り組むとともに、連続立体交差事業に合わせた都市計画道路・駅前交通広場の整備を着実に進めます。
2	地先道路の新設・拡幅整備	
	目的と内容	歩行者等の全ての利用者の安全性を確保するとともに、消防車の通行や消火活動が困難な区域が生じないよう、区民生活に最も身近な地先道路の整備を進めます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	都市計画道路・主要生活道路の整備率 ※2	41.8%（令和5年度見込み）	目標	41.8%		当初目標	41.8%	42.1%	42.1%	42.1%
			実績	41.8%						
			達成状況 ※1	100.0%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
都市計画道路・主要生活道路の道路整備面積（仮整備含む）	6,761㎡（令和5年度見込み）	当初計画	11,683㎡	8,865㎡	8,224㎡	3,217㎡	31,989㎡
		修正計画		—	—	—	—
		実績	3,819㎡	—	—	—	3,819㎡

※2： 都市計画道路（区施行）・主要生活道路の事業完了延長：54.116km／都市計画道路（区施行）・主要生活道路の計画延長：129.606km

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	地先道路整備総延長	37m（令和5年度見込み）	目標	204m		当初目標	332m	460m	552m	1,548m
			実績	501m						
			達成状況 ※1	245.6%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
地先道路の道路整備面積（仮整備含む）	1,907㎡（令和5年度見込み）	当初計画	2,781㎡	2,389㎡	2,494㎡	4,092㎡	11,756㎡
		修正計画		—	—	—	—
		実績	1,423㎡	—	—	—	1,423㎡

分野別政策20　都市基盤の整備・更新

施策20-2	公園・緑地の計画的な整備
関連政策等	分野別政策：20
所管部	みどり33推進担当部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	新たな都市計画公園・緑地の整備	
	目的と内容	防災機能や健康レクリエーション効果、生物多様性、景観形成などに配慮しつつ、区民参加の手法を取り入れながら、区立公園条例で目標とする区民1人当たりの公園敷地面積6㎡以上の達成に向け、みどり豊かで魅力あふれる都市計画公園・緑地の新設・拡張を進めます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	区民1人当たりの公園敷地面積	2.96㎡（令和5年度見込み）	目標	2.96㎡		当初目標	3.00㎡	3.00㎡	3.00㎡	3.00㎡
			実績	2.95㎡						
			達成状況※1	99.7%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
都市計画公園・緑地（優先整備区域）の新規整備面積	1,720㎡（令和5年度見込み）	当初計画	7,250㎡	29,800㎡	2,340㎡	3,460㎡	42,850㎡
		修正計画		—	410㎡	7,850㎡	45,310㎡
		実績	6,130㎡	—	—	—	6,130㎡

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●行動量

公園の整備計画を精査し、見直しを行ったため、令和8年度以降の目標値を変更した。

分野別政策21　多様性の尊重

施策21-1	人権への理解促進
関連政策等	重点政策：4　分野別政策：21
所管部	生活文化政策部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	人権啓発イベントの開催	
	目的と内容	区民等を対象とした人権研修や区民まつり・梅まつりなどの場を活用した人権普及啓発活動を実施し、人権尊重意識を高めます。
2	性的マイノリティ等多様な性への理解促進と支援	
	目的と内容	性の多様性に起因する日常生活の支障を取り除くための支援に取り組むとともに、区民等を対象とした研修や講座、理解促進イベントを実施し、性的マイノリティへの理解を深めます。
3	犯罪被害者等への支援の推進	
	目的と内容	区内イベントや関係機関の研修等で世田谷区犯罪被害者等相談窓口や区が実施する支援策等を周知し、犯罪被害者等が支援につながりやすくするとともに、関係機関等との連携を深めます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	人権啓発イベントの参加者数	1,100人（令和5年度見込み）	目標	1,200人		当初目標	1,200人	1,200人	1,200人	4,800人
			実績	1,123人						
			達成状況※1	93.6%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
人権啓発イベントの開催回数	4回（令和5年度見込み）	当初計画	6 回	6回	6回	6回	24回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	6 回	—	—	—	6回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	性的マイノリティ理解促進研修の参加者数	1,100人（令和5年度見込み）	目標	1,200人		当初目標	1,200人	1,200人	1,200人	4,800人
			実績	1,493人						
			達成状況※1	124.4%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
性的マイノリティ理解促進研修の開催回数	14回（令和5年度見込み）	当初計画	14 回	14回	14回	14回	56回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	14 回	—	—	—	14回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	世田谷区犯罪被害者等相談窓口の認知度		目標			当初目標	10%	15%	20%	20%
			実績							
			達成状況※1			修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
区内イベント等における周知・啓発回数		当初計画					
		修正計画		8回	12回	12回	32回
		実績		—	—	—	—

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●行動量

犯罪被害者等への支援の推進について令和7年4月1日制定の世田谷区犯罪被害者等支援条例において、区としての犯罪被害者等支援のあり方やその体制・役割等について明確化し、より充実した支援を行っていくことから、人権への理解促進の取組みに資する事業として位置づける。まずは犯罪被害者等が支援につながりやすくするため、世田谷区犯罪被害者等相談窓口や区の支援策等を区民や関係機関等に知ってもらう必要があることから、新たに「区内イベント等における周知・啓発回数」を行動量として設定した。

分野別政策21　多様性の尊重

施策21-2	男女共同参画の推進
関連政策等	重点政策：4　分野別政策：21
所管部	生活文化政策部

（1）施策に連なる事業

番号	事業	
1	ワーク・ライフ・バランスの推進	
	目的と内容	区民、事業者等を対象としたイベントや講座等を実施するとともに、様々な啓発物の活用などにより、男女共同参画の観点からワーク・ライフ・バランスの取組みを推進します。
2	あらゆる分野における女性活躍の推進	
	目的と内容	区民等を対象としたイベントや講座等を実施するとともに、様々な啓発物の活用などにより、あらゆる分野における女性活躍に向けた取組みを推進します。

（2）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	ワーク・ライフ・バランスに関するイベント等への参加者数	391人（令和5年12月時点）	目標	620人		当初目標	630人	630人	630人	2,510人
			実績	775人						
			達成状況※1	125.0%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
ワーク・ライフ・バランスに関するイベント等の開催数	8回	当初計画	12 回	13回	14回	14回	53回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	17 回	—	—	—	17回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	あらゆる分野における女性活躍に向けたイベント等の参加者数	630人（令和5年12月時点）	目標	1,000人		当初目標	1,100人	1,200人	1,200人	4,500人
			実績	1,084人						
			達成状況※1	108.4%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
あらゆる分野における女性活躍に向けたイベント等の開催数	16回	当初計画	20 回	20回	20回	20回	80回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	19 回	—	—	—	19回

分野別政策21　多様性の尊重

施策21-3	DV防止の取組み
関連政策等	重点政策：4　分野別政策：21
所管部	生活文化政策部

（1）施策に連なる事業

番号	事業	
1	デートDV防止出前講座の実施	
	目的と内容	デートDV防止等にかかる必要な知識の習得や互いを尊重し合うコミュニケーションのあり方の啓発に向けた出前講座を実施するなど、DV防止の取組みを推進します。
2	DV防止研修等の充実	
	目的と内容	DV防止に関する研修を行うなど、「DVは犯罪行為を含む重大な人権侵害である」というメッセージとあわせて、DV防止法の内容について継続的な啓発を行うことで、DV防止の取組みを推進します。

（2）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	デートDV防止出前講座の参加者数	316人（令和5年12月時点）	目標	370人		当初目標	370人	400人	400人	1,540人
			実績	395人						
			達成状況※1	106.8%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
デートDV防止出前講座の開催数	3回（令和5年12月時点）	当初計画	5 回	5回	6回	6回	22回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	3 回	—	—	—	3回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	DV防止研修等の参加者数	123人（令和5年12月時点）	目標	250人		当初目標	300人	350人	400人	1,300人
			実績	276人						
			達成状況※1	110.4%	A	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
DV等暴力防止・被害者支援関連講座の開催数	3回（令和5年12月時点）	当初計画	5 回	5回	5回	5回	20回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	6 回	—	—	—	6回

分野別政策21　多様性の尊重

施策21-4	多文化共生の推進
関連政策等	重点政策：4　分野別政策：21
所管部	生活文化政策部

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	国際交流イベントの実施	
	目的と内容	区民が多様な文化を知り、触れることのできる国際交流イベントを開催し、多文化共生、国際交流、国際協力への意識啓発を図るとともに、参加・出展する区民団体や国際協力団体等の活動充実や連携の創出、新たな交流の担い手の育成を目指します。
2	在住外国人の相談体制の強化	
	目的と内容	タブレット端末等を利用した多言語通訳サービスにより、外国人来庁者等と円滑なコミュニケーションを図り、窓口業務の効率化と窓口サービスの向上につなげます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	せたがや国際メッセの参加者数	2,000人（令和4年度）	目標	2,000人		当初目標	2,000人	2,000人	2,000人	8,000人
			実績	1,000人						
			達成状況※1	50.0%	C	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
せたがや国際メッセの実施回数	1回（令和5年度見込み）	当初計画	1 回	1回	1回	1回	4回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	1 回	—	—	—	1回

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	多言語通訳サービスの利用件数	266件（令和5年11月時点）	目標	2,050件		当初目標	2,100件	2,150件	2,200件	8,500件
			実績	1,176件						
			達成状況※1	57.4%	C	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
多言語通訳サービス導入タブレット等設置台数（累計）	7台（令和5年度見込み）	当初計画	26 台	26台	26台	26台	26台（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	26 台	—	—	—	26台

分野別政策22　地域コミュニティの促進

施策22-1	地域への参加促進と地域活動の活性化
関連政策等	重点政策：3、4　分野別政策：22
所管部	生活文化政策部

（1）施策に連なる事業

番号	事業	
1	区民利用・交流拠点施設の設置・運営	
	目的と内容	「区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎」の実現に向け、区民利用・交流拠点施設が多様な人々の交流を生み出す場となるよう検討を進め、区民が事業等に主体的に関わることができる運営を目指します。
2	町会・自治会の参加促進、活性化支援	
	目的と内容	町会・自治会活動への理解・参加を促進するため、活動紹介等の一層の周知に取り組むとともに町会・自治会の実態把握に努め、持続可能な町会・自治会活動への支援の充実に取り組みます。
3	NPO等市民活動団体の活性化支援	
	目的と内容	区内で活動するNPO、市民活動団体及び個人に対し、情報提供、活動支援等を行うことで、活動団体の活動意欲向上・活性化を図ります。

（2）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度	区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	区民利用・交流拠点施設の設置・運営	—	目標	—	当初目標	—	行動量を踏まえて設定	行動量を踏まえて設定	—
			実績	—					
			達成状況※1		修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
区民利用・交流拠点施設の設置・運営	事業運営実施計画の策定（令和5年度見込み）	当初計画	事業者選定準備（仮称）事業運営委員会準備会の組成	事業者選定（仮称）事業運営委員会の組成	開設・運営	運営	—
		修正計画		—	—	—	—
		実績	事業者選定準備事業運営委員会準備会の組成	—	—	—	—

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	町会・自治会加入率※2	50.3%	目標	50.3%		当初目標	50.3%	50.3%	50.3%	50.3%
			実績	49.9%						
			達成状況※1	99.2%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量２	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
町会・自治会活動支援の取組み	実態の把握	当初計画	支援策の検討	実施	実施・検証	実施・検証	—
		修正計画					
		実績	支援策の検討	—	—	—	—

行動量２－①	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
加入促進チラシの配布枚数		当初計画					
		修正計画		35,000部	35,000部	35,000部	35,000部
		実績		—	—	—	—

行動量２－②	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
町会・自治会運営支援SNS導入町会数		当初計画					
		修正計画		40町会	45町会	50町会	50町会
		実績		—	—	—	—

行動量２－③	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
ホームページ紹介町会数		当初計画					
		修正計画		52町会	54町会	56町会	56町会
		実績		—	—	—	—

※2：会員世帯数：250,691世帯／区全体の世帯数：502,617世帯

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●行動量

「町会・自治会活動支援の取組み」について、具体的な支援策を検討したため、行動量として設定する。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度		区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	区内NPO法人数（累計）	520団体（令和5年度見込み）	目標	525団体		当初目標	530団体	535団体	540団体	540団体（累計）
			実績	508団体						
			達成状況※1	96.8%	B	修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
市民活動・NPO相談実施箇所数（累計）	5箇所	当初計画	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	5箇所	—	—	—	5箇所

分野別政策22　地域コミュニティの促進

施策22-2	区民や活動団体の連携・協働促進
関連政策等	重点政策：3　分野別政策：22
所管部	地域行政部、総合支所

（１）施策に連なる事業

番号	事業	
1	地区情報連絡会の発展	
	目的と内容	地区において区民や活動団体との交流や情報交換の機会として開催している地区情報連絡会について、地区の実態を踏まえて、新たな交流が創出されるように内容や手法の工夫を図ります。
2	地区での情報共有と地域参加のためのプラットフォームづくり	
	目的と内容	地区での情報共有と地域参加のためのプラットフォームづくりにより地区情報の共有化を図ります。地区への関心の醸成により、幅広い世代や多くの団体が地域の課題に主体的に向き合い、互いに協力して自治を進められるための基盤とします。
3	参加と協働による地域づくり	
	目的と内容	地区における四者連携（まちづくりセンター、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会、児童館）により日常の相談や意見等から地区の課題を抽出・分析し、区民や事業者、関係団体の参加と協働を基盤にして、買い物支援や集いの場の創出、見守りネットワークの充実をはじめとした地域コミュニティの促進及び地区の課題への取り組みを進めます。

（２）成果指標及び行動量の達成状況　※1 A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度	区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
1	地区情報連絡会の参加団体数（累計）	984団体（令和5年度見込み）	目標	1,012団体	当初目標	1,040団体	1,068団体	1,096団体	1,096団体（累計）
			実績	1,237団体					
			達成状況※1	122.2%　A	修正目標	1,265団体	1,293団体	1,321団体	1,321団体（累計）

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
地区情報連絡会の開催数	77回（令和5年度見込み）	当初計画	79 回	81回	83回	85回	328回
		修正計画		—	—	—	—
		実績	73 回	—	—	—	73回

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後に地域での活動が活発化したことに伴い、令和5・6年度の実績が想定を上回ったことから、令和6年度実績を基礎にして、令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度	区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
2	地区での情報共有と地域参加のためのプラットフォームへの登録者数（累計）	—	目標	250人	当初目標	1,000人	2,400人	3,800人	3,800人（累計）
			実績	762人					
			達成状況※1	304.8%　A	修正目標	1,500人	2,900人	4,300人	4,300人（累計）

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
地区での情報共有と地域参加のためのプラットフォーム定着数（累計）	—	当初計画	5 地区	15地区	28地区	28地区	28地区（累計）
		修正計画		—	—	—	—
		実績	6 地区	—	—	—	6地区

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●成果指標

ロコミや運営事業者による広報、並びに地区情報を適宜きめ細かく発信できたことなどにより、令和6年度の実績が当初の想定を上回り、今後もこの傾向が続くと見込まれることから令和7年度以降の目標値を変更した。

番号	成果指標	現況値（策定時）	区分	令和6年度	区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
3	参加と協働を基盤とした地区課題への取組数（累計）	158 件（令和6年度）	目標		当初目標	163件	168件	173件	173件（累計）
			実績						
			達成状況※1		修正目標	—	—	—	—

行動量	現況値（策定時）	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	総量（令和9年度末）
四者連携会議の開催回数		当初計画					
		修正計画		280回	280回	280回	840回
		実績		—	—	—	—

行動量及び成果指標の計画変更理由・内容等

●行動量

参加と協働による地域づくりの取組みについて、地区ごとの取組みの要素を加え、新たに区民や活動団体の連携・協働促進として位置づけることとし、支援の核となる取組みである「四者連携会議の開催回数」を行動量として設定する。

成　果　指　標　達　成　状　況　一　覧

※ A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

施策	番号	成果指標	策定時	令和６年度 実績	目標値 （令和６年度末）	令和６年度 目標に対する 達成状況※	
子どもの権利とその最善の利益を保障する環境づくり	1－①	子どもの権利について理解できたと回答した子どもの人数 a）児童館 b）小中学校	a）― b）―	a）42 人 b）1,090 人	a）36 人 b）―	a)116.7% b)―	a)A b)―
	1－②	子どもの権利について理解し、活用できると回答した教員の人数	―	80 人	70 人	114.3%	A
	2	子どもの参加・意見表明の機会への参加者数	92 人 （令和５年度見込み）	249 人	120 人	207.5%	A
	3	こころとからだ、性の健康について正しい知識を習得できたと回答した人数	―	2,340 人	140 人	1671.4%	A
子どもの成長を支える環境の充実	1	児童館の利用者数	597,000 人 （令和５年度見込み）	729,487 人	608,211 人	119.9%	A
	2	大規模校（登録者 200 名以上）の新 BOP 学童クラブの箇所数	15 箇所	11 箇所	10 箇所	80.0%	B
	3	児童館事業に協力した大人の人数	3,230 人 （令和５年度見込み）	6,884 人	3,284 人	209.6%	A
	4	自然体験あそび場事業に参加した子どもの人数	234,000 人 （令和５年度見込み）	176,408 人	235,000 人	75.1%	C
質の高い乳幼児教育・保育の充実	1	事業実施後のアンケートに「効果がある」と回答した施設の割合	―	100%	100%	100.0%	A
	2	地域や学生ボランティア等と協働した取組みの実施回数	212 回 （令和５年度見込み）	245 回	237 回	103.4%	A
子育て家庭の支援の推進	1	おでかけひろばの相談件数	10,900 件 （令和５年度見込み）	13,985 件	12,730 件	109.9%	A
	2	保育施設等における一時預かりの年間利用者数	40,080 人 （令和５年度見込み）	53,883 人	82,770 人	65.1%	C
	3	育児相談や在宅子育て支援事業の年間利用者数	3,000 人 （令和５年度見込み）	3,021 人	3,150 人	95.9%	B
	4	児童館と連携している子育て関係団体の数（累計）	215 団体 （令和５年度見込み）	356 団体	240 団体	148.3%	A
	5	両親学級の参加者数	3,716 人 （令和５年度見込み）	3,763 人	3,780 人	99.6%	B

※ A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

施策	番号	成果指標	策定時	令和６年度 実績	目標値 （令和６年度末）	令和６年度 目標に対する 達成状況※	
	6	産後ケア事業の利用者数	5,389 人日 （令和５年度見込み）	5,323 人日	5,930 人日	89.8%	B
支援が必要な子ども・子育て家庭のサポート	1	「まいぷれいす」の利用者数	2,500 人 （令和５年度見込み）	3,857 人	4,400 人	87.7%	B
	2	ひとり親家庭等への休日相談支援の利用者数	25 人 （令和５年度見込み）	28 人	98 人	28.6%	C
	3	わくわくタイム・心理士相談の利用者数	―	64 組	60 組	106.7%	A
	4	登録里親数（累計）	104 家庭 （令和５年12 月時点）	99 家庭	212 家庭	46.7%	C
	5	児童館への相談件数	700 件 （令和５年度見込み）	2,265 件	740 件	306.1%	A
	6	ヤングケアラー支援に関する研修等のアンケートで理解が深まったと回答した人数	64 人 （令和５年12 月時点）	270 人	80 人	337.5%	A
若者が力を発揮できる環境の充実	1	児童館利用者のうち、主体的な活動に取り組んだ若者の人数	3,500 人 （令和５年度見込み）	3,957 人	3,550 人	111.5%	A
	2	青少年交流センターのプログラムに参加した若者の人数	6,454 人 （令和５年12 月時点）	11,504 人	10,500 人	109.6%	A
生きづらさを抱える若者への支援	1	メルクマールせたがやにおける、若者を対象とする相談件数	2,612 件 （令和５年10 月末時点）	4,564 件	3,725 件	122.5%	A
	2	せたエールにおける、居場所から相談支援へつないだ件数	7 件 （令和５年度見込み）	12 件	13 件	92.3%	B
キャリア・未来デザイン教育の推進	1	将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合 a）小学生 b）中学生	a）78% b）64.5%	a）80.5% b）64.4%	a）78.5% b）66.5%	a)102.5% b）96.8%	a)A b)B
	2	自分の考えがうまく伝わるよう話の組立てなどを工夫して発表できる児童・生徒の割合 a）小学生 b）中学生	a）71.3% b）74.7%	a）76% b）78.1%	a）72% b）76%	a)105.6% b)102.8%	a)A b)A
教育 DX のさらなる推進	1	子どもと向き合う時間が増えたと感じる教員の割合	82.5%	89%	84%	106.0%	A

※ A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

施策	番号	成果指標	策定時	令和６年度 実績	目標値 （令和６年度末）	令和６年度 目標に対する 達成状況※	
	2	学校、自宅いずれかでドリル学習アプリまたは授業支援アプリを毎週使用した児童・生徒の割合 a）小学生 b）中学生	a）74.9% b）72.8% （令和４年度）	a）93.3% b）98.5%	a）75% b）75%	a)124.4% b)131.3%	a)A b)A
	3	講座受講者のうち、ICTリテラシーへの理解が深まった児童・生徒の割合 a）小学校６年生 b）中学校１年生	a）92.9% b）93.8% （令和４年度）	a）97.7% b）97.8%	a）93% b）94%	a)105.1% b)104.0%	a)A b)A
多様な個性が生かされる教育の推進	1	研修受講者のうち、インクルーシブ教育への理解が深まった人数	274 人	332 人	276 人	120.3%	A
	2	巡回グループによる支援・助言が児童・生徒一人ひとりの状態に応じた支援に効果があると回答した学校の割合	80.4%	91.4%	82%	111.5%	A
多様性や個性を認め伸ばす学びの場づくり	1	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている児童・生徒の割合 a）小学生 b）中学生	a）75.1% b）60.9%	a）83.4% b）73.9%	a）78% b）64%	a)106.9% b)115.5%	a)A b)A
	2	自分には、よいところがあると思う児童・生徒の割合 a）小学生 b）中学生	a）85.8% b）84.4%	a）87.2% b）86.5%	a）86% b）86%	a)101.4% b)100.6%	a)A b)A
	3	【再掲】将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合 a）小学生 b）中学生	a）78% b）64.5%	a）80.5% b）64.4%	a）78.5% b）66.5%	a)102.5% b)96.8%	a)A b)B
相談・支援体制の充実と連携体制の強化	1	どこにもつながっていない不登校児童・生徒の割合	25.3% （令和４年度）	23%	23%	100.0%	A
多様な学びの場や居場所の充実	1	ほっとルームの利用人数	160 人 （令和５年度見込み）	242 人	300 人	80.7%	B
	2	オンライン支援事業の利用人数	200 人 （令和５年度見込み）	195 人	250 人	78.0%	C

※ A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

施策	番号	成果指標	策定時	令和６年度 実績	目標値 （令和６年度末）	令和６年度 目標に対する 達成状況※	
	3	ほっとスクールの利用人数	290 人 （令和５年度見込み）	285 人	340 人	83.8%	B
	4	学びの多様化学校（不登校特例校）の利用人数	45 人 （令和５年度見込み）	41 人	60 人	68.3%	C
知と学びと文化の情報拠点としての新たな図書館の創造	1	児童書の貸出冊数	1,891,096 冊 （令和５年12月時点）	2,400,833 冊	2,650,000 冊	90.6%	B
	2	電子書籍貸出数	18,132 回 （令和５年12月時点）	25,051 回	23,000 回	108.9%	A
	3	レファレンス受付件数	50,580 件 （令和５年12月時点）	63,278 件	78,000 件	81.1%	B
常に学ぶ区民意識の涵養と社会参加の促進	1	青少年教育事業（いかだ下り大会）の参加者数	236 人	―	250 人	―	―
	2	連携・協働の事例研究発表シンポジウムの参加者数	50 人 （令和５年度見込み）	44 人	50 人	88.0%	B
文化財の保護・普及活動の推進	1	デジタルミュージアム閲覧回数	227,842 回 （令和５年度見込み）	240,216 回	238,000 回	100.9%	A
	2	文化財ボランティア登録者数（累計）	28 人 （令和５年度見込み）	81 人	38 人	213.2%	A
主体的に取り組める健康づくりの推進	1－①	胃がん検診受診率	11.5% （令和４年度）	8.9%	20.1%	44.3%	C
	1－②	大腸がん検診受診率	17.4% （令和４年度）	16.4%	26.1%	62.8%	C
	1－③	肺がん検診受診率	19.4% （令和４年度）	18.7%	27.6%	67.8%	C
	1－④	子宮頸がん検診受診率	31.4% （令和４年度）	29.0%	36.9%	78.6%	C
	1－⑤	乳がん検診受診率	26.6% （令和４年度）	25.6%	32.7%	78.3%	C
	2	1 日に 30 分以上歩いている区民の割合	77.2%	74.2%	78.3%	94.8%	B
	3	連携店舗によるせたミール商品の供給数	―	17,500 食	4,200 食	416.7%	A
こころの健康づくり	1	こころの健康に関する講座の参加人数	2,000 人 （令和５年度見込み）	1,676 人	2,100 人	79.8%	C

※ A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

施策	番号	成果指標	策定時	令和６年度 実績	目標値 (令和６年度末)	令和６年度 目標に対する 達成状況※	
	2	こころの健康に関する相談件数	3,800 件 (令和５年度見込み)	4,261 件	3,800 件	112.1%	A
	3－①	ゲートキーパー講座参加人数	380 人 (令和５年度見込み)	304 人	460 人	66.1%	C
	3－②	自殺未遂連携支援件数	12 件 (令和５年度見込み)	18 件	12 件	150.0%	A
介護予防の総合的な推進	1	介護予防普及啓発講座参加者数	13,600 人 (令和５年度見込み)	13,808 人	13,850 人	99.7%	B
	2－①	住民参加型・住民主体型サービスの利用者数	4,050 人 (令和５年度見込み)	4,887 人	4,090 人	119.5%	A
	2－②	介護予防筋力アップ教室の参加者数	2,080 人 (令和５年度見込み)	2,097 人	2,400 人	87.4%	B
身近な福祉相談の充実と地域づくり	1	「福祉の相談窓口」を知っている区民の割合	56%	54%	57%	94.7%	B
	2	地域包括ケアの地区展開報告会参加者数	184 人	249 人	200 人	124.5%	A
地区でつながり続ける支援体制の構築	1	支援者が多くのケースにおいて情報共有、役割分担、連携した支援をしていると回答した割合	47.7%	43.6%	49%	89.0%	B
	2	対象を限らない見守り協定の新規締結数	―	0 機関	4 機関	0.0%	D
	3	社会参加の支援につながる地域資源数（累計）	1,816 箇所	1,801 箇所	1,830 箇所	98.4%	B
安心して暮らせる居住環境の整備	1	お部屋探しサポートによる物件情報提供を受けた利用者数	120 人 (令和５年度見込み)	98 人	130 人	75.4%	C
	2	補助対象住宅への入居件数（累計）	14 件 (令和５年12 月時点)	23 件	24 件	95.8%	B
	3－①	認知症高齢者グループホームの定員数（累計）	918 人	909 人	令和８年度までに 990 人	―	―
	3－②	都市型軽費老人ホームの定員数（累計）	200 人	200 人	令和８年度までに 260 人	―	―
	4	重度障害者向けグループホームの定員数（累計）	44 人	48 人	53 人	90.6%	B

※ A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

施策	番号	成果指標	策定時	令和６年度 実績	目標値 (令和６年度末)	令和６年度 目標に対する 達成状況※	
地域生活課題の解決に向けた取組み	1	精神科病院における長期入院者に対する支援数	285 回 (令和５年度見込み)	306 回	295 回	103.7%	A
	2	医療的ケア支援を行う事業所数（累計）	14 施設 (令和５年度見込み)	13 施設	15 施設	86.7%	B
	3	地域共生社会促進助成事業による物品助成件数	20 件 (令和５年度見込み)	8 件	20 件	40.0%	C
	4	相談窓口利用者のうち、支援に満足をしている方の割合	85% (令和５年度見込み)	86%	86%	100.0%	A
	5	あんしんすこやかセンターの認知症に関する相談件数	9,440 件 (令和５年度見込み)	8,874 件	9,580 件	92.6%	B
在宅医療・介護連携の推進	1	在宅医療・ACP の普及啓発に向けた区民向け講演会・シンポジウム及びミニ講座の受講者数	910 人 (令和５年度見込み)	935 人	950 人	98.4%	B
	2	在宅療養相談件数	12,000 件 (令和５年度見込み)	12,479 件	12,100 件	103.1%	A
	3	在宅療養資源マップ（Web サイト）のアクセス数	―	3,327 件	3,000 件	110.9%	A
福祉人材の確保及び育成・定着支援	1	福祉人材育成・研修センター全体の利用者数	18,000 人 (令和５年度見込み)	15,648 人	18,000 人	86.9%	B
	2－①	高齢分野における研修事業の受講者数	10,000 人 (令和５年度見込み)	9,169 人	10,000 人	91.7%	B
	2－②	介護福祉士資格取得助成の受給者数	30 人 (令和５年12 月時点)	52 人	65 人	80.0%	B
	3	認知症の本人が参画したアクションチームの結成地区数（累計）	14 地区 (令和５年度見込み)	26 地区	18 地区	144.4%	A
	4	障害分野における研修事業の受講者数	5,000 人 (令和５年度見込み)	3,384 人	5,000 人	67.7%	C
	5	地域生活支援機能強化のための専門的人材の確保・養成に向けた研修の受講者数	―	113 人	30 人	376.7%	A
地域防災力の向上	1	防災塾に参加したことで、自分の地区の災害リスクや、自らとるべき避難行動を理解した人の割合	73.1% (令和４年度)	79.7%	80%	99.6%	B

※ A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

施策	番号	成果指標	策定時	令和６年度 実績	目標値 (令和６年度末)	令和６年度 目標に対する 達成状況※	
	2	女性防災コーディネーターによる防災研修（地域啓発研修）参加者数	285 人 (令和５年度見込み)	514 人	510 人	100.8%	A
	3	在宅避難のための備えをしている区民の割合 a）食料備蓄率 b）携帯トイレ備蓄率 c）非常用電力備蓄率	a）63.7% b）42.7% c）41.6%	a）66.4% b）65.9% c）50%	a）64% b）44% c）43%	a)103.8% b)149.8% c)116.3%	a)A b)A c)A
	4	講習会に参加し「マイ・タイムライン」を作成した人数	―	75 人	50 人	150.0%	A
	5	個別避難計画作成数 a）多摩川洪水浸水想定区域内 b）多摩川洪水浸水想定区域以外	a）340 件 b）3,200 件 (令和５年度見込み)	a）139 件 b）1,838 件	a）60 件 b）640 件	a)231.7% b)287.2%	a)A b)A
犯罪抑止の取組み	1	防犯カメラの設置台数	設置台数 54 台 累計台数 1,355 台 (令和５年度見込み)	27 台	50 台	54.0%	C
	2	自動通話録音機の貸与台数	貸与台数 1,128 台 累計台数 13,794 台 (令和４年度)	1,971 台	2,000 台	98.6%	B
健康危機管理体制の強化	1	連絡会参加団体数	79 団体 (令和５年度見込み)	56 団体	88 団体	63.6%	C
	2	新型インフルエンザ等対応研修・訓練参加団体数	―	1 団体	1 団体	100.0%	A
	3	医療救護本部運営訓練参加者数 a）区職員 b）関係機関職員	a）4 人 b）14 人	a）21 人 b）10 人	a）20 人 b）10 人	a)105.0% b)100.0%	a)A b)A
	4	緊急医療救護所運営訓練参加者数 a）区職員 b）医療関係者等	a）15 人 b）50 人 (令和５年度見込み)	a）25 人 b）109 人	a）15 人 b）50 人	a)166.7% b)218.0%	a)A b)A
震災に強い街づくり	1	不燃化特区による老朽建築物の除却・建替え等費用助成件数	106 件 (令和５年度見込み)	86 件	128 件	67.2%	C
	2	木造耐震診断、簡易耐震診断助成件数（累計）	200 件 (令和５年度見込み)	361 人	210 人	171.9%	A

※ A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

施策	番号	成果指標	策定時	令和６年度 実績	目標値 (令和６年度末)	令和６年度 目標に対する 達成状況※	
	3	無電柱化した区道延長（累計）	13,936m (令和５年度見込み)	14,122m	14,321m	98.6%	B
都市の事前復興	1	訓練等参加者数 a）区職員 b）区民等	a）26 人 累計参加人数 818 人 b）0 人 累計参加人数 220 人	a）28 人 b）32 人	a）25 人 b）10 人	a)112.0% b)320.0%	a)A b)A
水害を抑制する街づくり	1	流域対策による雨水流出抑制量（累計）	55.0 万㎥ (令和４年度)	58.3 万㎥	60.6 万㎥	96.2%	B
日常の安全・安心な街づくり	1－①	管理不全状態の改善件数	36 件 (令和５年12 月時点)	106 件	200 件	53.0%	C
	1－②	「せたがや空き家活用ナビ」における成約数	30 件 (令和５年12 月時点)	28 件	40 件	70.0%	C
	2	狭あい道路の延長（累計）	535.3km (令和５年12 月時点)	532.3km	530.6km	63.8%	C
区民・事業者の脱炭素行動の支援	1	エコ住宅補助金による CO_2 削減量（再エネ電気上乗せ補助含む）	810t-CO_2 (令和５年度見込み)	1,832t-CO_2	744t-CO_2	246.2%	A
	2	公共施設における EV の公共用充電器利用者数	552 人 (令和５年度見込み)	1,228 人	3,000 人	40.9%	C
	3	省エネ・再エネポイントアクションの取組みによる CO_2削減量	65t-CO_2 (令和４年度)	95t-CO_2	80t-CO_2	118.8%	A
	4	せたがや版 RE100 の賛同者の数	284 人 (令和５年11 月時点)	372 人	300 人	124.0%	A
公共施設や区事業活動における脱炭素の実施	1	公用車のガソリン購入量	132,000ℓ (令和４年度)	120,501ℓ	129,000ℓ	383.3%	A
	2	公共施設のエネルギー使用の削減量（原油換算kℓ）	―	―	―	―	―
地域環境美化活動の推進	1	区内一斉清掃活動「せたがやクリーンアップ作戦」参加者数及び参加団体数 a）参加者数 b）参加団体数	a）1,397 人 b）60 団体	a）1,519 人 b）116 団体	a）1,840 人 b）80 団体	a)82.6% b)145.0%	a)B b)A
たばこルールの推進	1	路上喫煙率	0.11% (令和４年度)	0.08%	0.11%	100.0%	A

※ A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

施策	番号	成果指標	策定時	令和６年度 実績	目標値 (令和６年度末)	令和６年度 目標に対する 達成状況※	
ごみ減量と資源循環型社会の形成	1	区民１人１日あたりのごみ排出量	518g/人・日 (令和４年度)	490g/人・日	482g/人・日	77.8%	C
	2	家庭系食品ロス排出量（5年平均)	12,757t	10,492t	9,600t	71.7%	C
	3	事業用大規模建築物におけるリサイクル率	60.5% (令和４年度)	—	62%	—	—
世田谷らしいみどりの保全・創出	1	市民緑地等諸制度による新規指定箇所の合計面積（累計)	15,431 ㎡ (令和５年度見込み)	15,431 ㎡	15,731 ㎡	98.1%	B
	2	緑化助成によるシンボルツリーの植栽本数（累計)	1,250 本 (令和５年度見込み)	1,521 本	1,350 本	112.7%	A
	3	区民が親しみを感じる崖線樹林地の再生区域数	—	6 区域	6 区域	100.0%	A
生物多様性の保全	1	生物多様性に配慮した公園緑地面積（累計)	25,680 ㎡ (令和５年度見込み)	30,880 ㎡	30,450 ㎡	101.4%	A
	2	世田谷生きもの会議参加団体数（累計)	15 団体 (令和５年度見込み)	16 団体	16 団体	100.0%	A
協働によるみどり豊かなまちづくりの推進	1	みどりに関するイベントや講習会の参加者数	19,792 人 (令和５年度見込み)	26,779 人	19,800 人	135.2%	A
	2	農業公園におけるイベントや講習会の参加者数	1,992 人 (令和５年12 月時点)	2,795 人	1,900 人	147.1%	A
多様な地域産業の持続可能性確保に向けた基盤強化	1	事業実施前と比較し、売上変動が好転した事業者数	71 事業者 (令和４年度)	42 事業者	80 事業者	52.5%	C
	2	せたがやPayアプリ利用者の継続利用率	71.8% (令和５年度見込み)	77.4%	75%	103.2%	A
	3	三軒茶屋就労支援センターの就職決定者数	787 人 (令和４年度)	766 人	800 人	95.8%	B
	4	区内企業と求職者のマッチング就職決定者数	49 人 (令和４年度)	57 人	55 人	103.6%	A
起業の促進と多様な働き方の実現	1	新たな産業活性化拠点の支援プログラム利用者数	—	—	—	—	—
	2	創業支援事業における創業相談等利用者の創業決定者数	292 人 (令和４年度)	283 人	310 人	91.3%	B
	3	多様な働き方の相談・社会保険労務士相談の相談件数	294 件 (令和５年12 月時点)	470 件	400 件	117.5%	A

※ A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

施策	番号	成果指標	策定時	令和６年度 実績	目標値 (令和６年度末)	令和６年度 目標に対する 達成状況※	
地域や社会の課題の解決に向けたソーシャルビジネスの推進	1	SETAGAYA PORT を通して実現した連携事業数	10 事業 (令和５年度見込み)	15 事業	15 事業	100.0%	A
	2	ソーシャルビジネス補助対象事業の継続（累計)	—	—	—	—	—
	3	イベント参加事業者のうち前年度比で売上が向上した事業者数（累計)	—	18 事業者	15 事業者	120.0%	A
	4	農福連携事業を通じた区内就職者数（累計)	10 人 (令和５年度見込み)	10 人	15 人	66.7%	C
地域経済の持続可能性を考慮した事業活動及びエシカル消費の推進	1	世田谷まちなか観光交流協会の活動回数	10 回 (令和５年度見込み)	19 回	13 回	146.2%	A
	2	ふれあい農園参加人数	31,350 人 (令和５年度見込み)	34,234 人	33,500 人	102.2%	A
	3	エシカル消費に関する講座の受講者のうち、その理解が深まった人数	—	303 人	160 人	189.4%	A
	4	事業活動において環境配慮行動を重要な位置づけとしている事業者の割合	24.9% (令和５年度見込み)	21.6%	30%	72.0%	C
誰もが文化・芸術を身近に感じ楽しめる環境の整備	1-①	区ホームページ「区庁舎等美術品ページ」へのアクセス数	—	191 回	600 回	31.8%	C
	1-②	当年度開催の収蔵品展 Web ページへのアクセス数	76,665 回 (令和５年度見込み)	164,725 回	77,200 回	213.4%	A
	2	ライブラリー利用者数	31,707 人 (令和５年度見込み)	37,744 人	33,200 人	113.7%	A
	3	音楽イベント等への参加者数	—	272 人	60 人	453.3%	A
地域活動団体の支援と交流の促進による文化・芸術活動の活性化	1	文化・芸術交流事業の出演者数及び事業への参加者数 a）出演者数 b）参加者数	a）— b）—	a）0 人 b）—	a）50 人 b）—	a)0.0% b)—	a)D b)—
	2	活動した登録アーティスト数及び活動への参加者数 a）アーティスト b）参加者（区民)	a）— b）—	a）— b）—	a）— b）—	a）— b）—	a)— b)—

※ A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

施策	番号	成果指標	策定時	令和６年度 実績	目標値 （令和６年度末）	令和６年度 目標に対する 達成状況※	
	3	地域文化芸術振興事業の実施者数及び事業への参加者数 a）実施者 b）参加者	a）39 人 b）954 人 （令和５年度見込み）	a）54 人 b）1,586 人	a）50 人 b）1,200 人	a)108.0% b)132.2%	a)A b)A
スポーツを通じた生きがい・健康づくり	1	整備されたランニングやジョギング、ウォーキングコースを利用したことがある人数（1 日当たりの利用者数）	—	—	—	—	—
	2	公共施設等に設置されたボッチャコートの利用回数	48 回 （令和５年12 月時点）	58 回	60 回	96.7%	B
	3	まちなかでのスポーツイベントの参加者数	—	—	—	—	—
	4	ラジオ体操への参加者数	11,000 人 （令和５年度見込み）	43,459 人	11,500 人	377.9%	A
スポーツを通じた共生社会の実現	1	ユニバーサルスポーツイベントに参加した人のうち、ユニバーサルスポーツへの関心が高まったと回答した参加者の人数	200 人 （令和５年度見込み）	—	200 人	—	—
	2	関係団体等との連携・協働によるスポーツイベント等への参加者数	10,098 人	37,620 人	18,000 人	209.0%	A
スポーツを通じた活力あるまちづくり	1	試合会場等でのイベントへの来場者数	600 人 （令和５年度見込み）	2,650 人	1,000 人	265.0%	A
	2	名所めぐりやまち歩きへの参加者数	—	—	—	—	—
	3	地域コミュニティ活動への参加者数	200 人 （令和５年度見込み）	1,950 人	330 人	590.9%	A
地区特性に応じた街づくりの推進	1	地区計画等の策定及び変更（廃止含む）地区数	2 地区	0 地区	1 地区	0.0%	D
魅力あるにぎわいの拠点づくり	1-①	社会実験等への協力団体数（累計）	6 団体 （令和５年度見込み）	9 団体	7 団体	128.6%	A
	1-②	まちづくり推進体制への参画団体数（累計）	8 団体 （令和５年度見込み）	14 団体	9 団体	155.6%	A
	1-③	区の支援により実施する市街地再開発事業に向けた地権者勉強会等の参加人数	60 人 （令和５年度見込み）	50 人	60 人	83.3%	B

※ A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

施策	番号	成果指標	策定時	令和６年度 実績	目標値 （令和６年度末）	令和６年度 目標に対する 達成状況※	
	2	エリアマネジメントの導入	—	エリアマネジメントの未来ビジョンの作成	エリアマネジメントの未来ビジョンの作成	—	—
	3	河川占用施設の年間利用者数	2,400 人 （令和５年度見込み）	2,811 人	6,500 人	43.2%	C
	4	区民・事業者等の参加人数	600 人 （令和５年度見込み）	1,087 人	700 人	155.3%	A
歩いて楽しめる魅力づくり	1	ベンチ設置基数（累計）	707 基 （令和５年度見込み）	710 基	712 基	99.7%	B
	2-①	事前調整会議における指摘事項に対する協議成立割合	75% （令和５年度見込み）	89%	78%	114.1%	A
	2-②	風景づくり交流会参加団体の交流会への評価（満足度）	—	83%	75%	110.7%	A
	2-③	イベント参加者の風景づくりへの理解が深まった割合	—	88%	75%	117.3%	A
	3	協働による公園づくり等のイベント参加人数	1,180 名 （令和５年度見込み）	1,170 名	1,600 名	73.1%	C
地域公共交通の活性化	1・2	区内の交通手段（移動手段）に満足している区民の割合	67.5%	69.1%	68%	101.6%	A
自転車利用環境の整備	1	区道の自転車通行空間の整備率	33.5% （令和５年度見込み）	36.3%	37.8%	96.0%	B
道路ネットワークの計画的な整備	1	都市計画道路・主要生活道路の整備率	41.8% （令和５年度見込み）	41.8%	41.8%	100.0%	A
	2	地先道路整備総延長	37m （令和５年度見込み）	501m	204m	245.6%	A
公園・緑地の計画的な整備	1	区民１人当たりの公園敷地面積	2.96 ㎡ （令和５年度見込み）	2.95 ㎡	2.96 ㎡	99.7%	B
人権への理解促進	1	人権啓発イベントの参加者数	1,100 人 （令和５年度見込み）	1,123 人	1,200 人	93.6%	B
	2	性的マイノリティ理解促進研修の参加者数	1,100 人 （令和５年度見込み）	1,493 人	1,200 人	124.4%	A
男女共同参画の推進	1	ワーク・ライフ・バランスに関するイベント等への参加者数	391 人 （令和５年12 月時点）	775 人	620 人	125.0%	A

※ A:100%以上、B:100%未満～80%以上、C:80%未満、D:0%

施策	番号	成果指標	策定時	令和６年度 実績	目標値 (令和６年度末)	令和６年度 目標に対する 達成状況※	
	2	あらゆる分野における女性活躍に向けたイベント等の参加者数	630 人 (令和５年 12 月時点)	1,084 人	1,000 人	108.4%	A
DV 防止の取組み	1	デート DV 防止出前講座の参加者数	316 人 (令和５年 12 月時点)	395 人	370 人	106.8%	A
	2	DV 防止研修等の参加者数	123 人 (令和５年 12 月時点)	276 人	250 人	110.4%	A
多文化共生の推進	1	せたがや国際メッセの参加者数	2,000 人 (令和４年度)	1,000 人	2,000 人	50.0%	C
	2	多言語通訳サービスの利用件数	266 件 (令和５年 11 月時点)	1,176 件	2,050 件	57.4%	C
地域への参加促進と地域活動の活性化	1	区民利用・交流拠点施設の設置・運営	―	―	―	―	―
	2	町会・自治会加入率	50.3%	49.9%	50.3%	99.2%	B
	3	区内 NPO 法人数（累計）	520 団体 (令和５年度 見込み)	508 団体	525 団体	96.8%	B
区民や活動団体の連携・協働促進	1	地区情報連絡会の参加団体数（累計）	984 団体 (令和５年度 見込み)	1,237 団体	1,012 団体	122.2%	A
	2	地区での情報共有と地域参加のためのプラットフォームへの登録者数（累計）	―	762 人	250 人	304.8%	A